

Ⅳ 富士宮市将来のまちづくりに関するアンケート調査

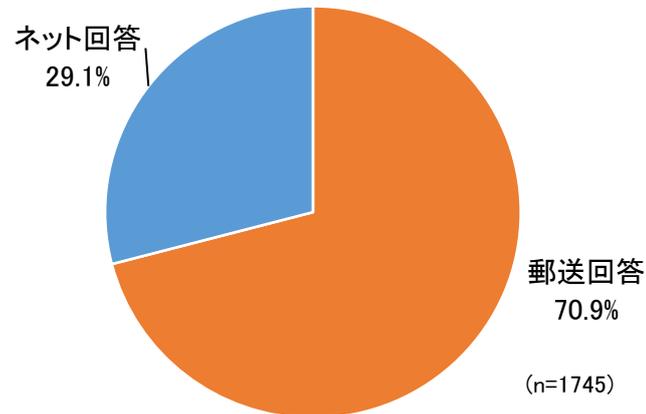
1 調査概要

調査目的	市民のまちづくりに対する意向や希望について把握する
調査対象	市内在住の15歳以上の方
抽出方法及び条件	住民票から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送にて配布し、郵送又はオンラインにより回収
実施時期	令和6年2月1日(発送日)から2月23日
発送数	3,000件
回収数	1,745件(うちオンライン回答507件)
回収率	58.2%(小数点第2位四捨五入)
調査票	A4版12ページ、一部記名式(※)、全34問(枝問を除く) ※ワークショップ参加意向者のみ記名
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 回答者の属性について(4問)・ 富士宮市で暮らすきっかけについて(3問)・ 仕事について(3問)・ 日常生活について(9問)・ 郷土への愛着について(4問)・ 富士宮市のイメージについて(3問)・ 現在の総合計画について(2問)・ 土地利用の状況について(3問)・ 富士宮市の将来のまちづくりに関して(3問)
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。・ 回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計が100%にならない場合がある。・ 不明(無回答)については、基本的にコメントの対象外とした。・ 各設問に示した()内の表記について、SAは単一回答の設問、MAは複数回答の設問であることを示す。・ グラフ下もしくは右のnは回答者数を示す。

2 集計結果

回答種別

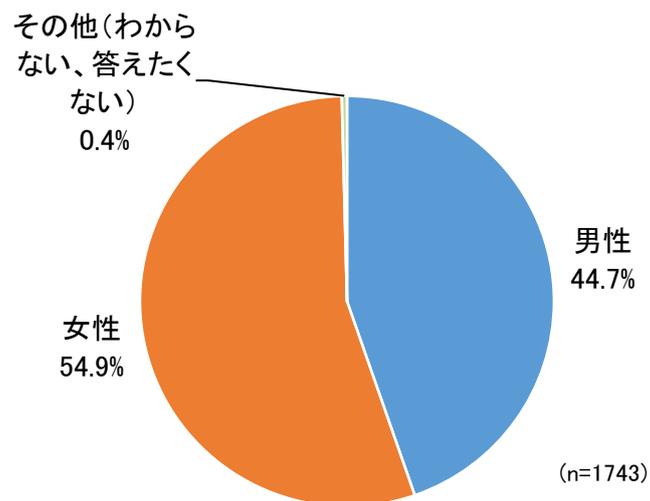
「郵送回答」が 70.9%、「ネット回答」が 29.1%であり、「郵送回答」が多い。



1 回答者の属性について

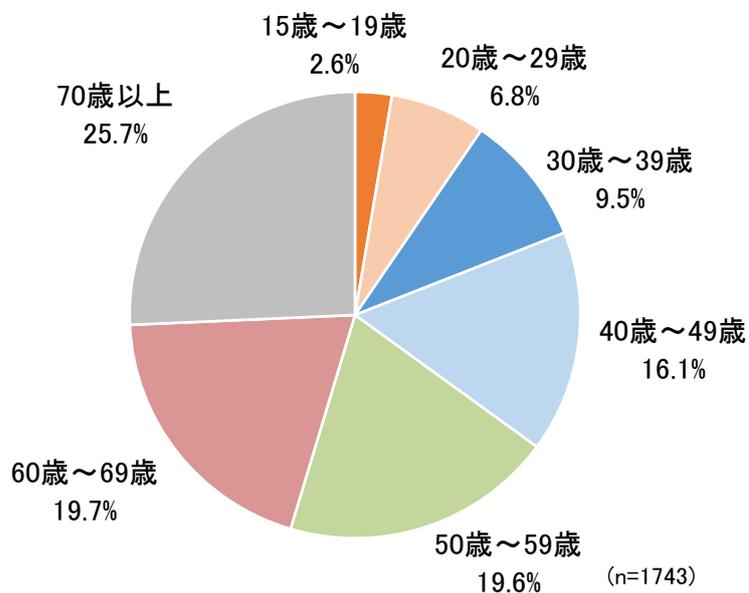
問1. 性別 (SA)

「女性」が 54.9%、「男性」が 44.7%、「その他(わからない、答えたくない)」が 0.4%である。



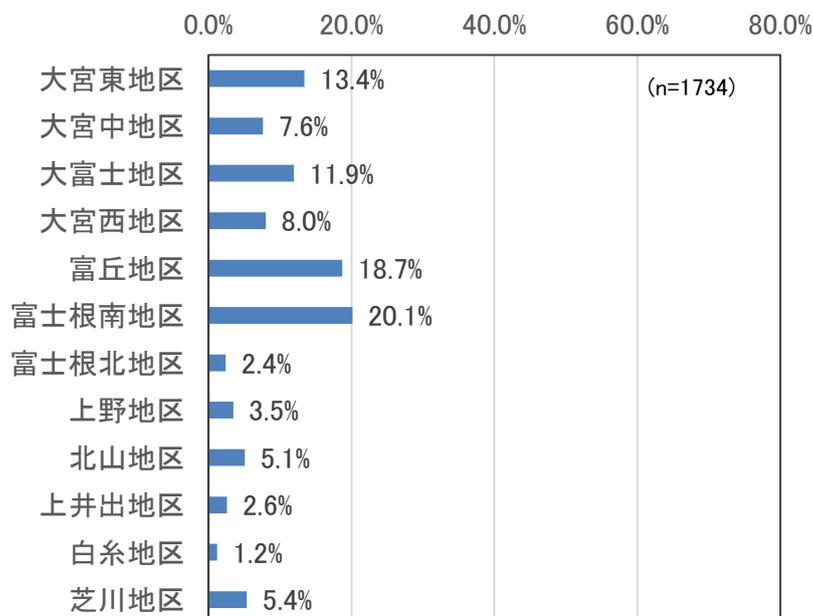
問2. 年齢 (SA)

「70歳以上」の割合が最も高く25.7%である。次いで、「60歳～69歳(19.7%)」、「50歳～59歳(19.6%)」、「40歳～49歳(16.1%)」である。



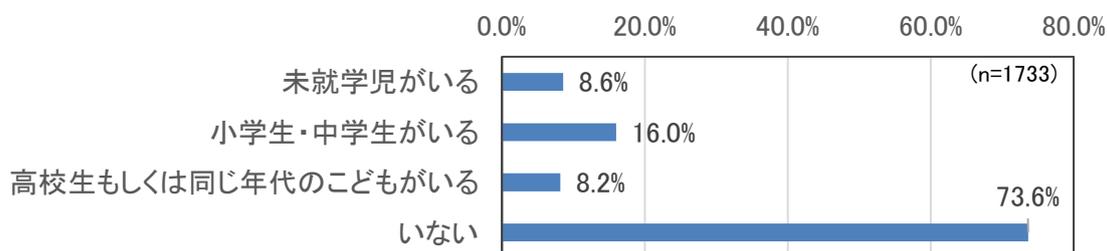
問3. 住んでいる地域 (SA)

「富士根南地区」の割合が最も高く20.1%である。次いで、「富丘地区(18.7%)」、「大宮東地区(13.4%)」である。



問4. 同居する高校生以下の子がいるか (SA)

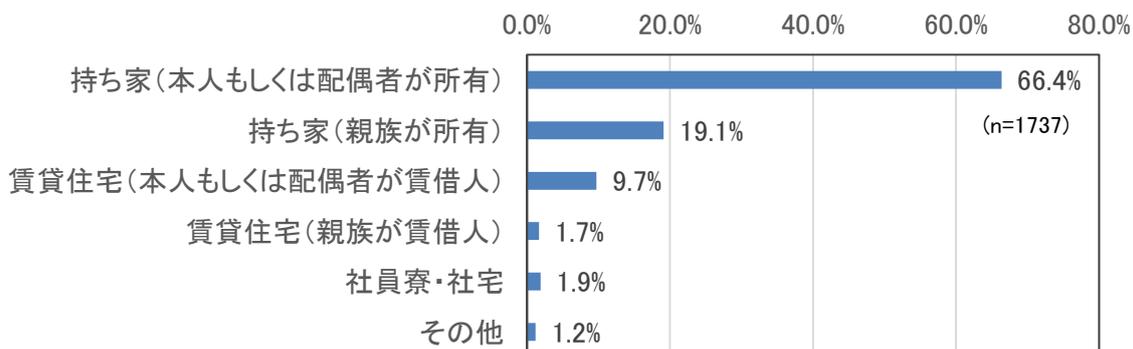
「いない」の割合が最も高く 73.6%である。次いで、「小学生・中学生がいる(16.0%)」、「未就学児がいる(8.6%)」である。



2 富士宮市で暮らすきっかけについて

問5. 自宅について当てはまるもの (SA)

「持ち家(本人もしくは配偶者が所有)」の割合が最も高く 66.4%である。次いで、「持ち家(親族が所有)(19.1%)」、「賃貸住宅(本人もしくは配偶者が賃借人)(9.7%)」である。

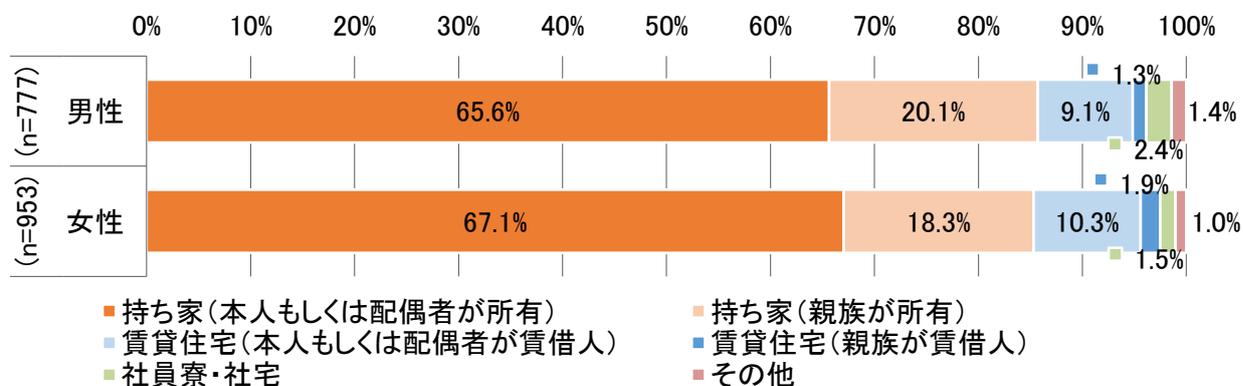


(その他の主な回答)

知人が賃借人、知人の家に居候

■性別クロス集計結果(問1)

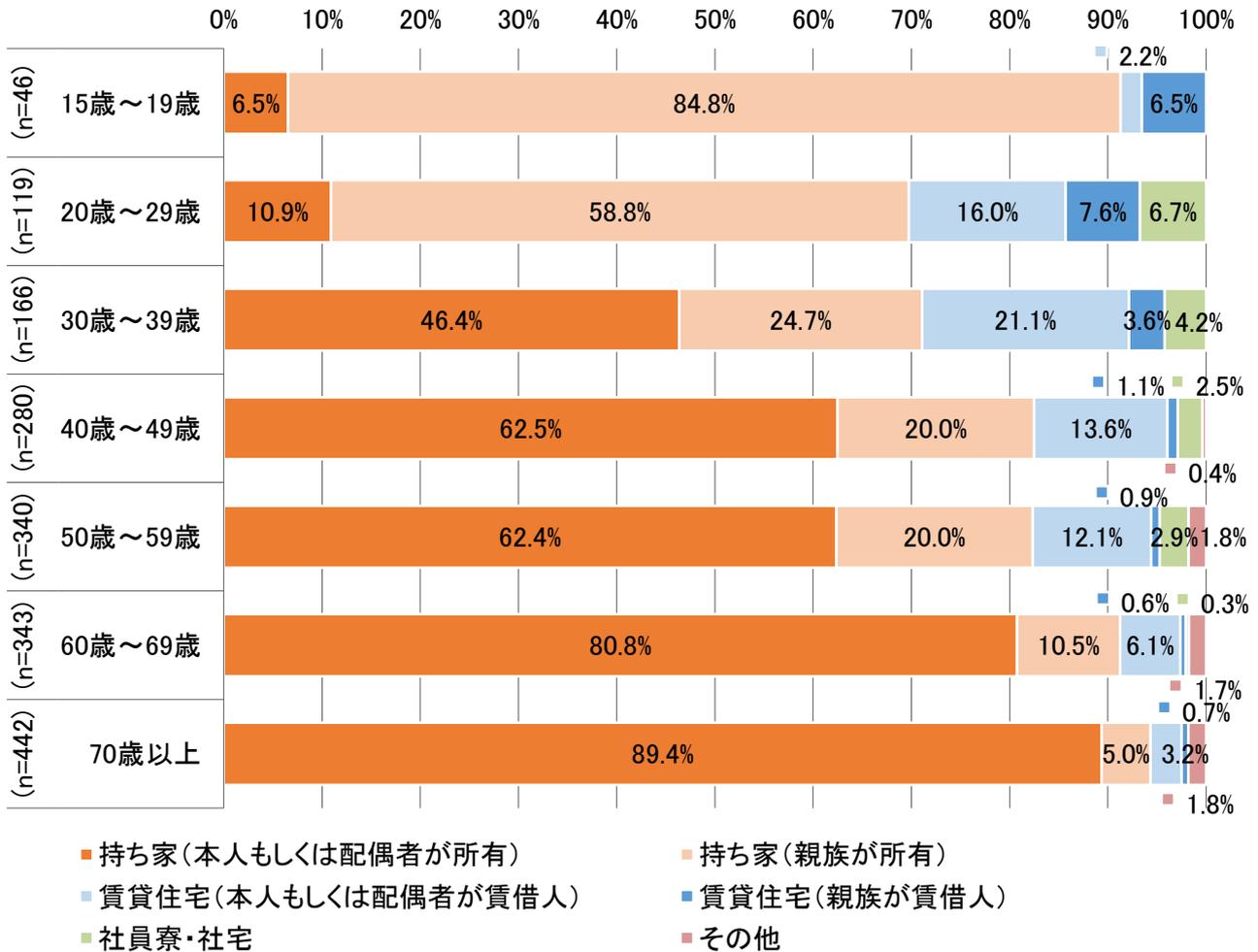
男女の違いによる大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

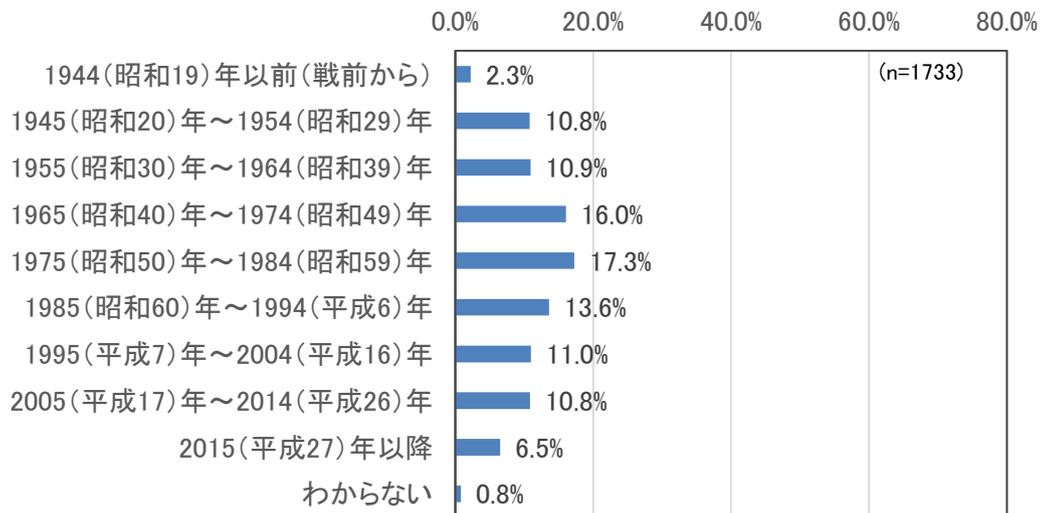
10代・20代は持ち家(親族が所有)が多数を占める。30代以上では持ち家(本人もしくは配偶者が所有)が最も多く、次いで持ち家(親族が所有)、賃貸住宅(本人もしくは配偶者が賃借人)となった。

持ち家の所有形態に着目すると30代・40代で持ち家を購入する方が多いことがうかがえる。



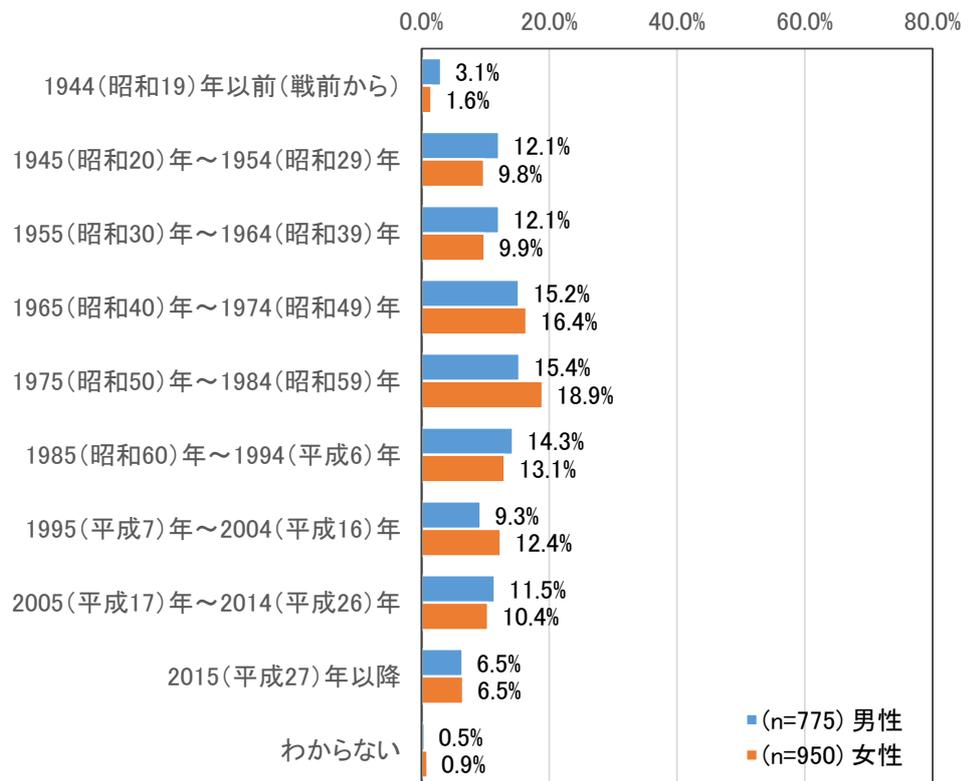
問6. はじめて富士宮市（旧芝川町等を含む現在の富士宮市域）に居住した時期（SA）

「1975(昭和50)年～1984(昭和59)年」の割合が最も高く17.3%である。次いで、「1965(昭和40)年～1974(昭和49)年(16.0%)」、「1985(昭和60)年～1994(平成6)年(13.6%)」である。



■性別クロス集計結果(問1)

男女の違いによる大きな差は見られない。

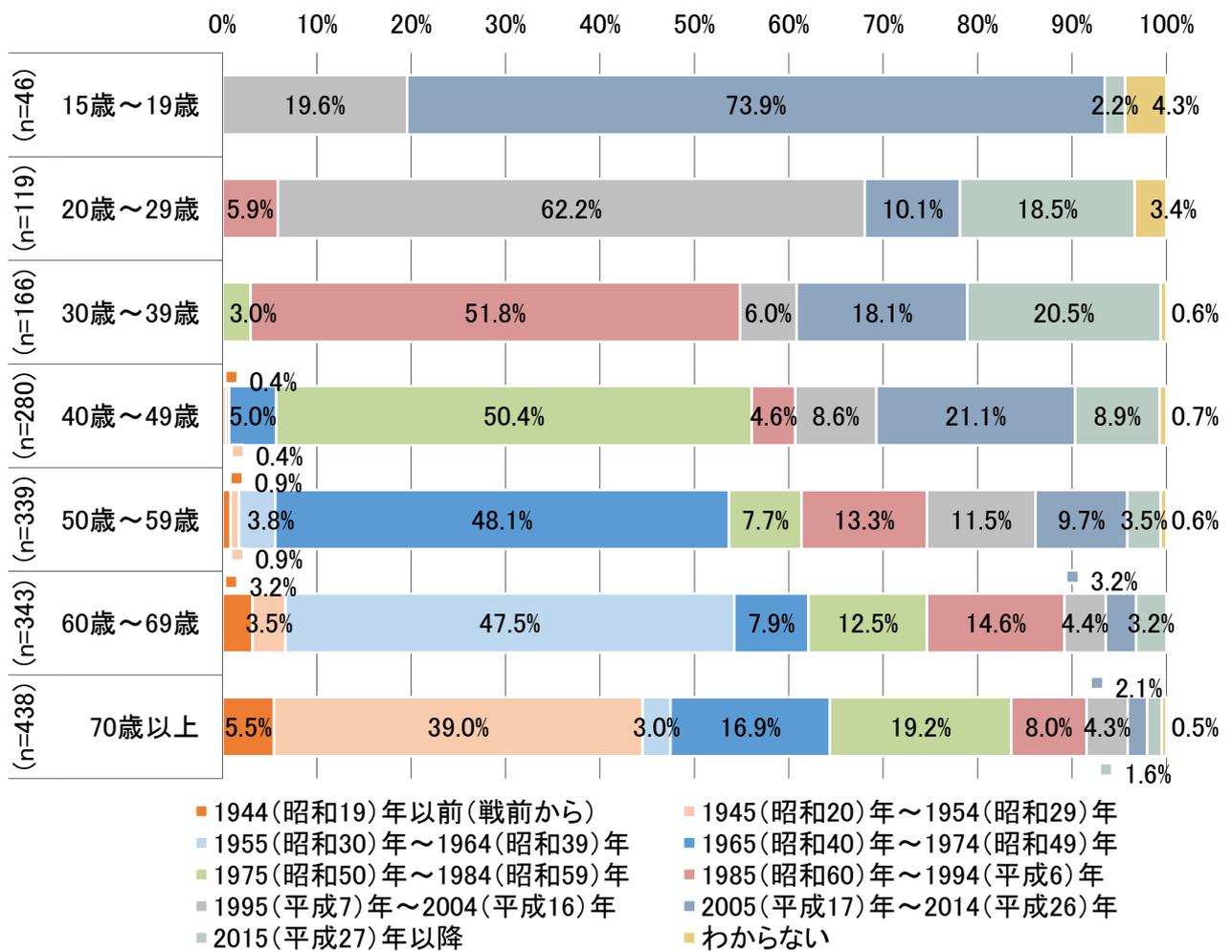


■年齢別クロス集計結果(問2)

10代は1995(平成7)年～2014(平成26)年が90%以上を占め、市内で生まれてから継続して居住している方が多いことがうかがえる。

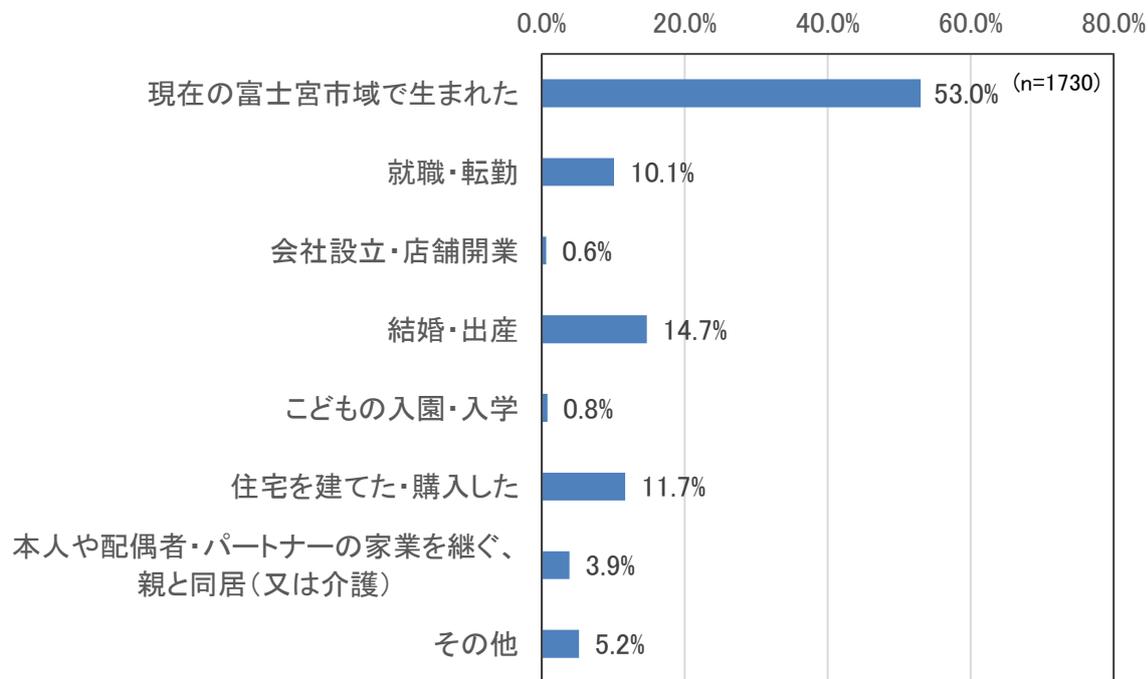
20代は「1995(平成7)年～2004(平成16)年」が62%、30代は「1985(昭和60)年～1994(平成6)年」が51%、40代は「1975(昭和50)年～1984(昭和59)年」が50%、50代は「1965(昭和40)年～1974(昭和49)年」が48%、60代は「1955(昭和30)年～1964(昭和39)年」が47%となり、最も多い回答であった。また、70代以上では「1944(昭和19)年以前から」・「1945(昭和20)年～1954(昭和29)年」を合計すると44%となった。

以上のことから、いずれの年代においても市内で生まれてから継続して富士宮市に居住している方が多いことがうかがえる。



問7. 富士宮市に居住したきっかけ (SA)

「現在の富士宮市域で生まれた」の割合が最も高く 53.0%である。次いで、「結婚・出産(14.7%)」、「住宅を建てた・購入した(11.7%)」である。



(その他の主な回答)

【親の都合】

親の転居(※親の転勤、親の仕事などを含む)、親の離婚、親が住宅を建てた
亡くなった母の実家と父の会社ある職場の間をとって、大宮町に疎開したのが始まり

【配偶者の都合】

配偶者の出身地、配偶者の転勤・転職

【子どもの都合】

子供と同居、子どもの健康のため、離婚して親の近くで子育てをしたかったので、建て替えの時期・子供の就職先により近くなる様に

【その他親族の都合】

兄弟姉妹と同居のため、親族の転勤、同居家族の仕事のため

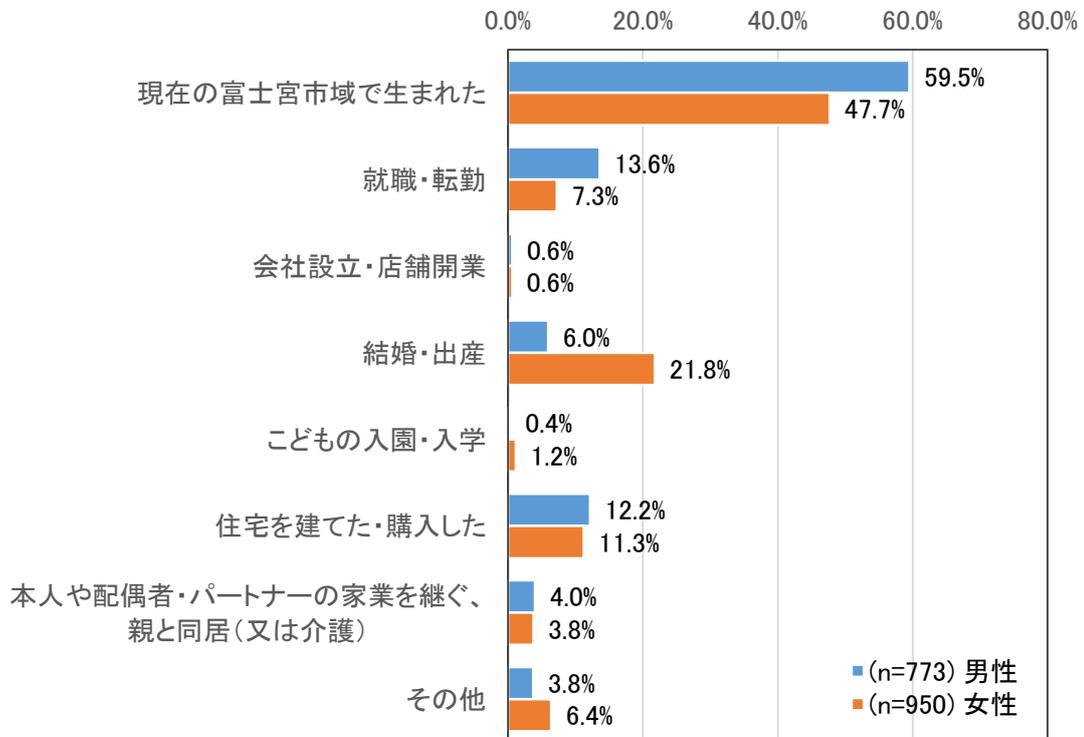
【その他】

本人の入学の為、富士宮に住みたくなった、静かだから、富士山が好きだったから、趣味の自転車に乗る事がしやすくなる為、富士山麓居住希望で主人の定年後に富士山を見ながらの生活に慣れて居住した

■性別クロス集計結果(問1)

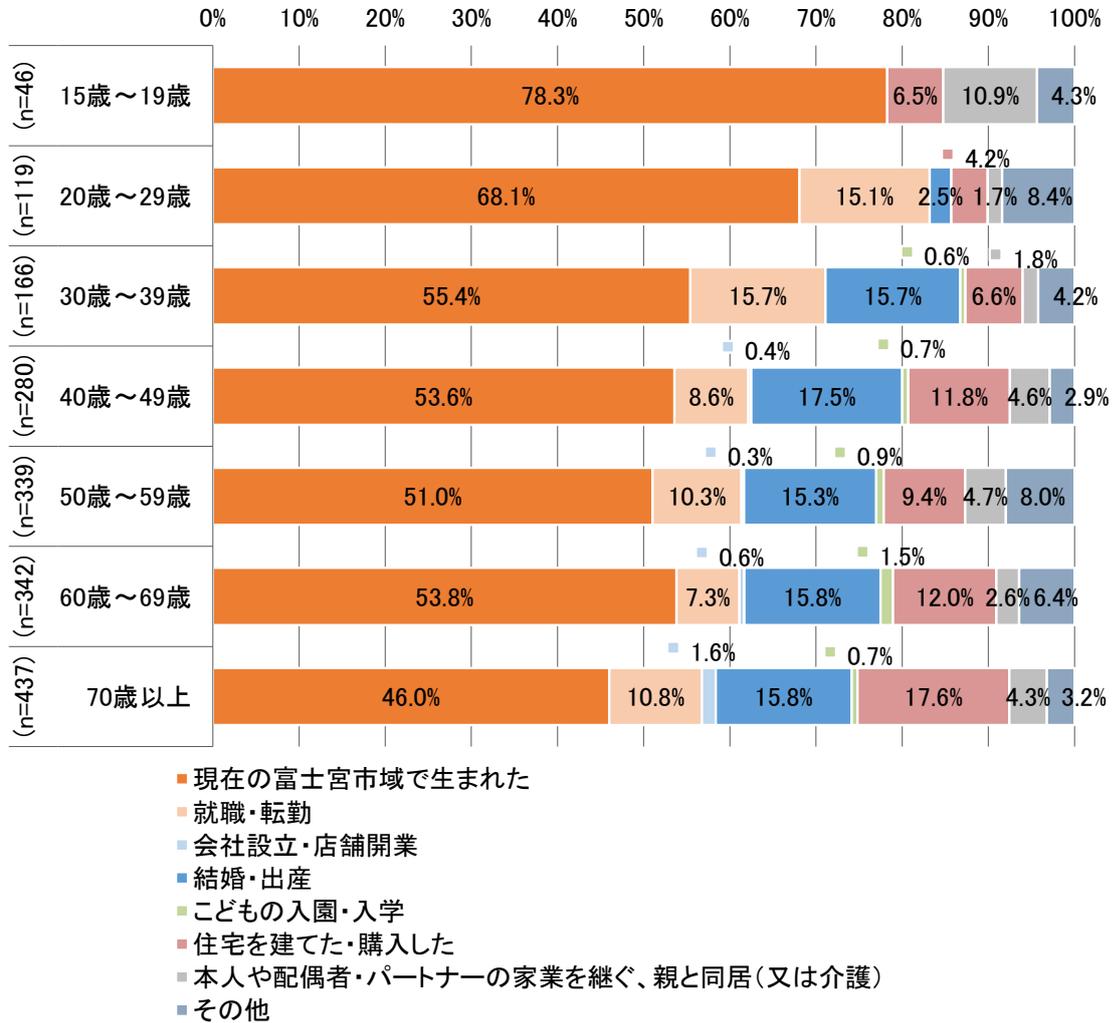
「現在の富士宮市域で生まれた」で男性が女性に比べて 11.8 ポイント上回る。一方で、「結婚・出産」で女性が男性に比べて 15.8 ポイント上回り、富士宮市に居住する男性との結婚や出産をきっかけに女性が転入していることがうかがえる。

「就職・転勤」で男性が女性に比べて 6.3 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

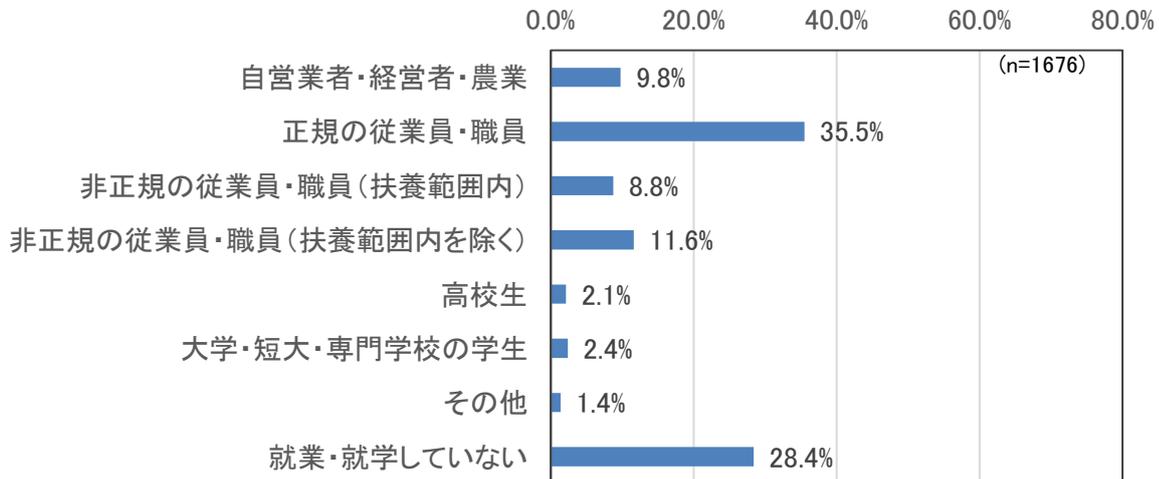
いずれの年代でも「現在の富士宮市域で生まれた」が最も多い回答となり、30代～60代では次いで「結婚・出産」となった。



3 仕事について

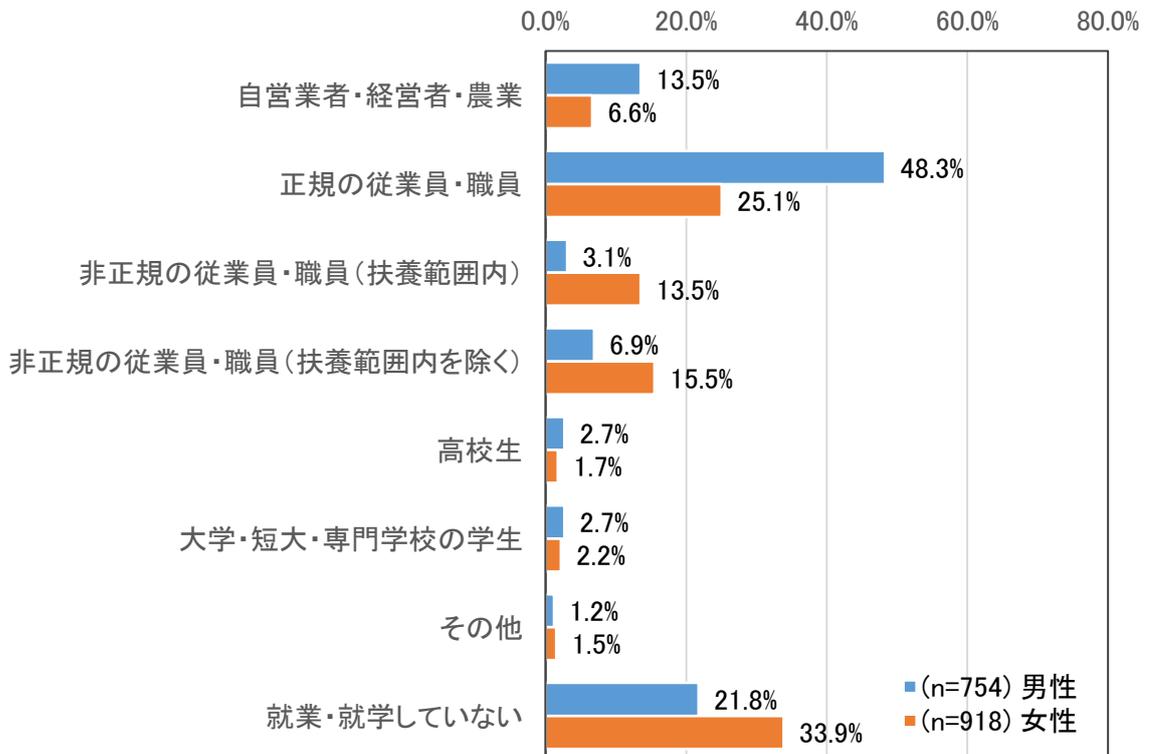
問8. 現在の職業 (SA)

「正規の従業員・職員」の割合が最も高く 35.5%である。次いで、「就業・就学していない(28.4%)」、「非正規の従業員・職員(上記以外)(11.6%)」である。



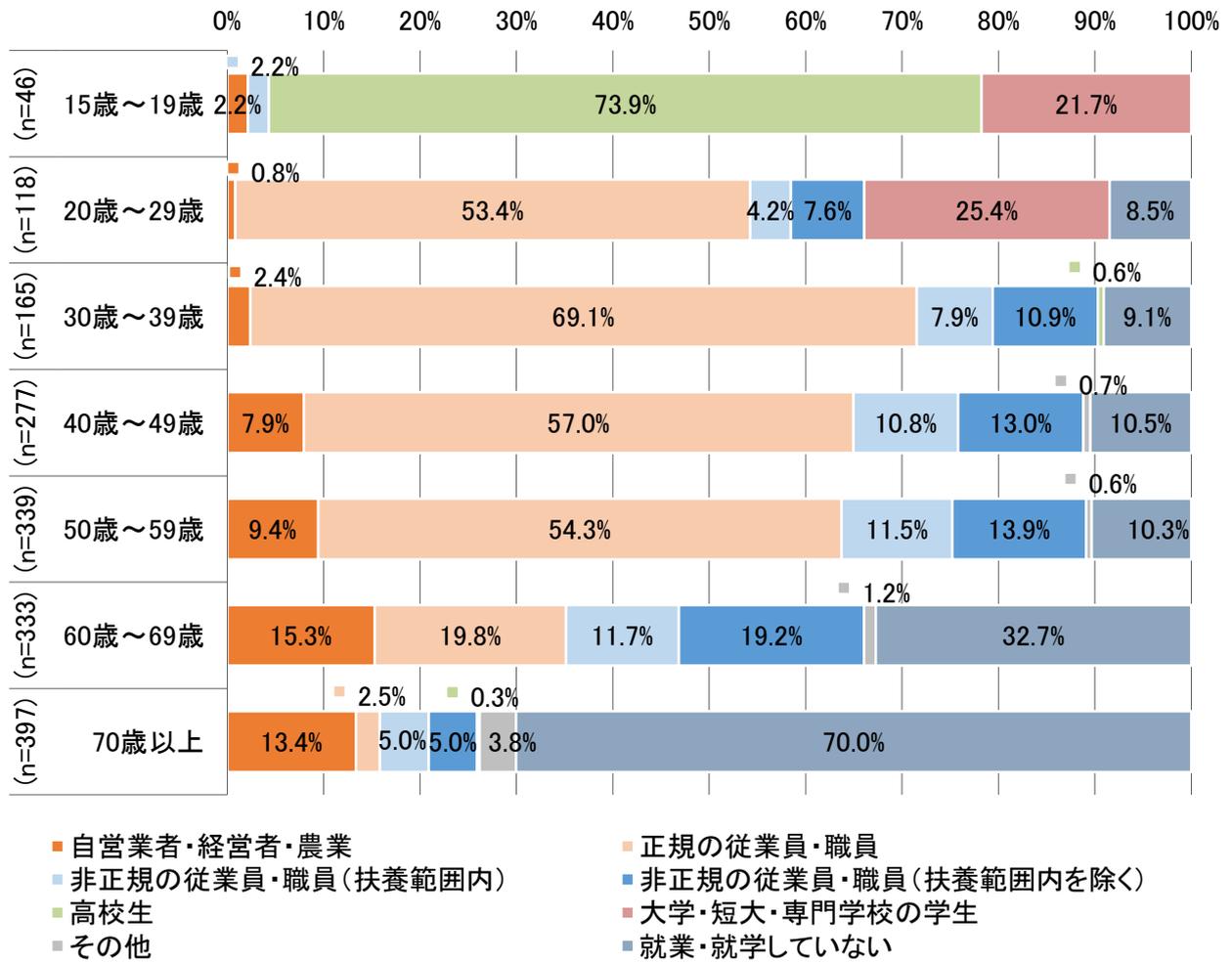
■性別クロス集計結果(問1)

「正規の従業員・職員」で男性が女性に比べて 23.2 ポイント、「自営業者・経営者・農業」で男性が女性に比べて 6.9 ポイント上回る。また、「就業・就学していない」で女性が男性に比べて 12.1 ポイント、「非正規の従業員・職員(扶養範囲内)」で女性が男性に比べて 10.4 ポイント、「非正規の従業員・職員(扶養範囲内を除く)」で女性が男性に比べて 8.6 ポイント上回る。



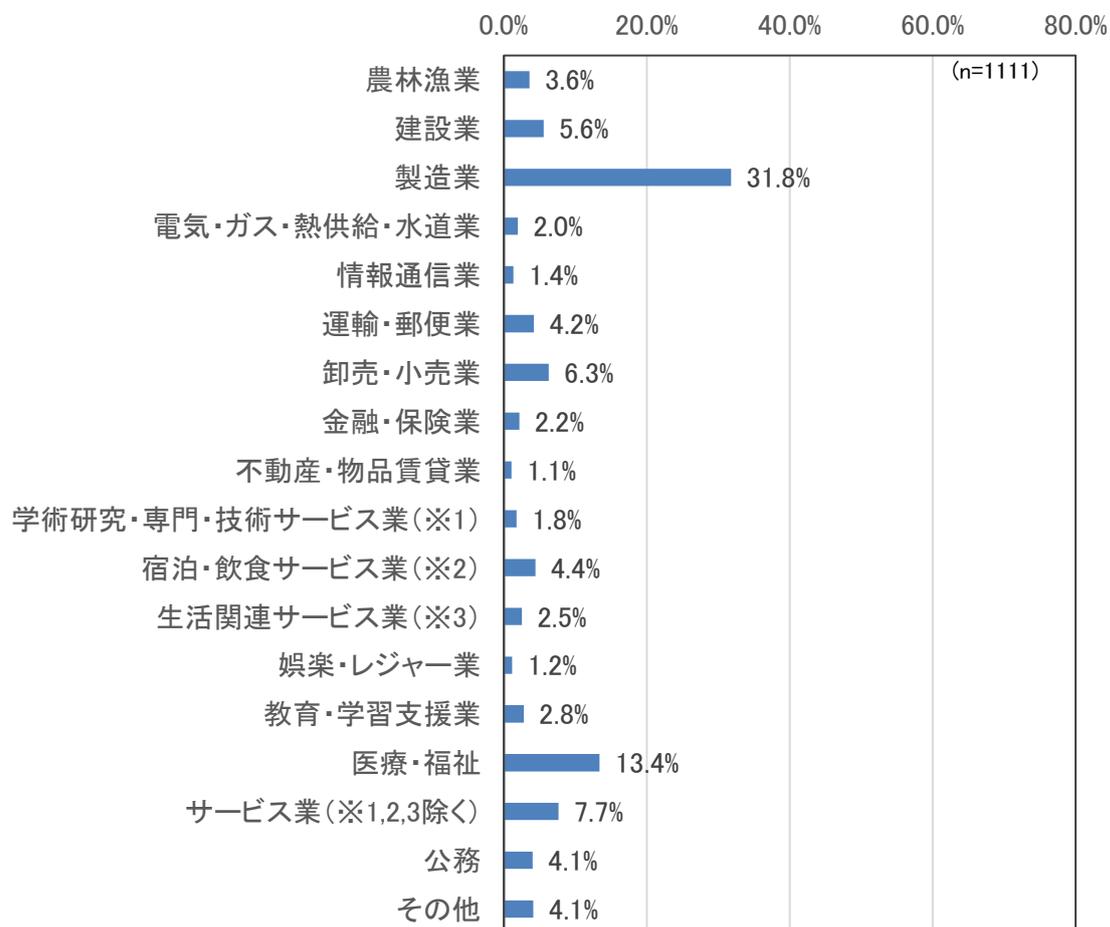
■年齢別クロス集計結果(問 2)

10代の9割以上が「高校生」または「大学・短大・専門学校の学生」である。20代～50代では「正規の従業員・職員」が最も多い。60代以上では「就業・就学していない」が最も多い。



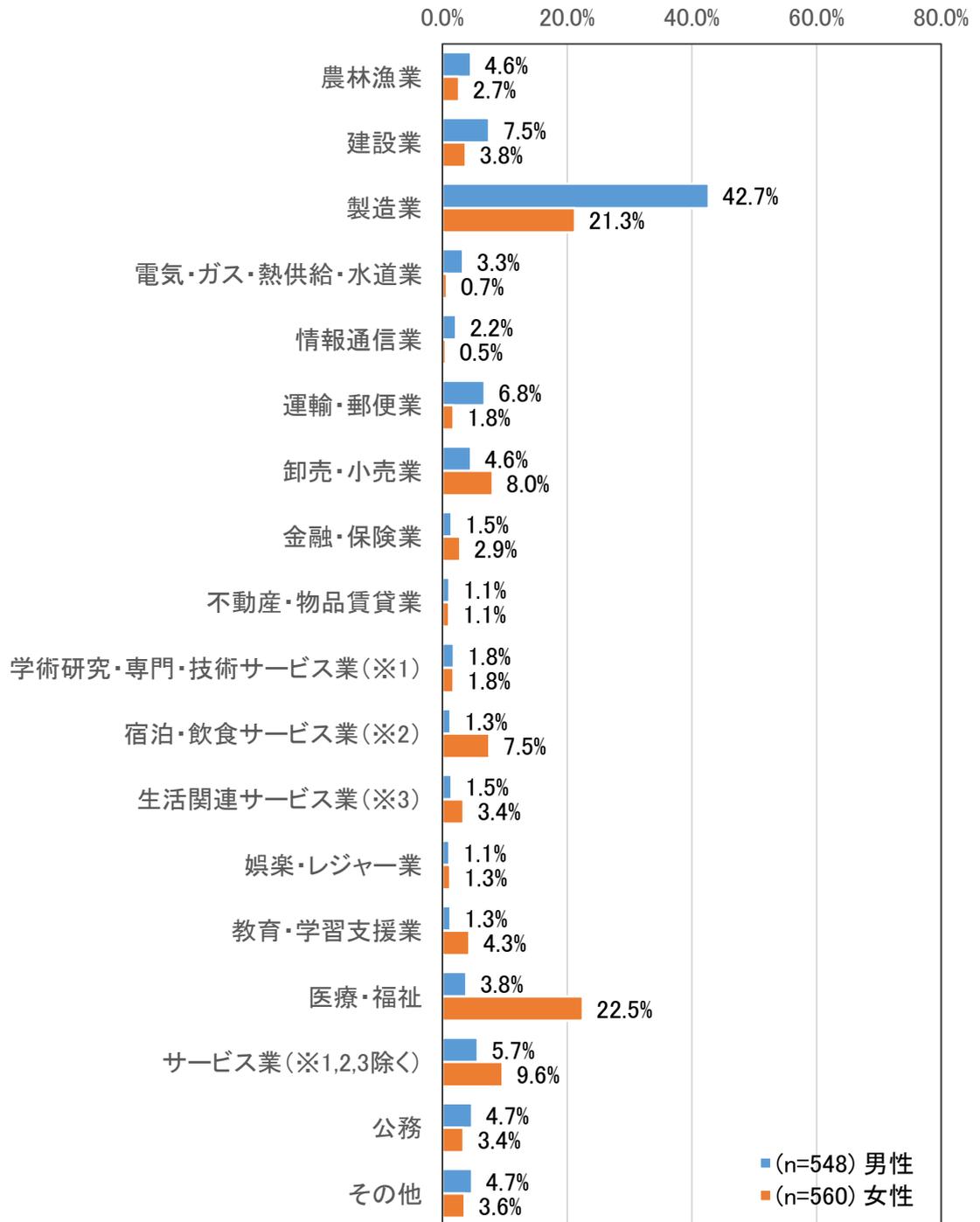
問9. 職業の業種 (SA※主なものを1つ選択)

「製造業」の割合が最も高く 31.8%である。次いで、「医療・福祉(13.4%)」、「サービス業(その他)(7.7%)」である。



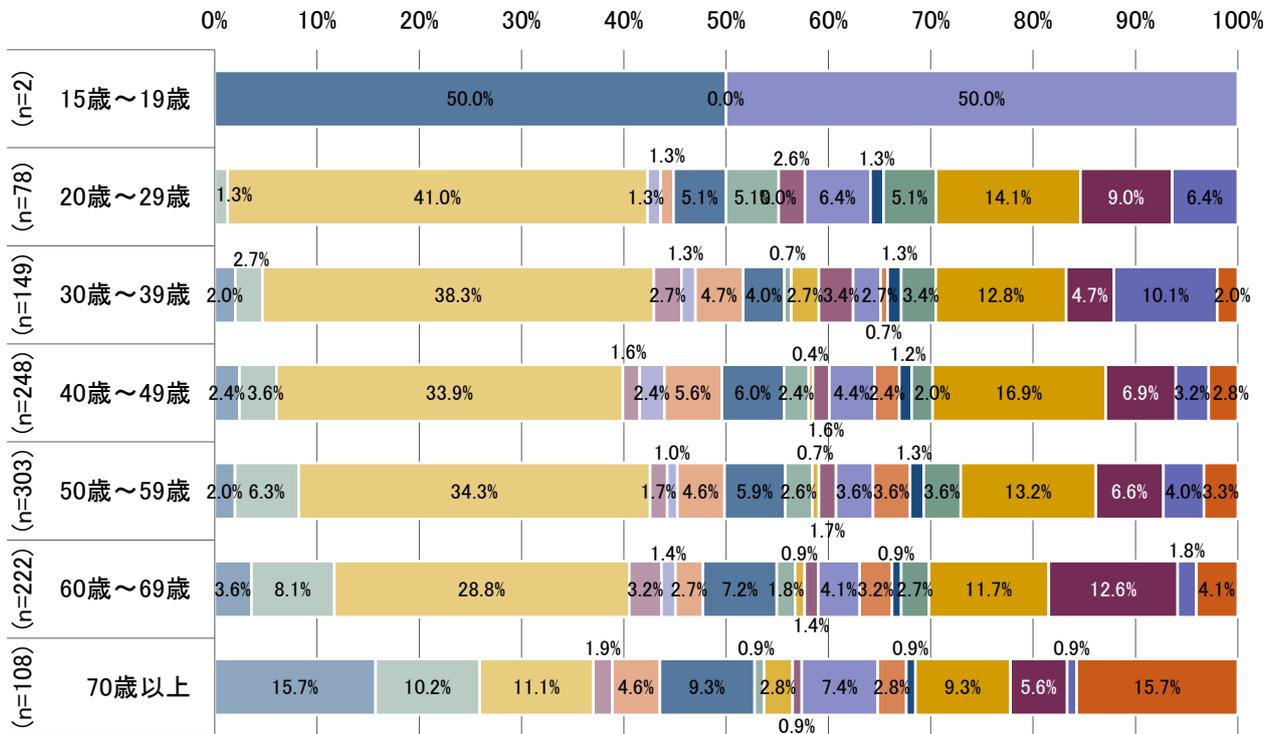
■性別クロス集計結果(問1)

「製造業」で男性が女性に比べて 21.4 ポイント上回り、男性が女性の 2 倍以上が製造業に就いている。また、「医療・福祉」で女性が男性に比べて 18.7 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

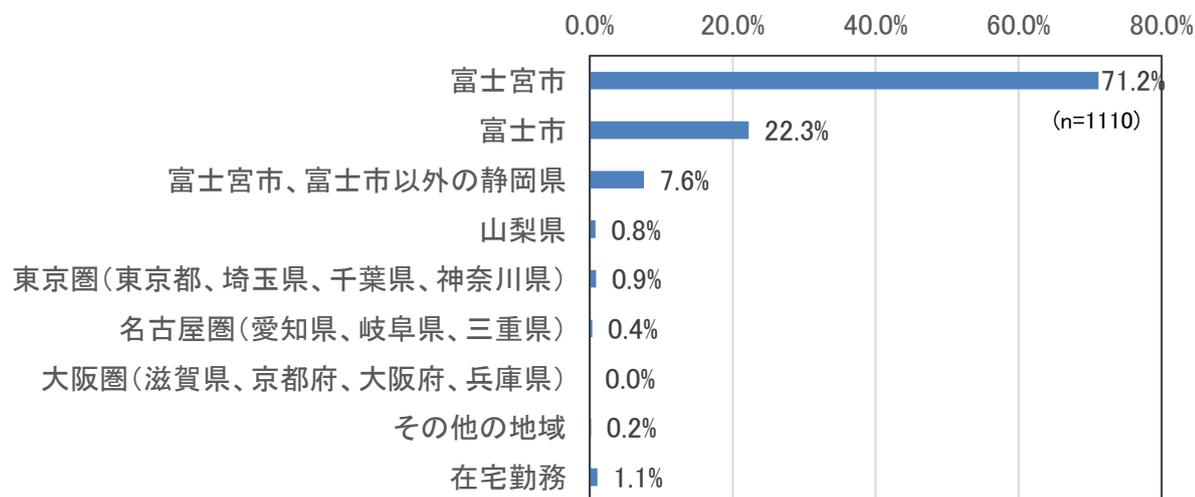
20代～60代で「製造業」が最も多い回答となった。70代は農林漁業従事者が他の年代に比べて高い割合となっている。



- 農林漁業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸・郵便業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産・物品賃貸業
- 学術研究・専門・技術サービス業(※1)
- 宿泊・飲食サービス業(※2)
- 生活関連サービス業(※3)
- 娯楽・レジャー業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- サービス業(※1,2,3除く)
- 公務
- その他

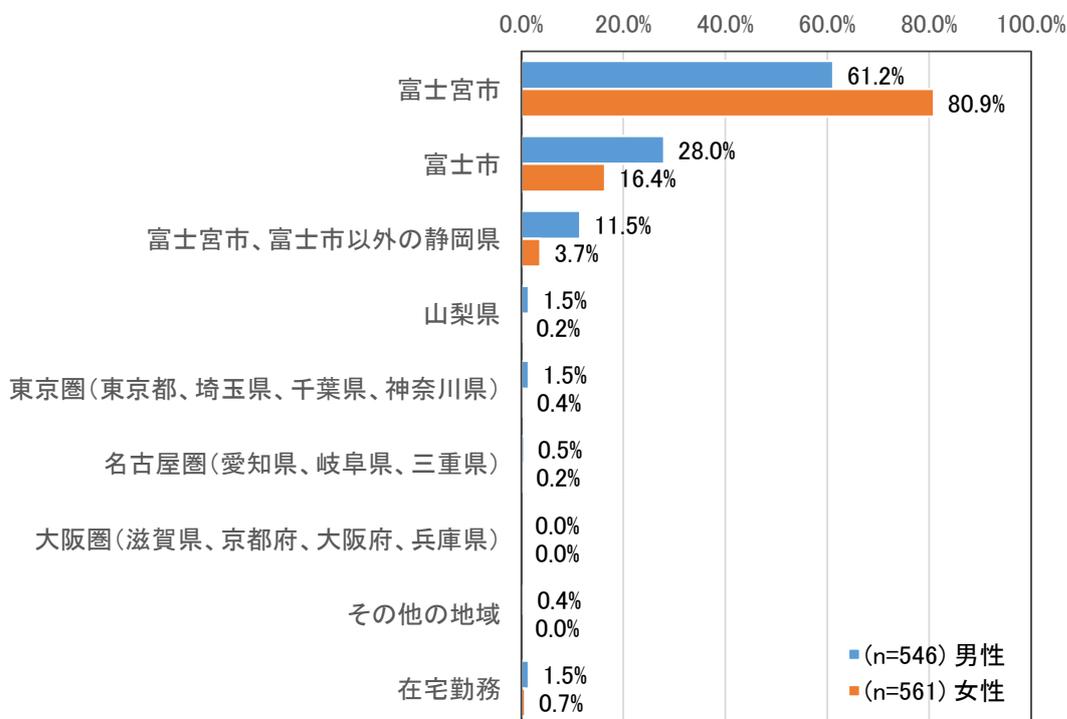
問10. 現在の勤務地 (MA)

「富士宮市」の割合が最も高く 71.2%である。次いで、「富士市(22.3%)」、「富士宮市、富士市以外の静岡県(7.6%)」である。



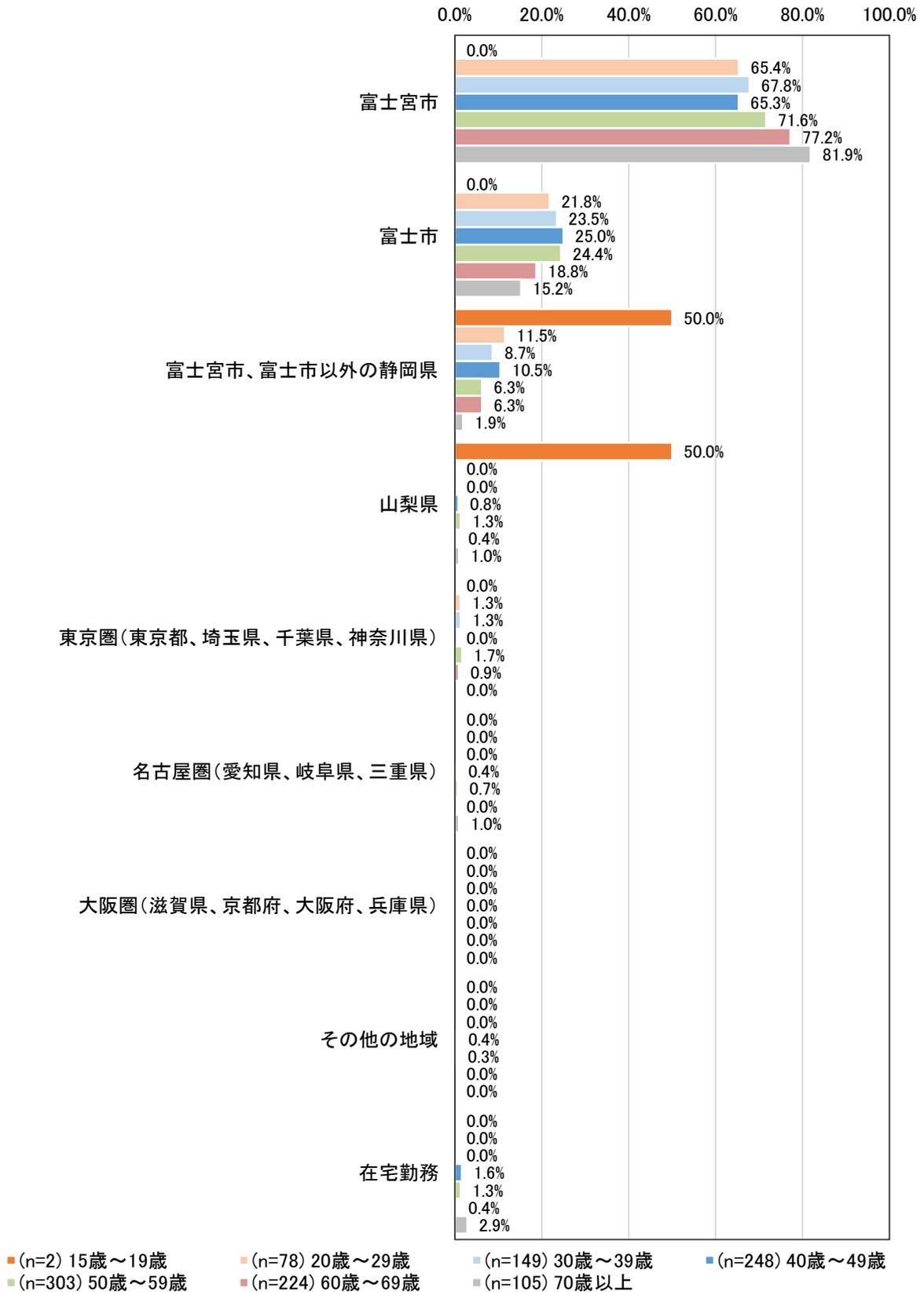
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに富士宮市内が 6 割以上を占め、静岡県内が 9 割以上を占める。「富士宮市」で女性が男性に比べて 19.7 ポイント上回る。また、「富士市」で男性が女性に比べて 11.6 ポイント、「富士宮市、富士市以外の静岡県」で男性が女性に比べて 7.8 ポイント上回る。女性に比べ男性は富士宮市外で働く割合が高いことがうかがえる。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

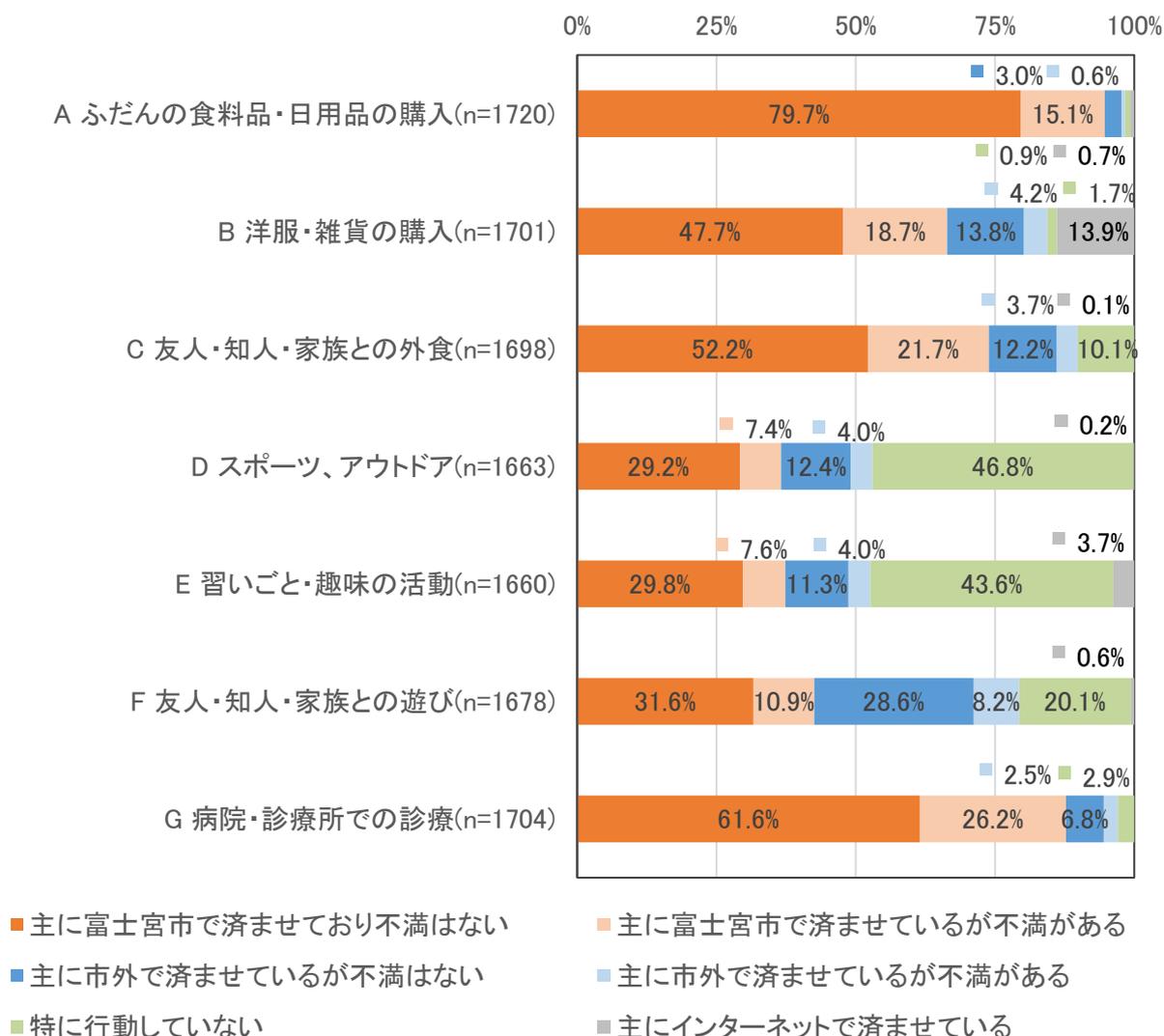
20 代以上の全ての年代で富士宮市が 6 割以上と最も多く、次いで富士市となった。(10 代はサンプル数が少ないため割愛する。)



4 日常について

問11. 行動場所と満足度 (SA)

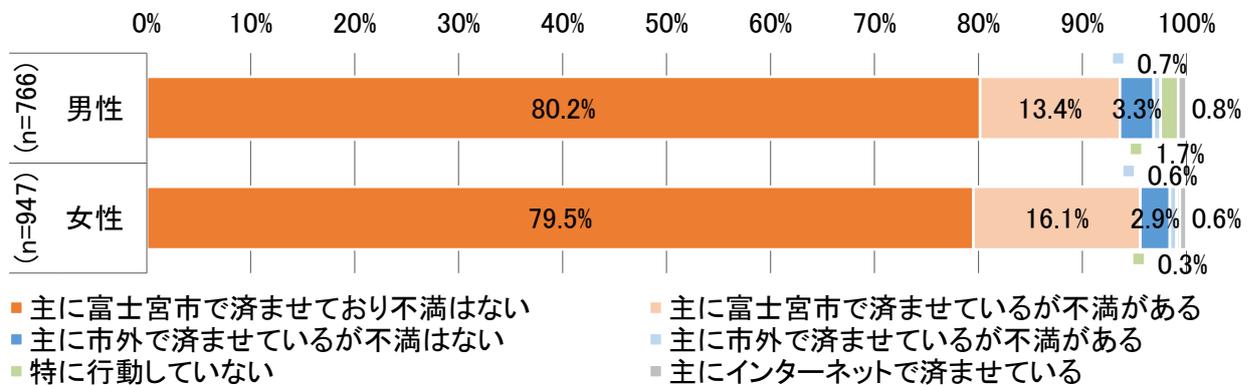
「A ふだんの食料品・日用品の購入」、「G 病院・診療所での診療」については、市内での利用が多く満足度も高くなっている。「F 友人・知人・家族との遊び」については、市外での利用が多いものの、不満の割合が低くなっている。「B 洋服・雑貨の購入」、「C 友人・知人・家族との外食」、「G 病院・診療所での診療」については、市内での利用が多いものの、市内での利用者のうち3割程度が不満を感じている。



■性別クロス集計結果(問1)

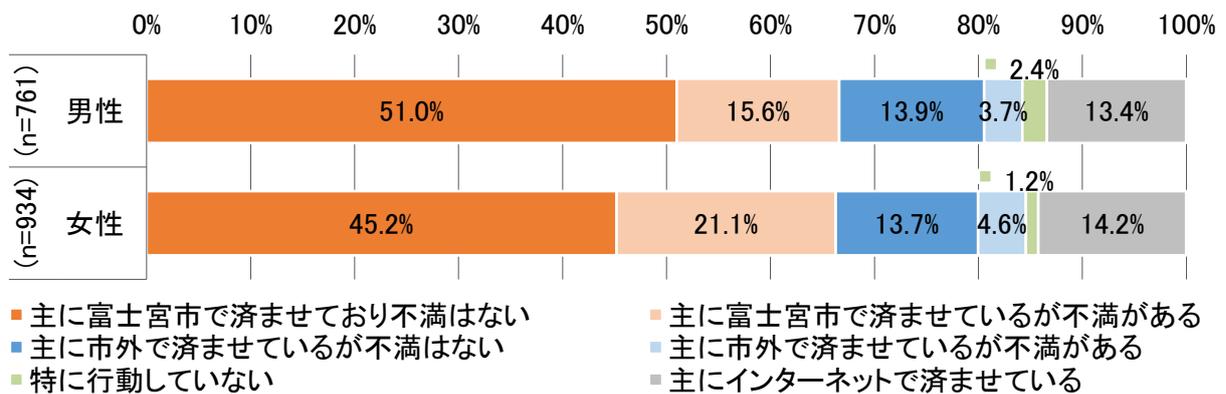
(A ふだんの食料品・日用品の購入)

男女に大きな差は見られない。



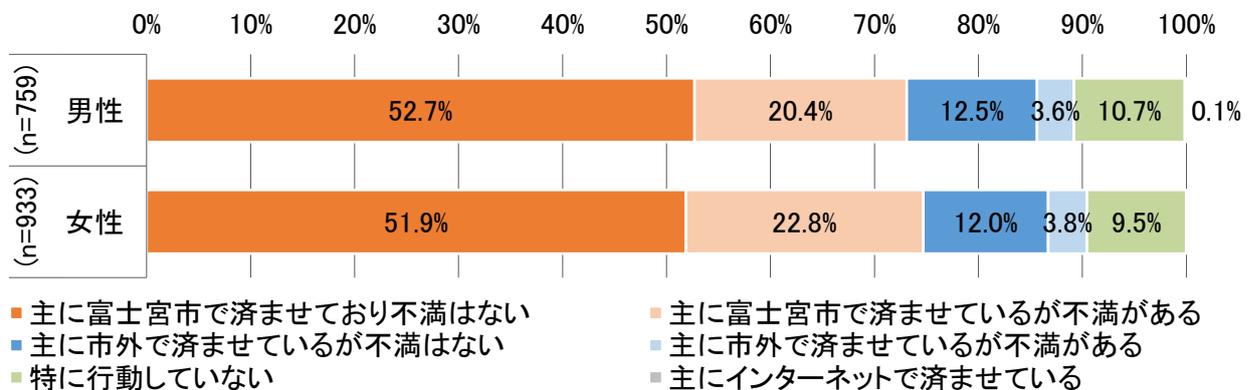
(B 洋服・雑貨の購入)

男女に大きな差は見られない。



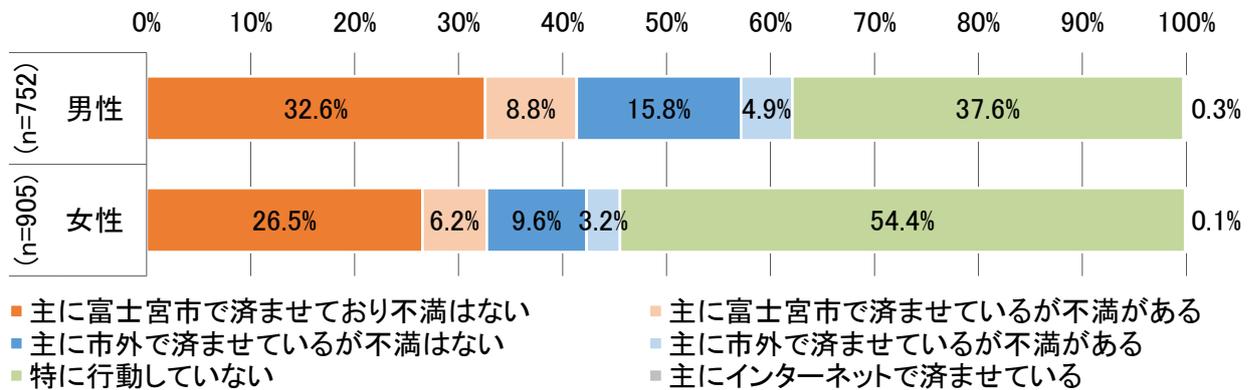
(C 友人・知人・家族との外食)

男女に大きな差は見られない。



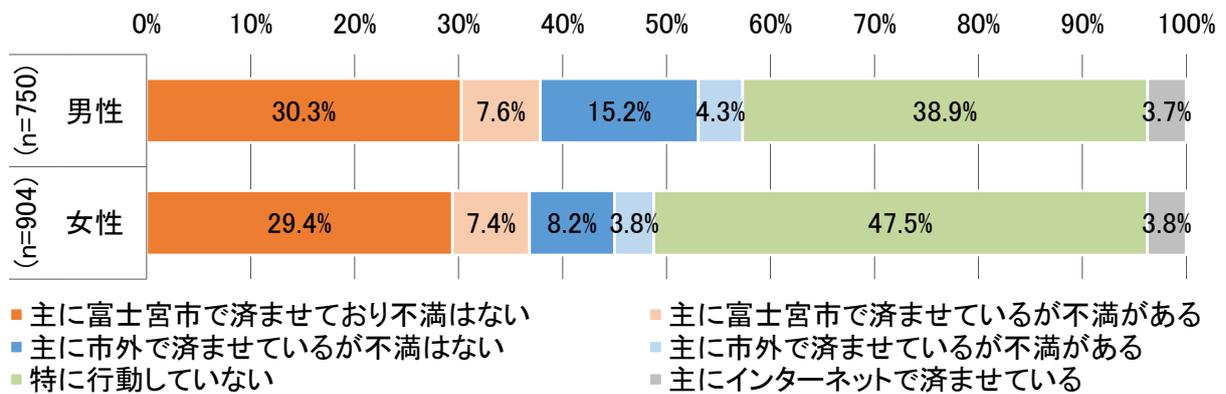
(D スポーツ、アウトドア)

「特に行動していない」で女性が男性に比べて 16.8 ポイント上回る。



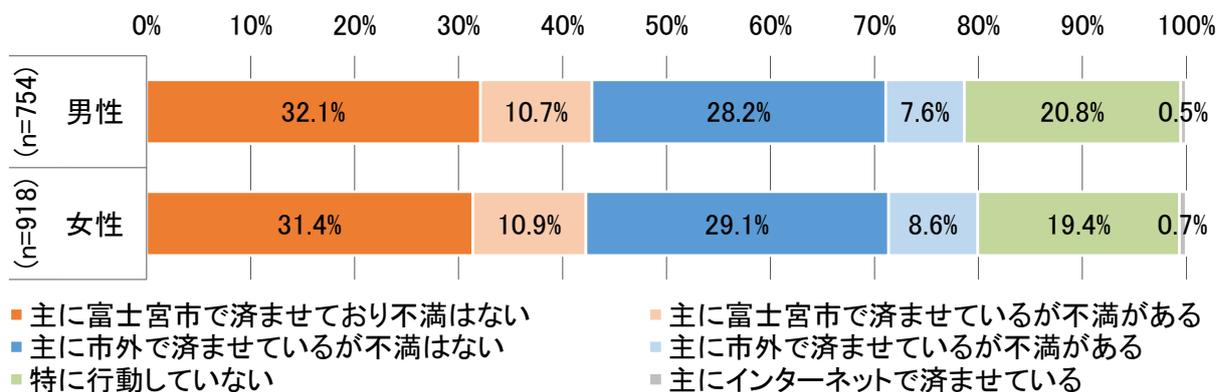
(E 習いごと・趣味の活動)

「特に行動していない」で女性が男性に比べて 8.6 ポイント上回る。



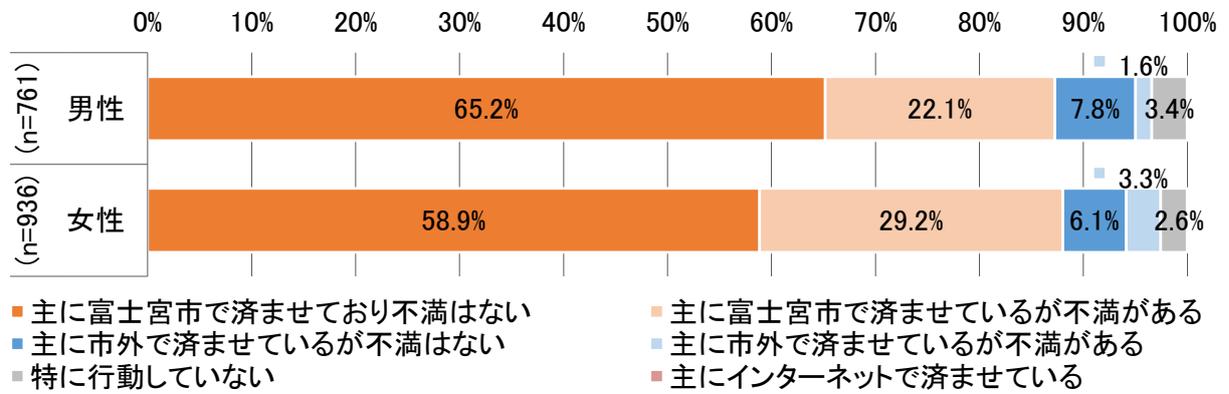
(F 友人・知人・家族との遊び)

男女に大きな差は見られない。



(G 病院・診療所での診療)

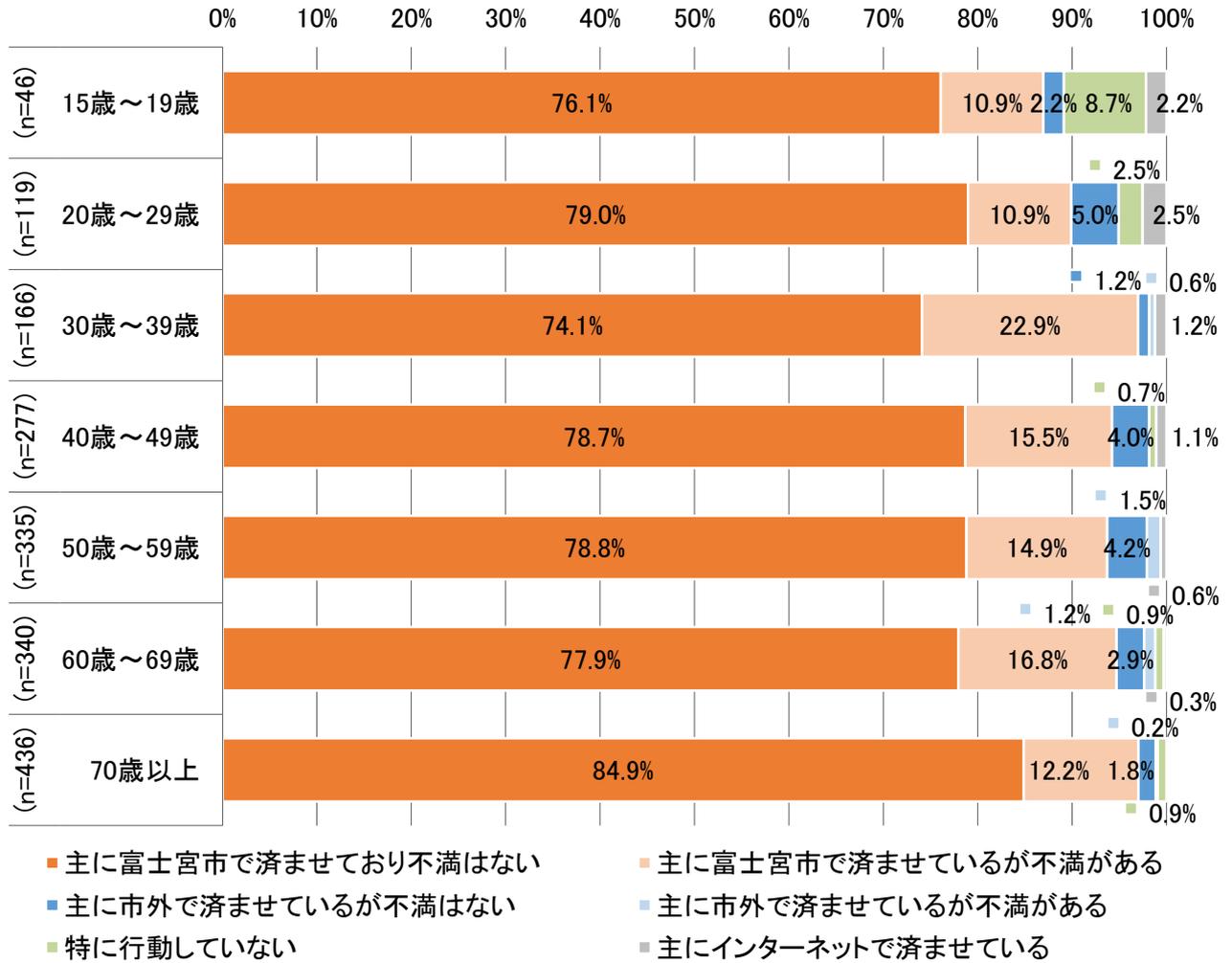
男女に大きな差は見られないが、「主に富士宮市で済ませているが不満がある」で女性が男性に比べて 7.1 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

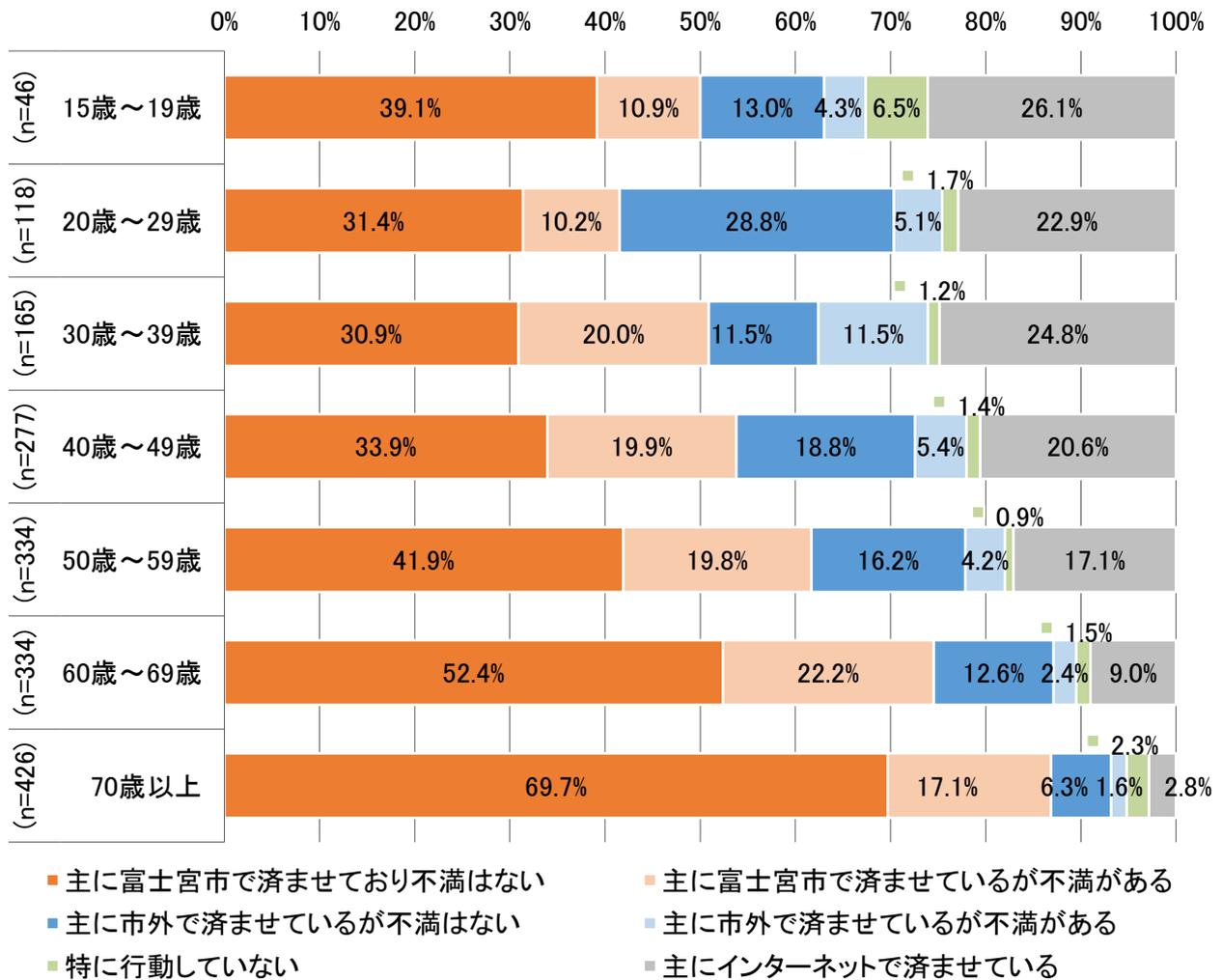
(A ふだんの食料品・日用品の購入)

年代ごとの差は殆ど見られず、いずれの年代においても「主に富士宮市で済ませており不満はない」が最も多く、次いで「主に富士宮市で済ませているが不満がある」という回答となった。



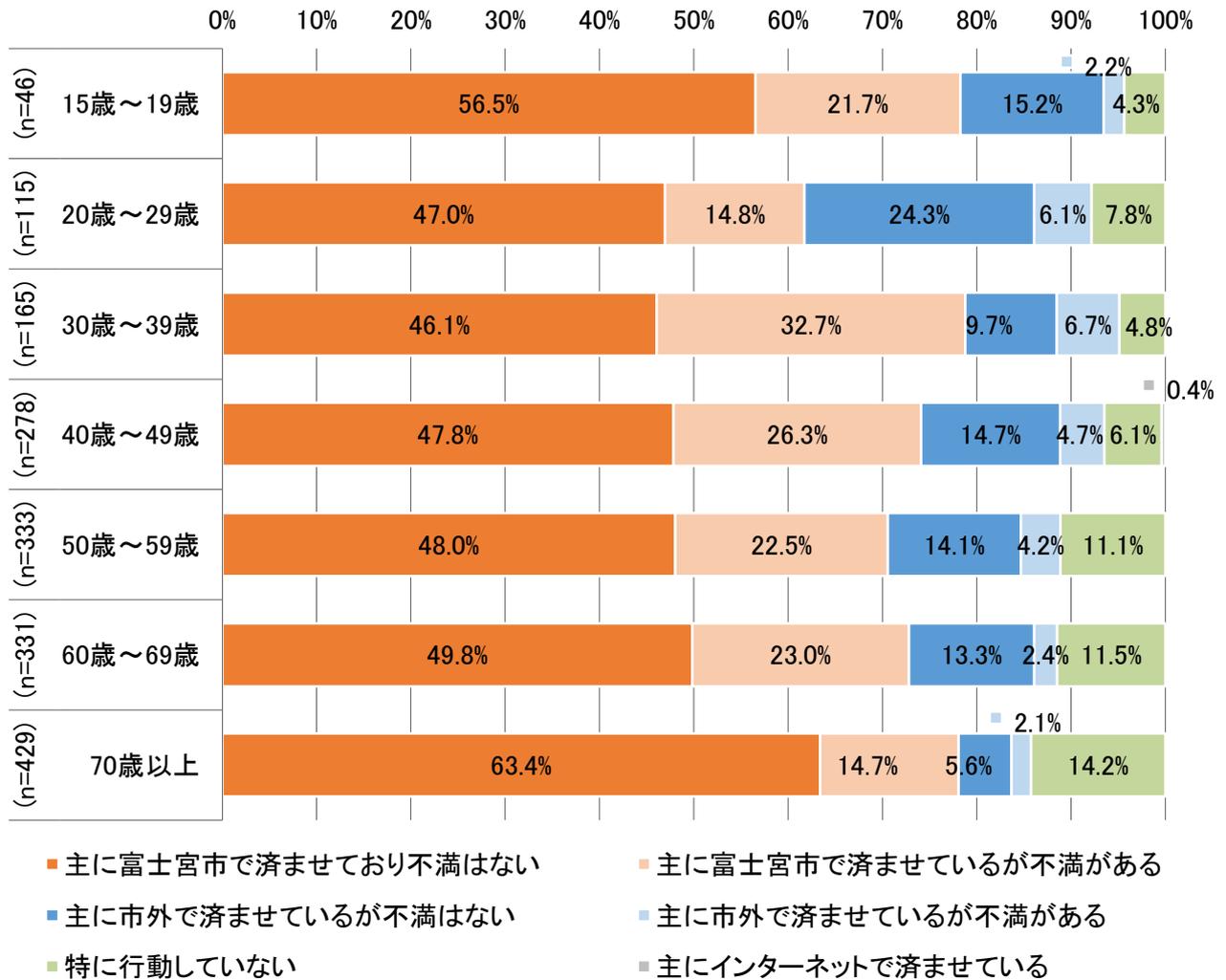
(B 洋服・雑貨の購入)

いずれの年代においても「主に富士宮市で済ませており不満はない」が最も多い回答となったが、その割合は年代が上がるにつれて増加している。年代が下がるほど「主にインターネットで済ませている」割合が増加する傾向にある。20代では「主に市外で済ませているが不満はない」が28.8%となり、他の年代と比較して回答割合が高い。



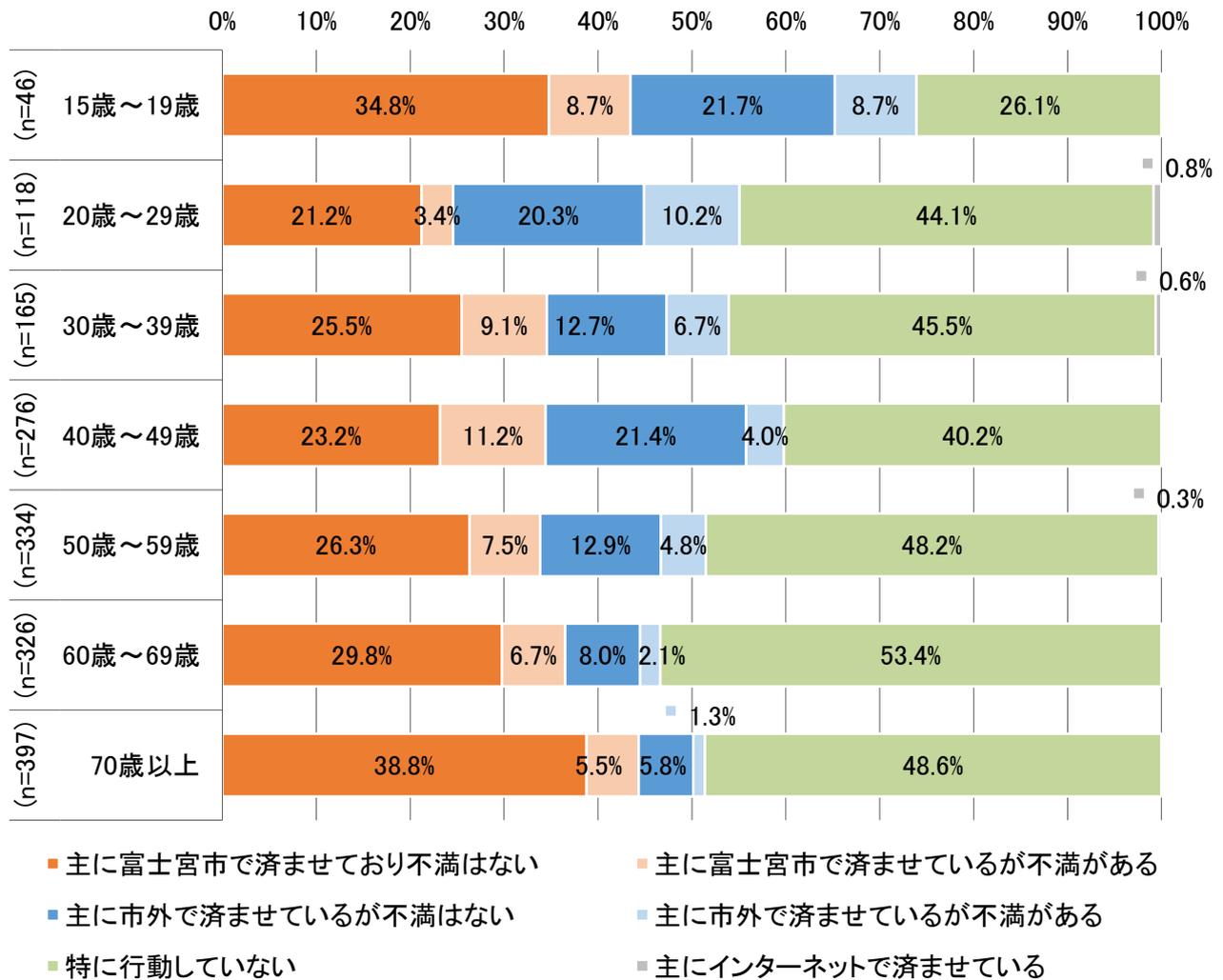
(C 友人・知人・家族との外食)

年代ごとの差は殆ど見られず、いずれの年代においても「主に富士宮市で済ませており不満はない」が最も多い回答となった。多くの年代では次いで「主に富士宮市で済ませているが不満がある」となったが、20代では「主に市外で済ませているが不満はない」となり、その回答割合も他の年代と比べて高い結果である。「主に富士宮市で済ませているが不満がある」が20代の14.8%に対し30代では32.7%となり17.9ポイントの差がみられる。



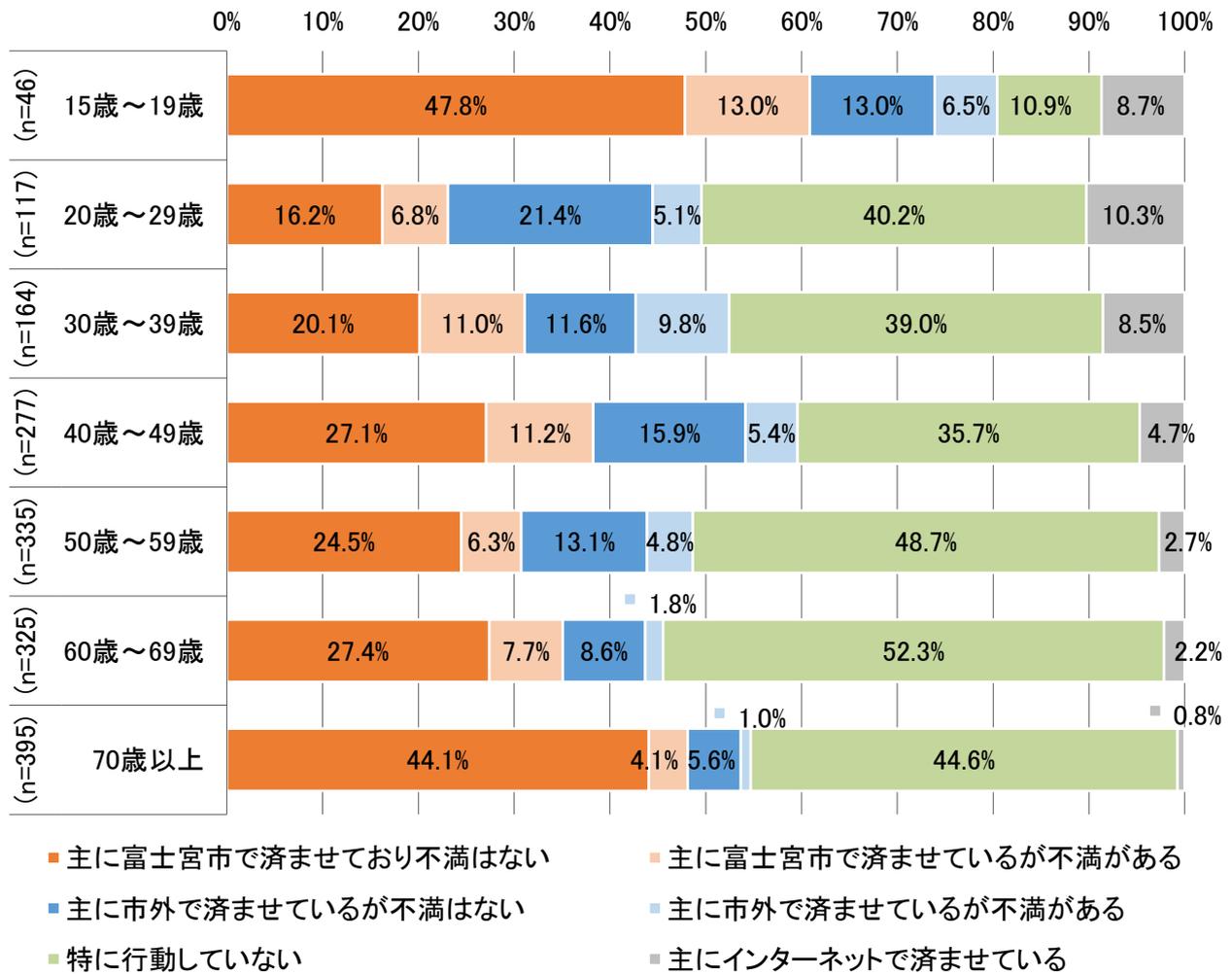
(D スポーツ、アウトドア)

10代では「主に富士宮市で済ませており不満はない」が最も多く、20代以上では「特に行動していない」が最も多い回答となった。20代以上で見ると、年代が上がるにつれて「主に富士宮市で済ませており不満はない」と回答する割合が増える。



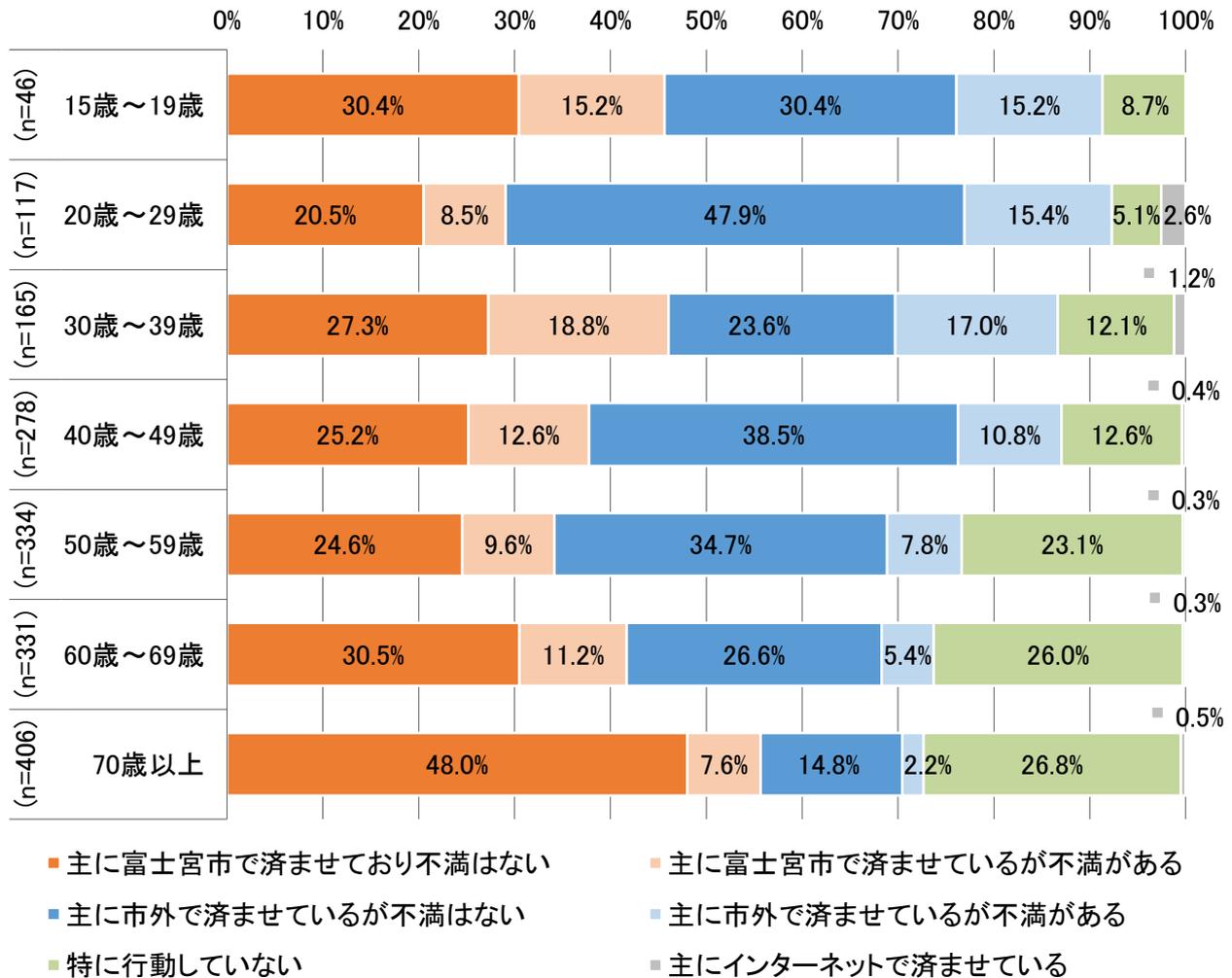
(E 習いごと・趣味の活動)

10代では「主に富士宮市で済ませており不満はない」の割合が最も高く、20代以上では「特に行動していない」が最も多い回答となった。20代以上でみると、年代が上がるにつれて「主に富士宮市で済ませており不満はない」と回答する割合が増える。「主に富士宮市で済ませており不満はない」・「主に富士宮市外で済ませており不満はない」の合計を見ると、30代の31.7%に対し40代では43.0%となり12.3ポイントもの差がみられる。



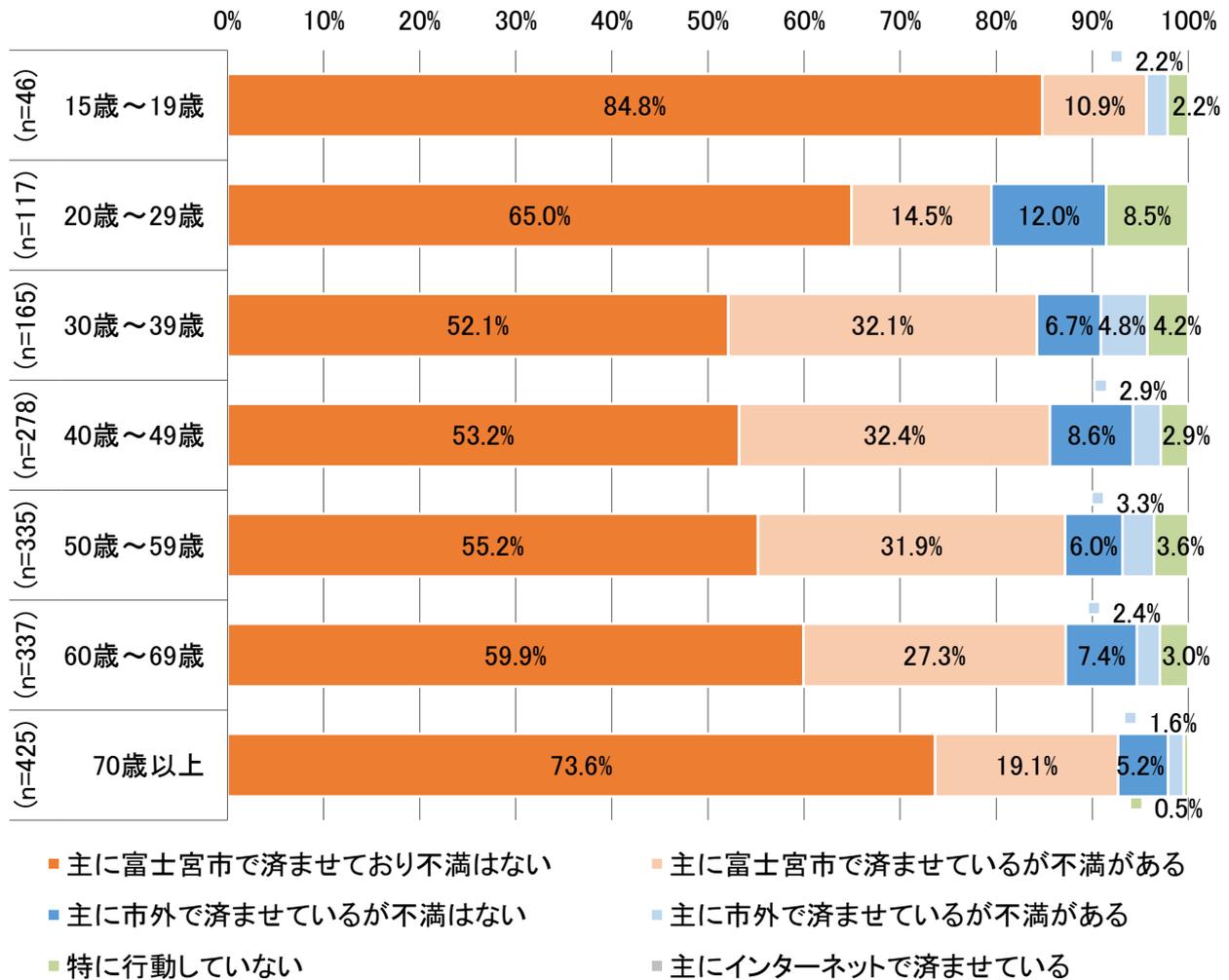
(F 友人・知人・家族との遊び)

いずれの年代でも「主に富士宮市で済ませており不満はない」・「主に市外で済ませているが不満はない」を合わせると 5 割以上となり、友人・知人・家族との遊びにおいて不満はない方が半数を占める。また、年代が上がるにつれて「特に行動していない」と回答する割合が増える。「主に富士宮市で済ませているが不満がある」・「主に富士宮市外で済ませているが不満がある」の合計を見ると、10 代では 30.4%・30 代では 35.8%となり他の年代と比べて不満を感じている割合が多い。



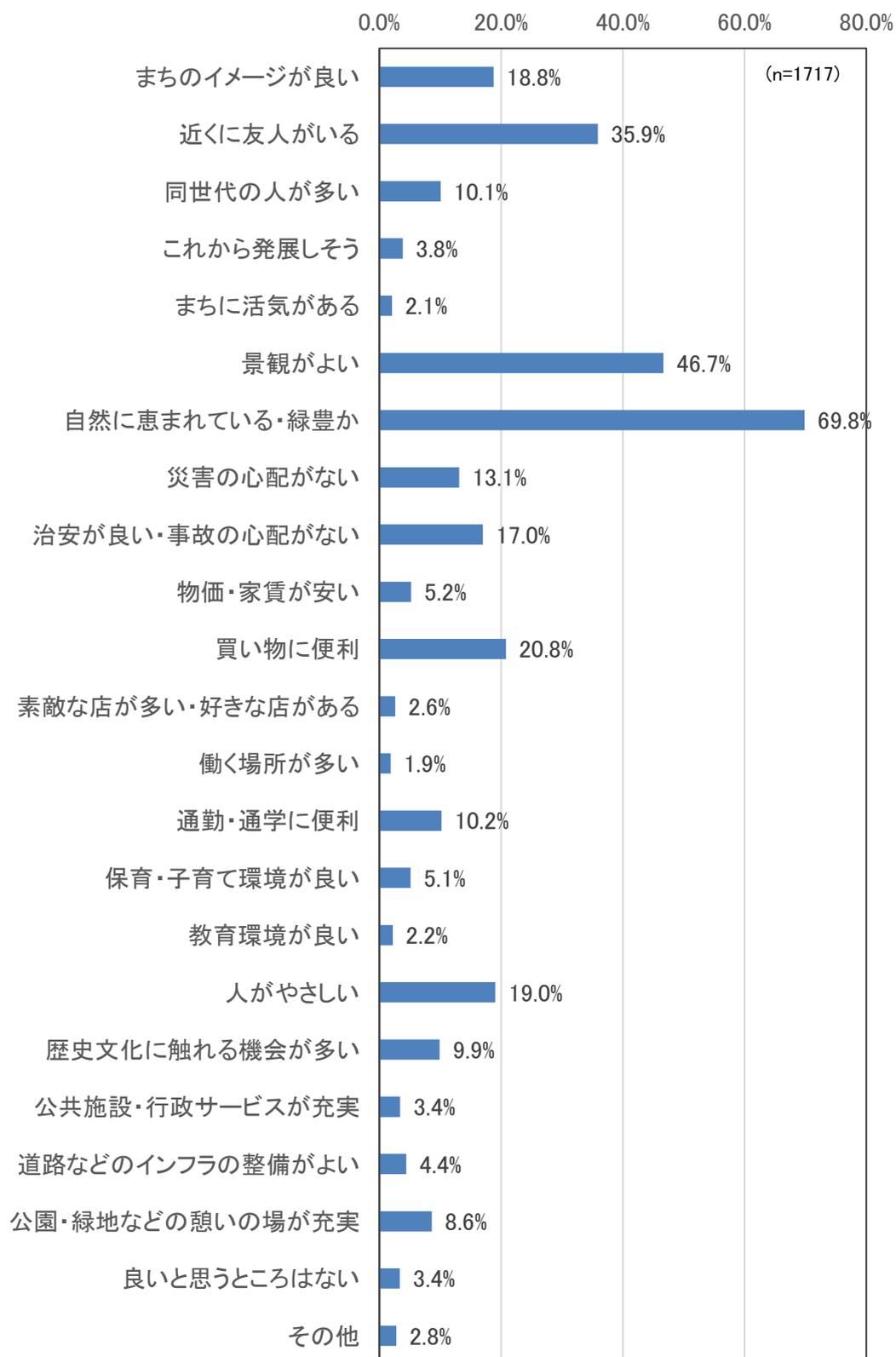
(G 病院・診療所での診療)

10代と70代以上は、「主に富士宮市で済ませており不満はない」の割合が7割以上、「主に富士宮市で済ませているが不満がある」の割合が2割未満であるが、30代から60代は「主に富士宮市で済ませているが不満がある」の割合が3割程度となっている。



問12. 富士宮市で生活していて良いと思うところ (MA)

「自然に恵まれている・緑豊か」の割合が最も高く 69.8%である。次いで、「景観がよい(46.7%)」、「近くに友人がいる(35.9%)」である。



(その他の主な回答)

【富士山・世界遺産など】

富士山があること、富士山をよく見られること、世界遺産がある、景勝地が近くにある

【気候・自然・水など】

気候がおだやか、台風の影響が少ない、災害が少ない、気候温暖、風がふかない、風が少ないのであたたかい、冬はあたたかい、水が豊富、水が綺麗、水がとても美味しい、夜空の星がきれい、有機野菜が安くて豊富

【文化】

富士宮祭り、浅間大社、市民スポーツ

【生活利便性】

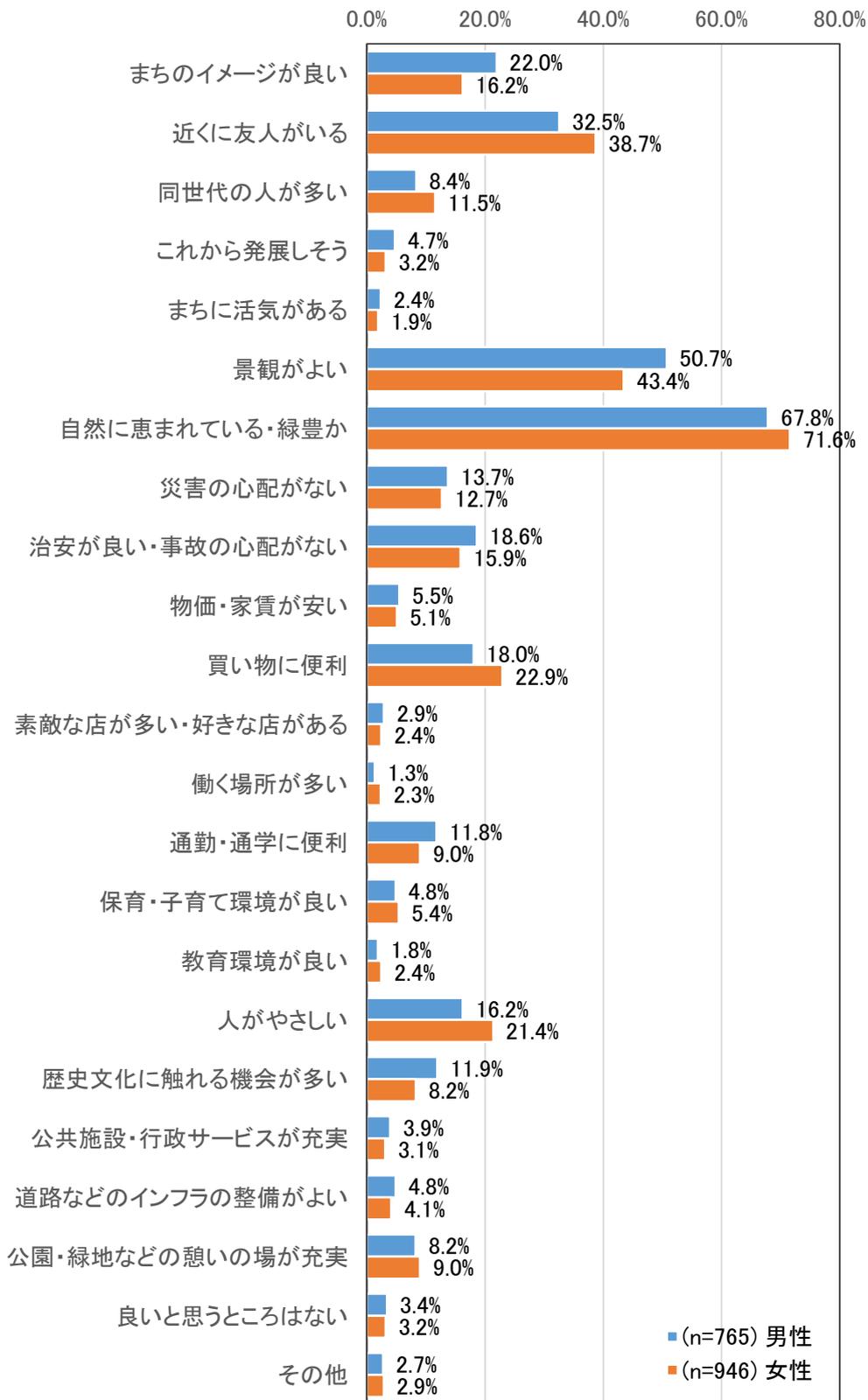
ゴミの収集が親切、居住空間に狭苦しさがないこと、適度に田舎、ほどほどの街とほどほどの自然、イオンがある

【その他】

親族が近くに多い、家庭がある、何も無い所、良いキャンプ場がある、ゴルフ場が多い、ドッグランが充実している

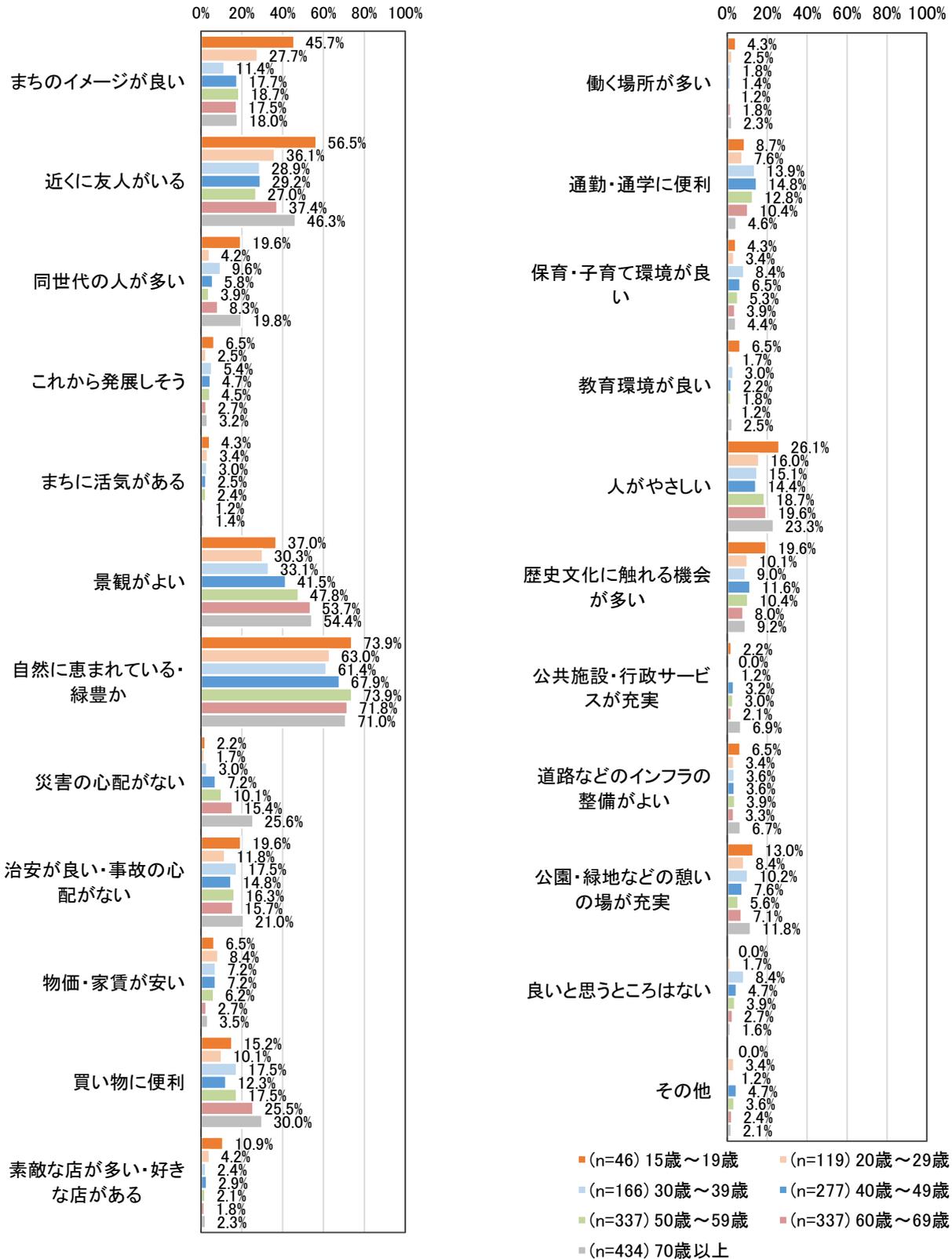
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られないが、「景観がよい」で男性が女性に比べて 7.3 ポイント、「まちのイメージが良い」で男性が女性に比べて 5.8 ポイント上回る。また、「近くに友人がいる」で女性が男性に比べて 6.2 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「自然に恵まれている・緑豊か」と答えた割合が6割を超えている。10代は「まちのイメージが良い」の割合が他の年代よりも高く45.7%、「近くに友人がいる」の割合についても他の年代よりも高く56.5%となった。



問13. 富士宮市で過ごす中で一番の楽しみ（場所やイベントなど）（FA）

【富士山・景勝地】

富士山、富士山の四季、富士山の景観、毎日富士山を見られる、世界遺産センター

【気候・自然・水】

自然、星や富士山がきれい、水がおいしい

【文化】

富士山本宮浅間大社、浅間大社の桜、浅間神社の祭り、富士宮まつり、流鏝馬祭り、御神火祭り、田貫湖、朝霧高原、あさぎりフードパーク、大石寺（桜や花火などを含む）、陣馬の滝、桜や紅葉、潤井川の桜、白糸の滝、神田川、富士桜自然墓地公園の桜、白糸自然公園、稲瀬川の桜、日吉神社、内房の里秋祭り、狩宿の下馬桜、柚野縄文祭り、信長公黄葉祭り、下之坊の藤、曾我八幡宮、興徳寺の曼珠沙華、妙蓮寺の藤

【イベント】

富士宮駅伝、大学女子駅伝、市民対抗駅伝、マラソン、宮ロック、宮踊り、ます釣り大会、朝霧ジャム、大神田楽市、平成棚田祭り、富丘まつり、ミヤロック、マルシェ、お酒を飲めるイベントが多い、内房たけのこまつり、市民スポーツ祭、市民芸術祭、緑化祭花木市、駅前十六市、地域内で開催されるお祭り（上野の里まつりなど）、区の祭り、公民館祭り、商店街でのイベント子供の学校行事（運動会・文化祭など）、孫の運動会、豆まき、ノジマリーグ（卓球リーグ）、ふじのみやプリンまつり、富士宮産業フェア、フリーマーケット、酒造（高砂酒造、富士錦酒造）、酒蔵の蔵開き、いちご狩り

【普段の生活】

閑静なところ、静かでのんびり、都会過ぎず田舎過ぎず丁度よい、イオン、散歩、自宅の庭、家庭菜園、家の周りを歩く事、友人との遊び、友人とのランチ、友人や家族との食事、友人とのゴルフ、ドッグラン、ボランティア、地域寄り合い処、サークル活動、趣味、ボランティア活動、地区の活動、高校生活、比較的東京などへのアクセスが良い、交通の便が良くどこにでも行ける、公園、岩本山公園、白尾山公園、外神運動公園、文化会館、図書館（富士宮市立図書館）、スポーツ活動、市営体育館・福祉会館

【食に関わるもの】

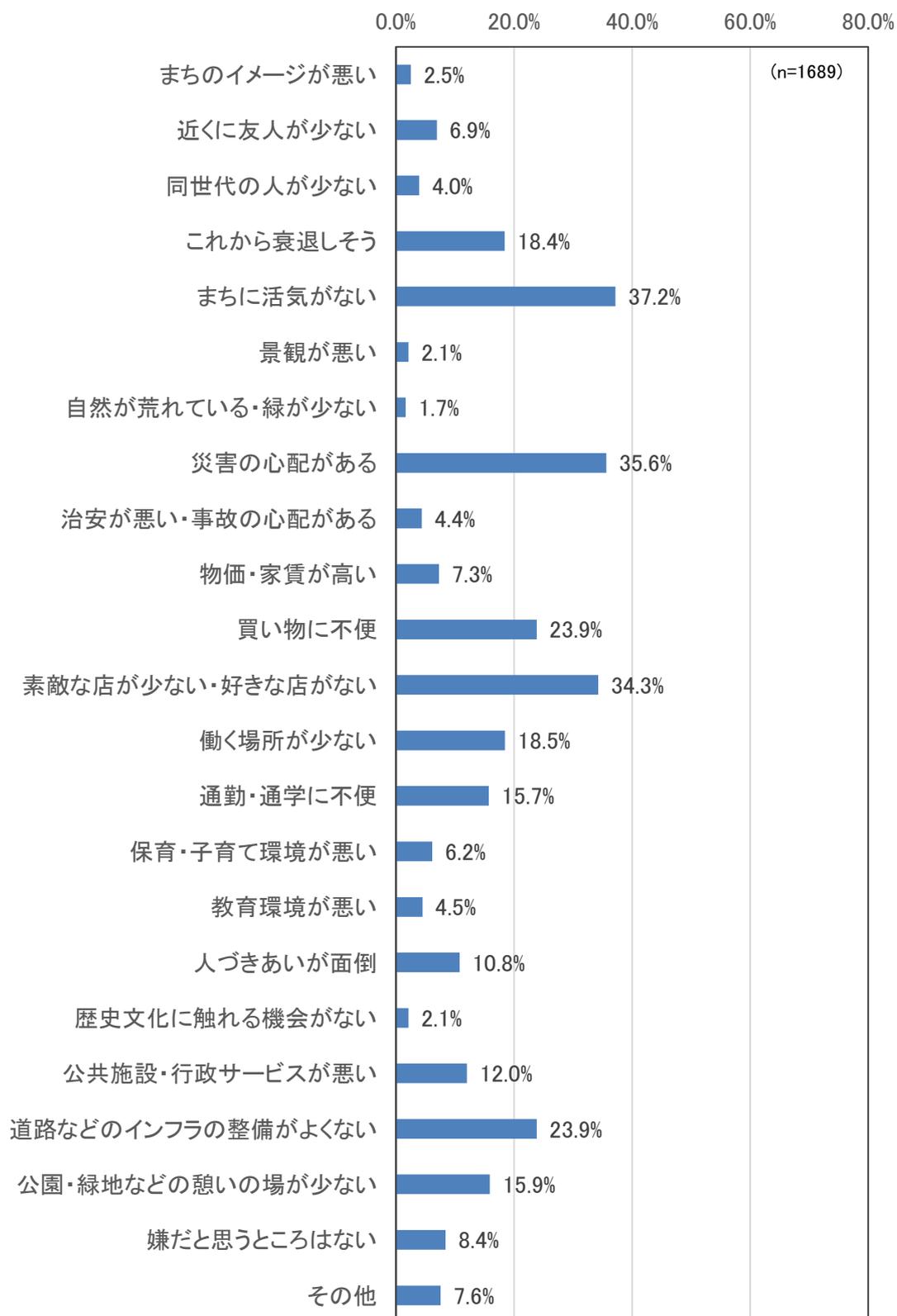
焼きそば、飲食店、農協での買い物、農産物直売所、七富チーズ、美味しいケーキ屋、新鮮な野菜や果物

【その他】

ゴルフ場、グラウンドゴルフ、キャンプ場、道の駅、風呂や湯所が多い、駅前、旧東海道を歩くこと

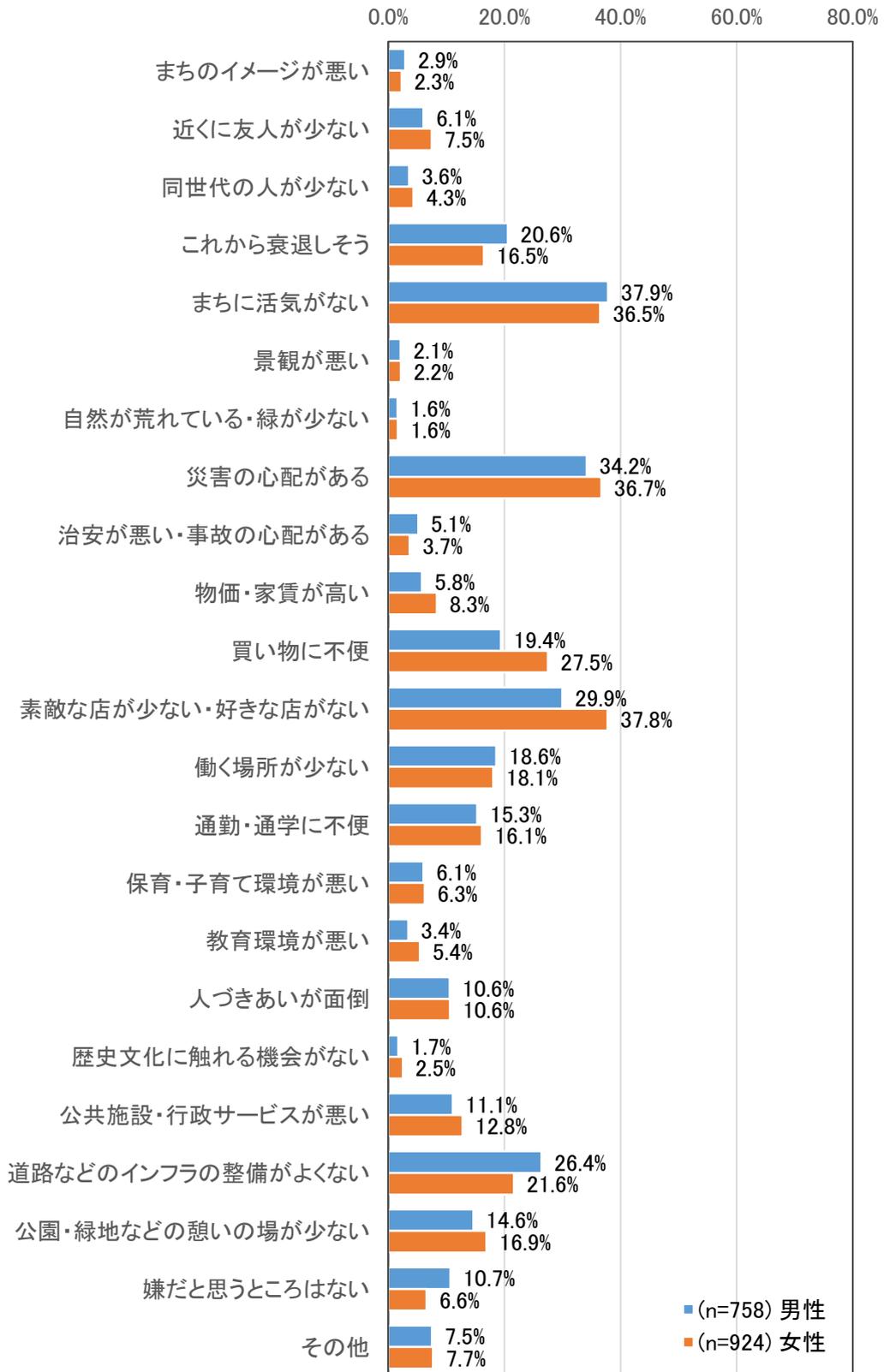
問14. 富士宮市で生活していて嫌だと思ふところ (MA)

「まちに活気がない」の割合が最も高く37.2%である。次いで、「災害の心配がある(35.6%)」、「素敵な店が少ない・好きな店がない(34.3%)」である。



■性別クロス集計結果(問1)

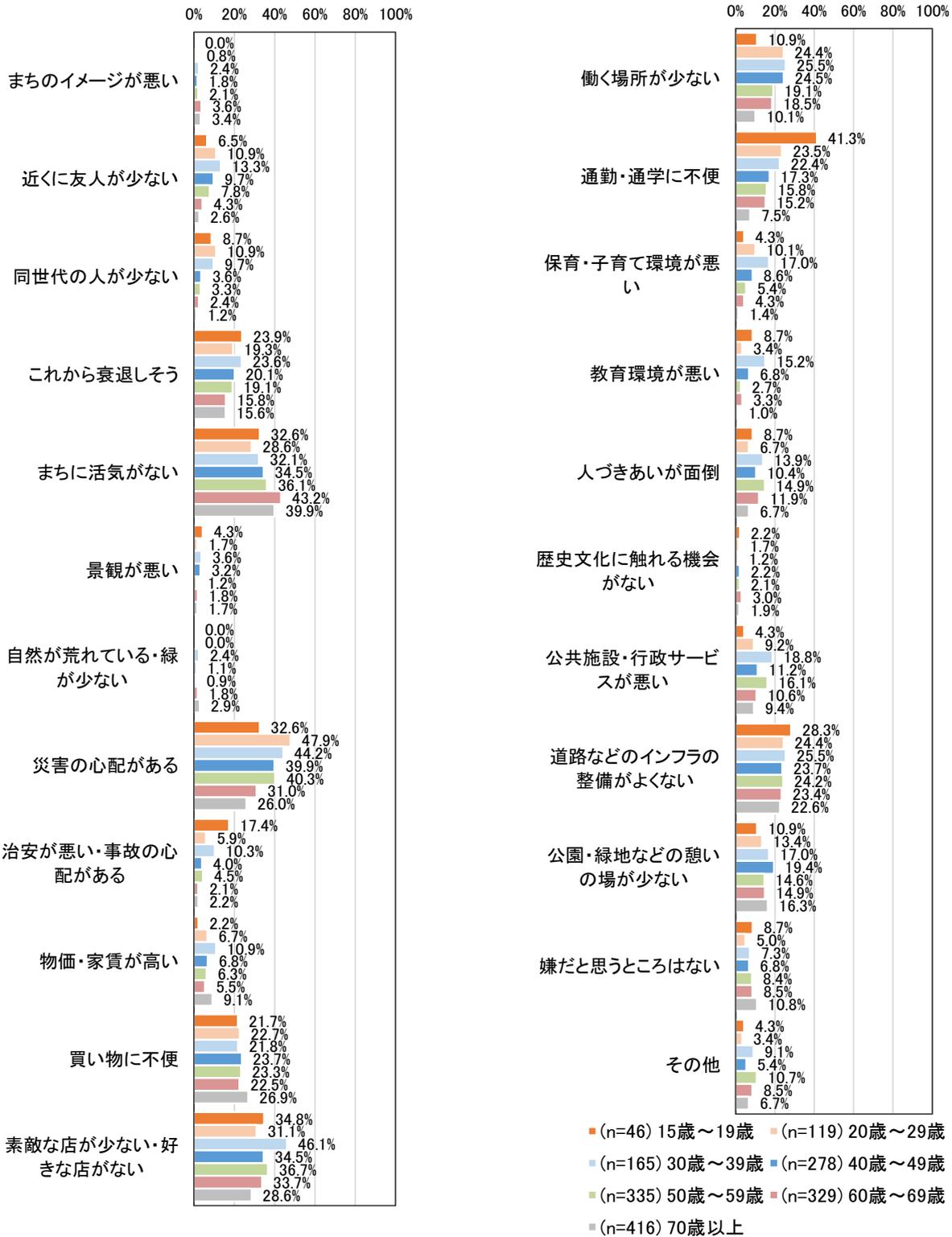
男女に大きな差は見られないが、「買い物に不便」で女性が男性に比べて 8.1 ポイント、「素敵な店が少ない・好きな店がない」で女性が男性に比べて 7.9 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

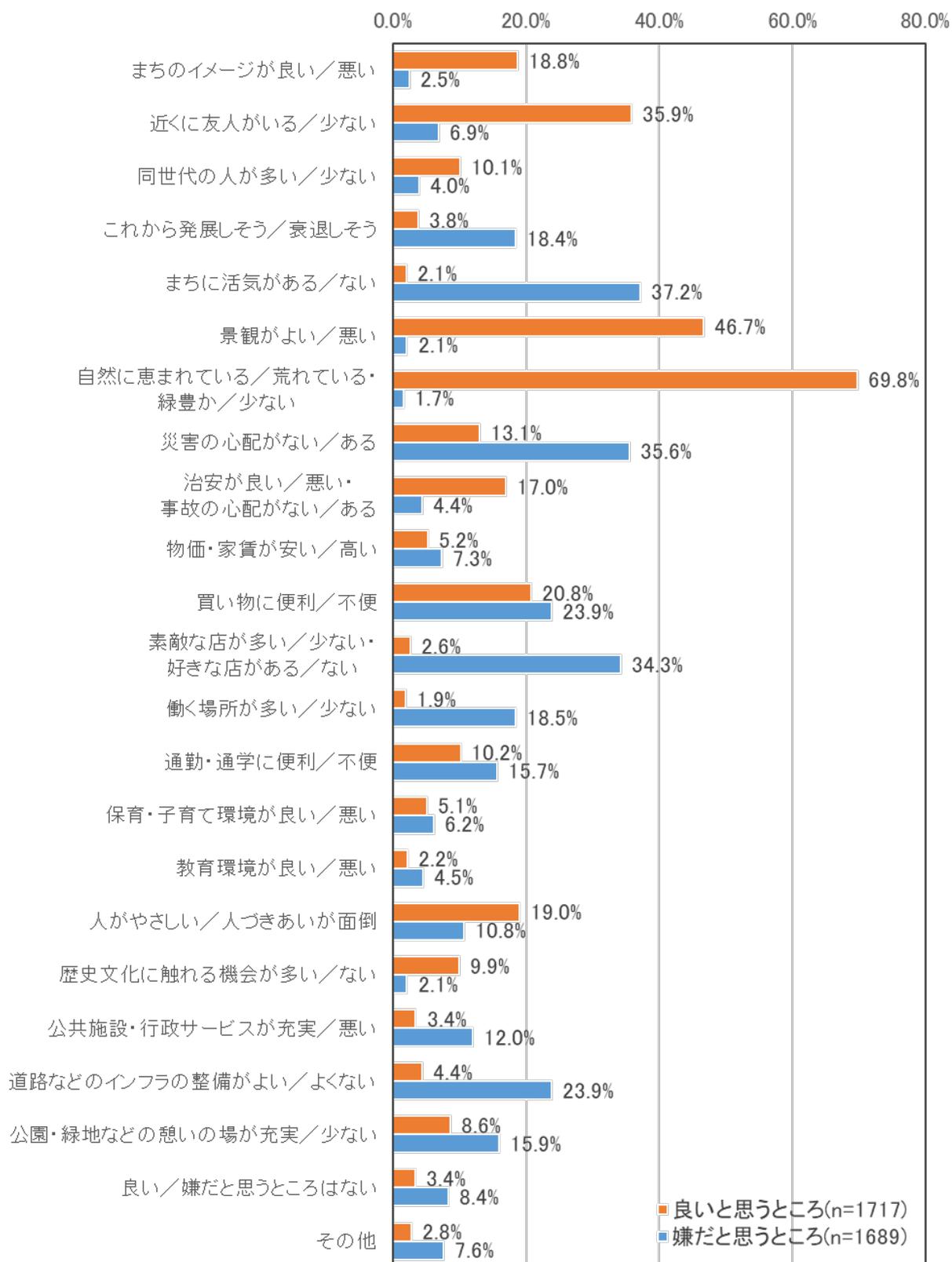
いずれの年代においても「まちに活気がない」、「災害の心配がある」、「素敵な店が少ない・好きな店がない」と答えた割合が 25%を超えている。「災害の心配がある」と答えた割合はどの年代においても高いが、年代が上がるにつれてその割合は減少する結果となった。

10代は「通勤・通学に不便」の割合が他の年代よりも高く 41.3%となった。30代は「素敵な店が少ない・好きな店がない」、「保育・子育て環境が悪い」、「教育環境が悪い」が他の年代よりも高くなった。



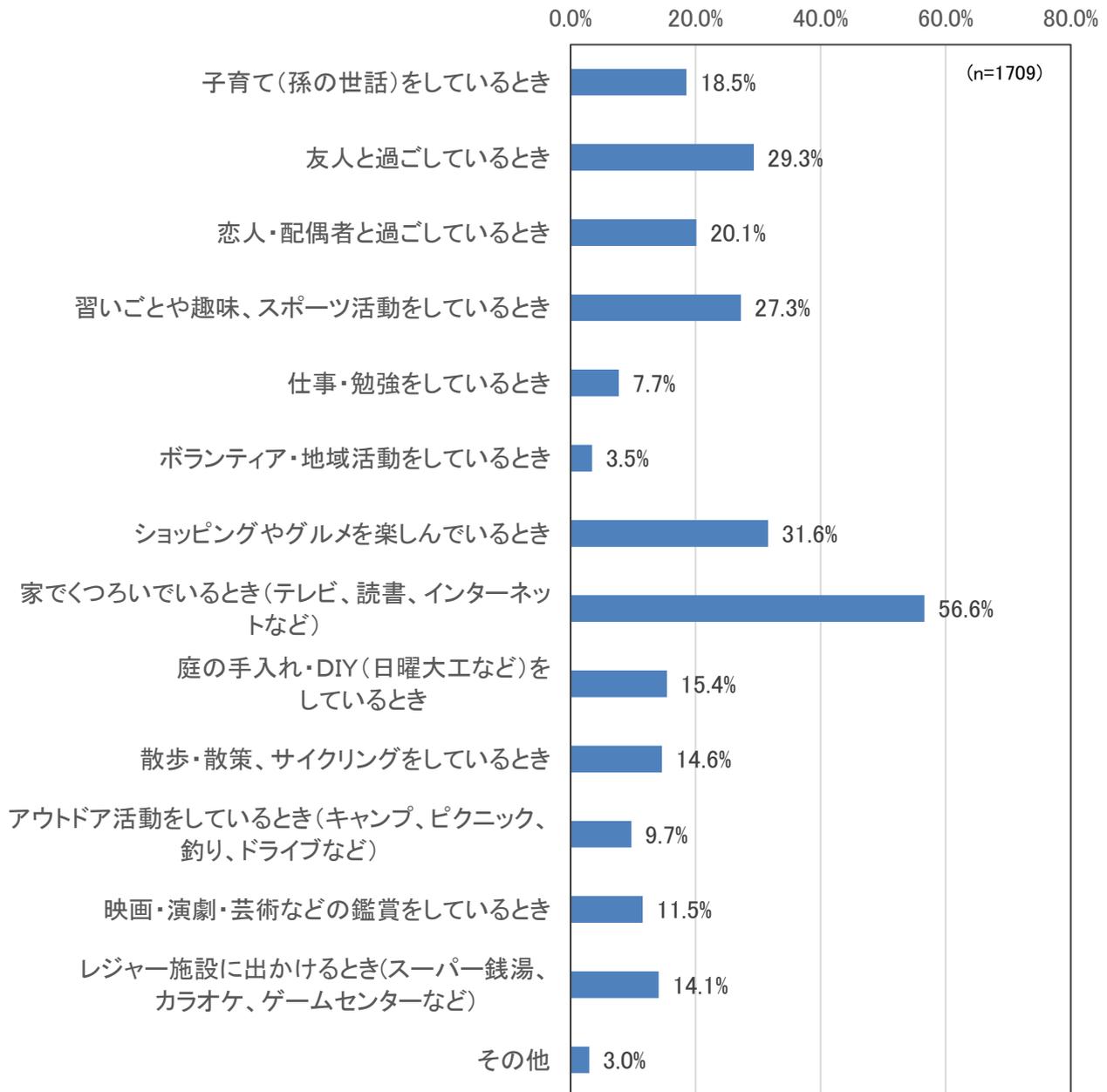
(参考) 問 12 (良いと思うところ)、問 14 (嫌だと思うところ) の比較

良いと思うところの割合の高い項目は嫌だと思うところの割合が低くなる傾向にあるが、「買い物に便利/不便」については、市民の評価が分かれている。



問16. 日頃楽しいと感じること (MA※3つ)

「家でくつろいでいるとき(テレビ、読書、インターネットなど)」の割合が最も高く 56.6%である。次いで、「ショッピングやグルメを楽しんでいるとき(31.6%)」、「友人と過ごしているとき(29.3%)」、「習いごとや趣味、スポーツ活動をしているとき(27.3%)」である。

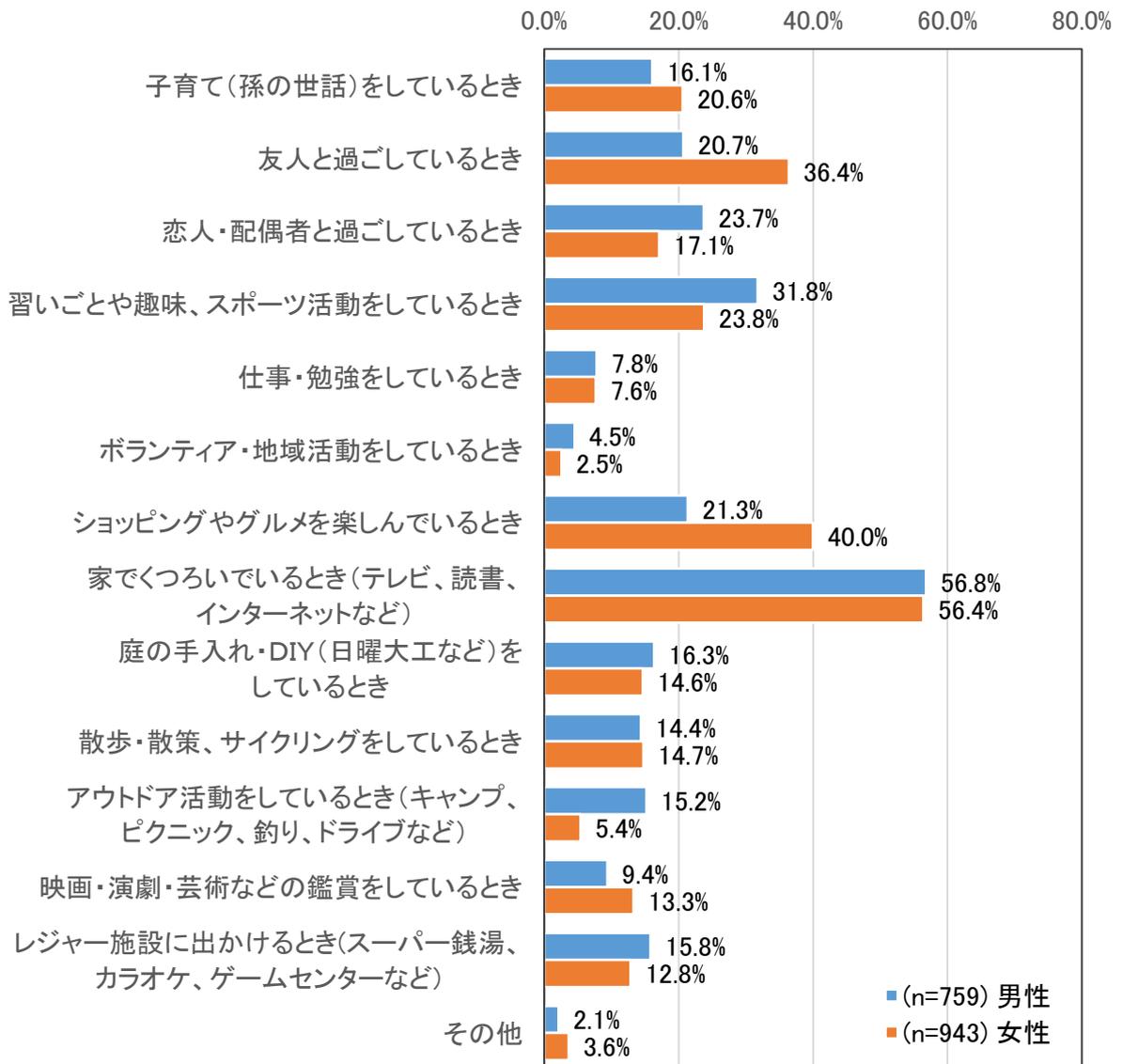


(その他の回答)

旅行、家族と旅行しているとき、ドライブ、温泉に行くとき、ライブに行く時、外食、息子と話をする時、子供のサッカー応援、子供と共に行動している時、他県で生活している子供の所へ行くとき、犬と過ごす時間、ペットと遊んでいるとき、料理、富士山の撮影、畑仕事(野菜作り)、畑、バイクでツーリング、借用している田畑での農業、サウナ、山菜取り、魚釣り、LINE しているとき、買い物、毎日富士山と神田川を眺めるとき、ご近所のお年寄からの相談事の会話、家事(料理)をしている時

■性別クロス集計結果(問1)

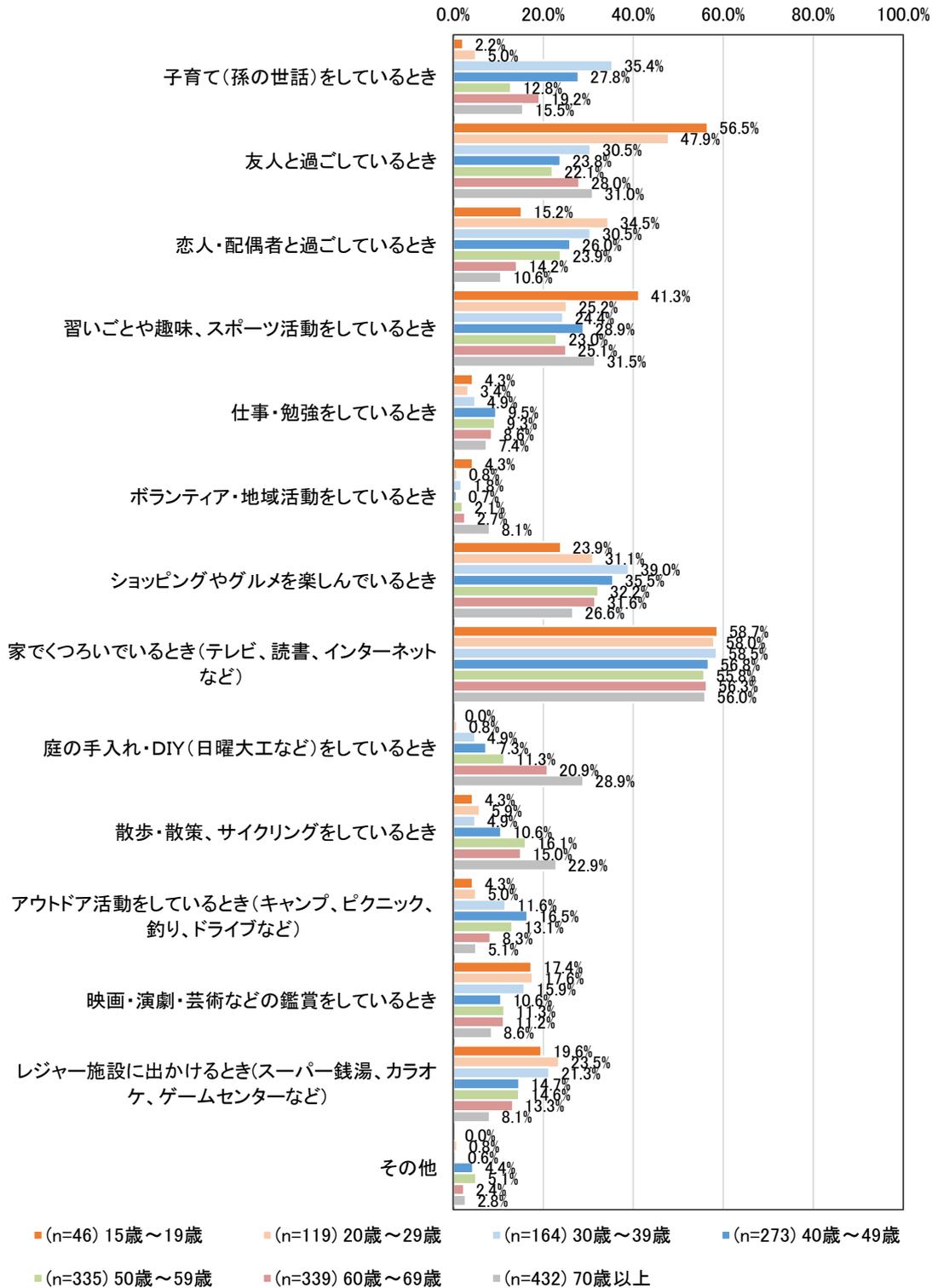
「ショッピングやグルメを楽しんでいるとき」で女性が男性に比べて 18.7 ポイント、「友人と過ごしているとき」で女性が男性に比べて 15.7 ポイント上回る。また、「恋人・配偶者と過ごしているとき」で男性が女性に比べて 15.7 ポイント、「アウトドア活動をしているとき(キャンプ、ピクニック、釣り、ドライブなど)」で男性が女性に比べて 9.8 ポイント、「習いごとや趣味、スポーツ活動をしているとき」で男性が女性に比べて 8.0 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

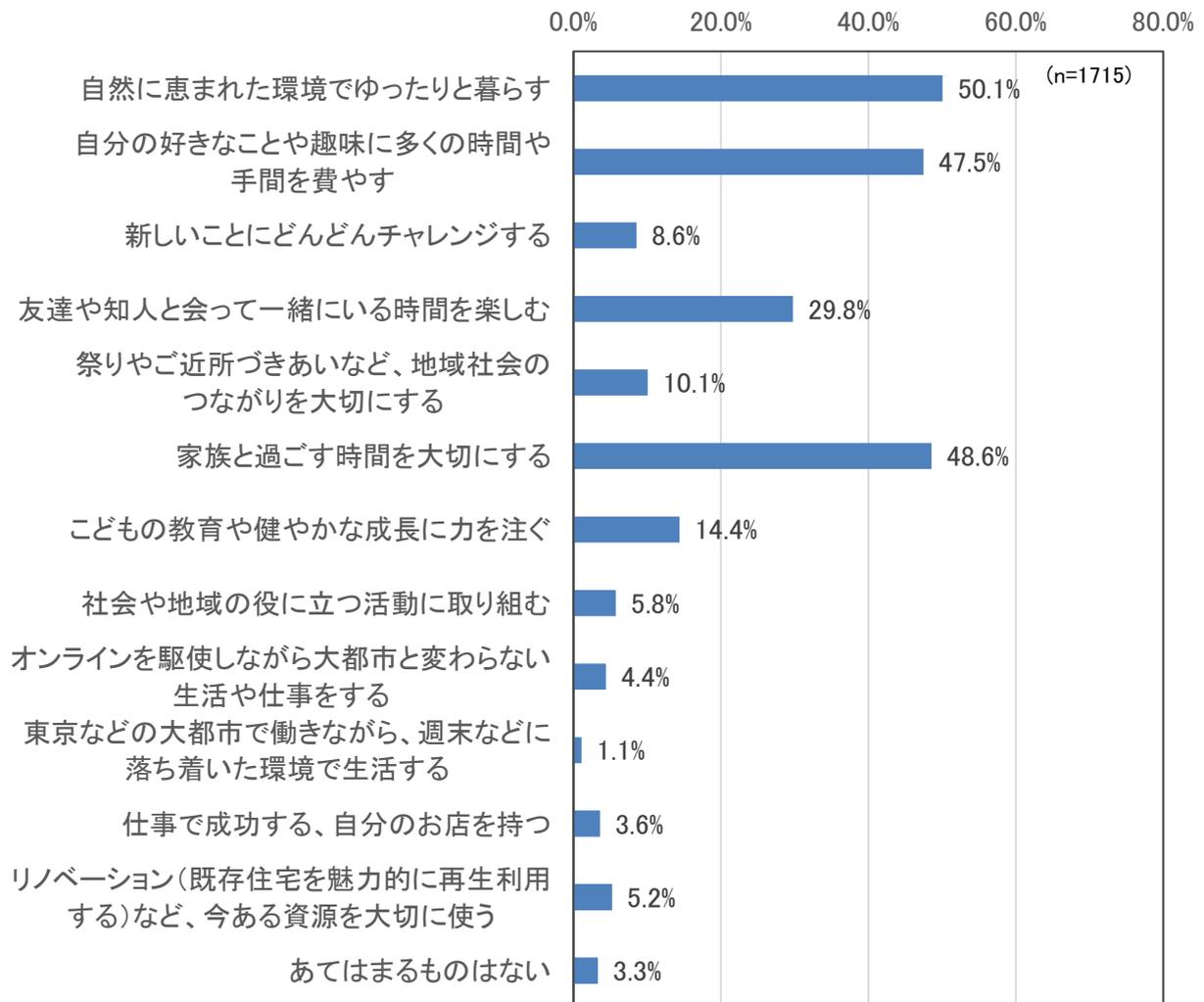
いずれの年代においても「家でくつろいでいるとき(テレビ、読書、インターネットなど)」と答えた割合が55%を超えている。10代は「習いごとや趣味、スポーツ活動をしているとき」の割合が他の年代よりも高く41.3%となった。

上記以外の回答傾向として、10代・20代は「友人と過ごしているとき」、30代・40代では「子育て(孫の世話をしているとき)」、50代以降では「散歩・散策、サイクリングをしているとき」・「庭の手入れ・DIY(日曜大工など)をしているとき」との回答が目立つ。



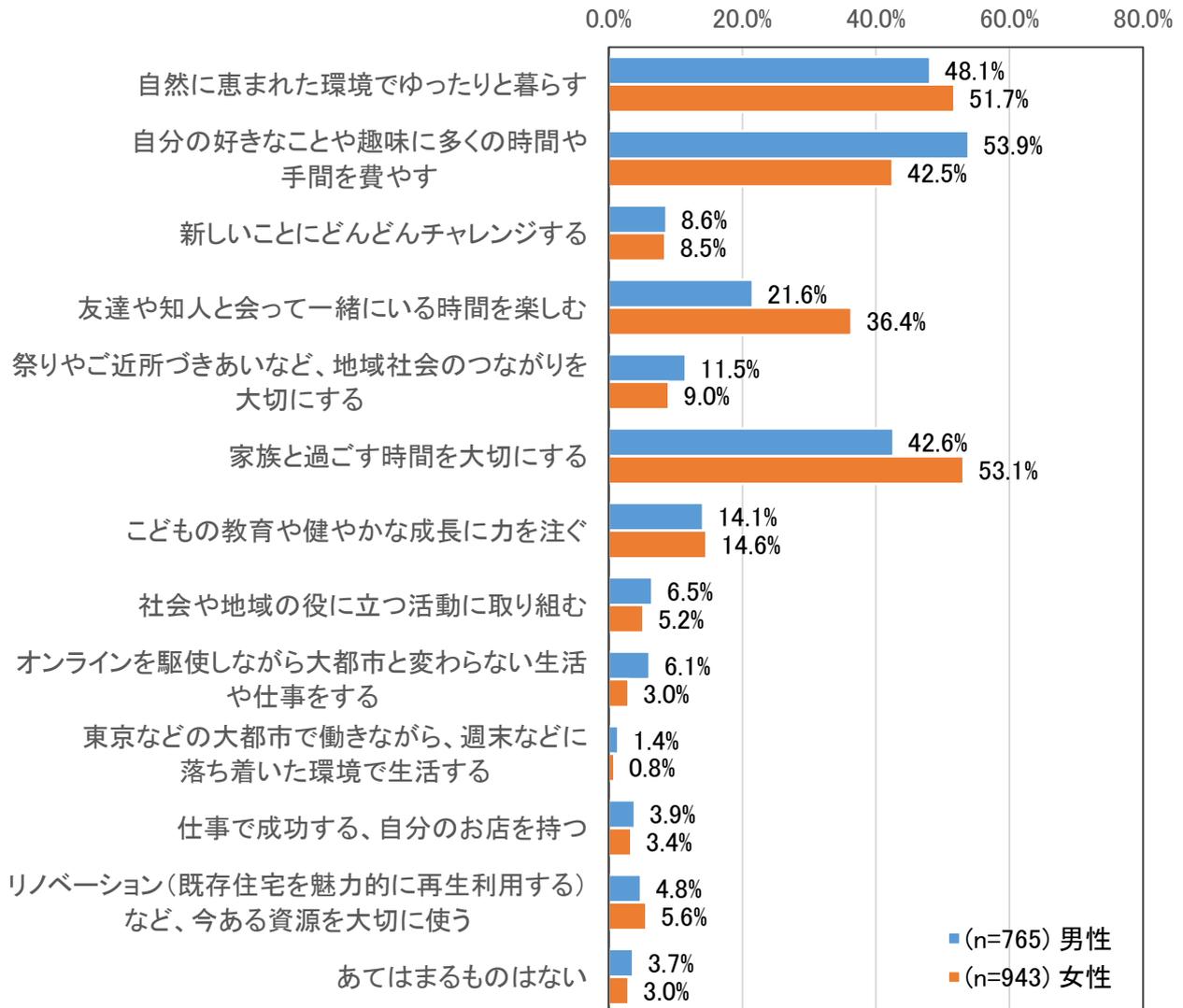
問17. 富士宮市でどのような暮らし方を希望するか（MA※3つ）

「自然に恵まれた環境でゆったりと暮らす」の割合が最も高く50.1%である。次いで、「家族と過ごす時間を大切にする(48.6%)」、「自分の好きなことや趣味に多くの時間や手間を費やす(47.5%)」である。



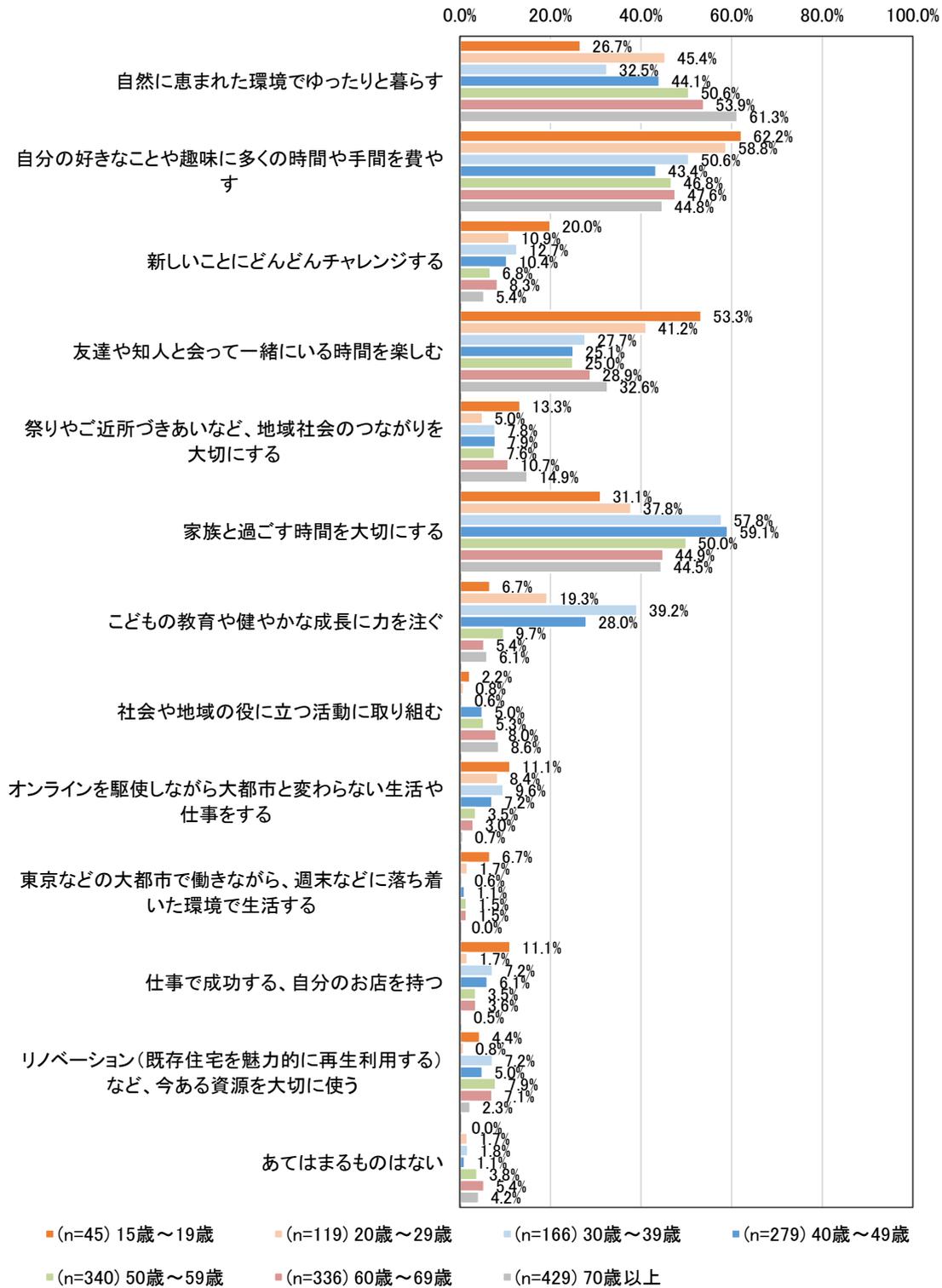
■性別クロス集計結果(問1)

「友達や知人と会って一緒にいる時間を楽しむ」で女性が男性に比べて 14.8 ポイント、「家族と過ごす時間を大切にする」で女性が男性に比べて 10.5 ポイント上回る。また、「自分の好きなことや趣味に多くの時間や手間を費やす」で男性が女性に比べて 11.4 ポイント上回る。



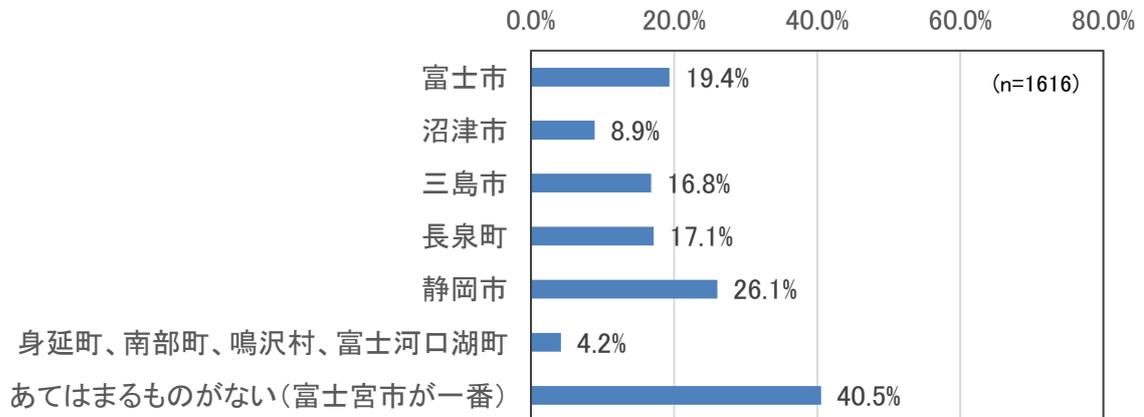
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「自分の好きなことや趣味に多くの時間や手間を費やす」と答えた割合が4割を超えており、特に70歳以上で回答割合が高い。10代は「友人や知人と会って一緒にいる時間を楽しむ」割合が他の年代よりも高く53.3%となった。また、30代は「こどもの教育や健やかな成長に力を注ぐ」割合が他の年代よりも高く39.2%となった。



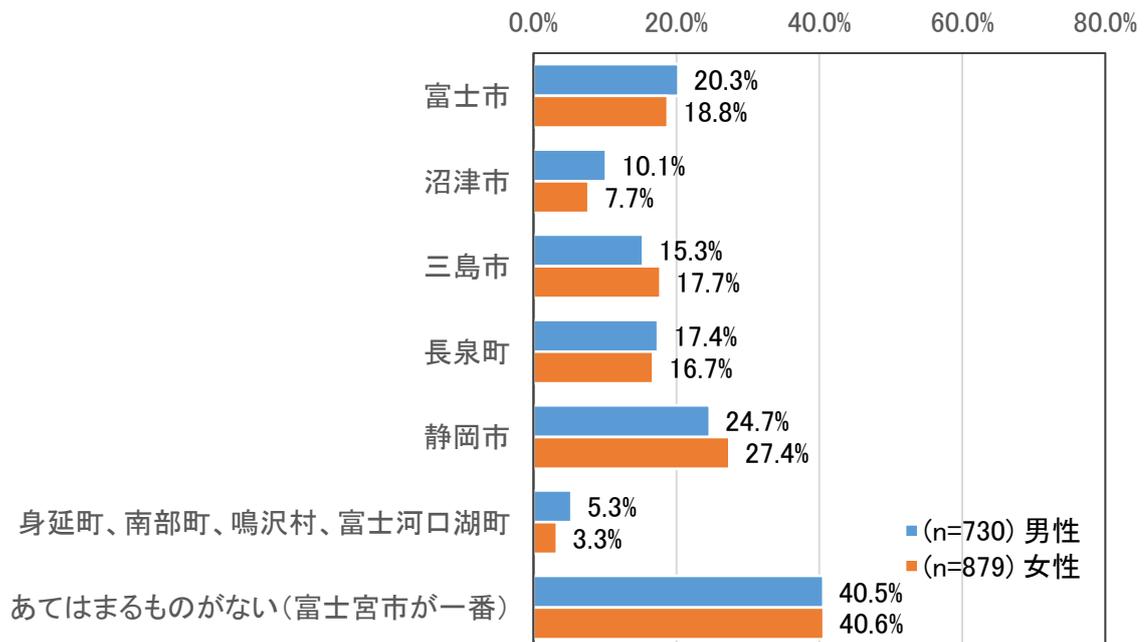
問18. 富士宮市よりも暮らしやすそうに住んでみたいと思う近隣のまち（MA）

「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」の割合が最も高く 40.5%である。次いで、「静岡市(26.1%)」、「富士市(19.4%)」である。



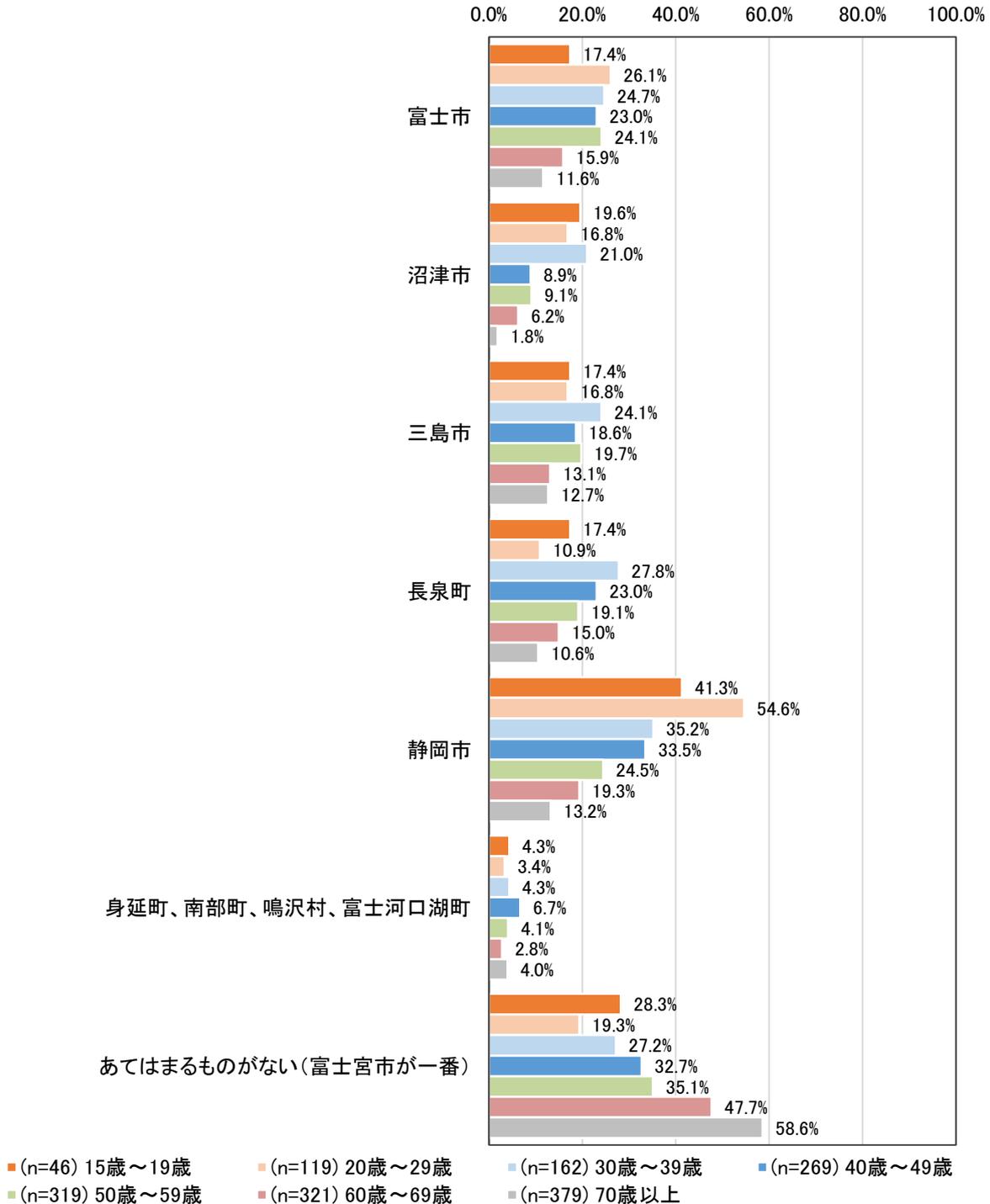
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない。男女ともにおよそ 4 割が「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」と回答している。



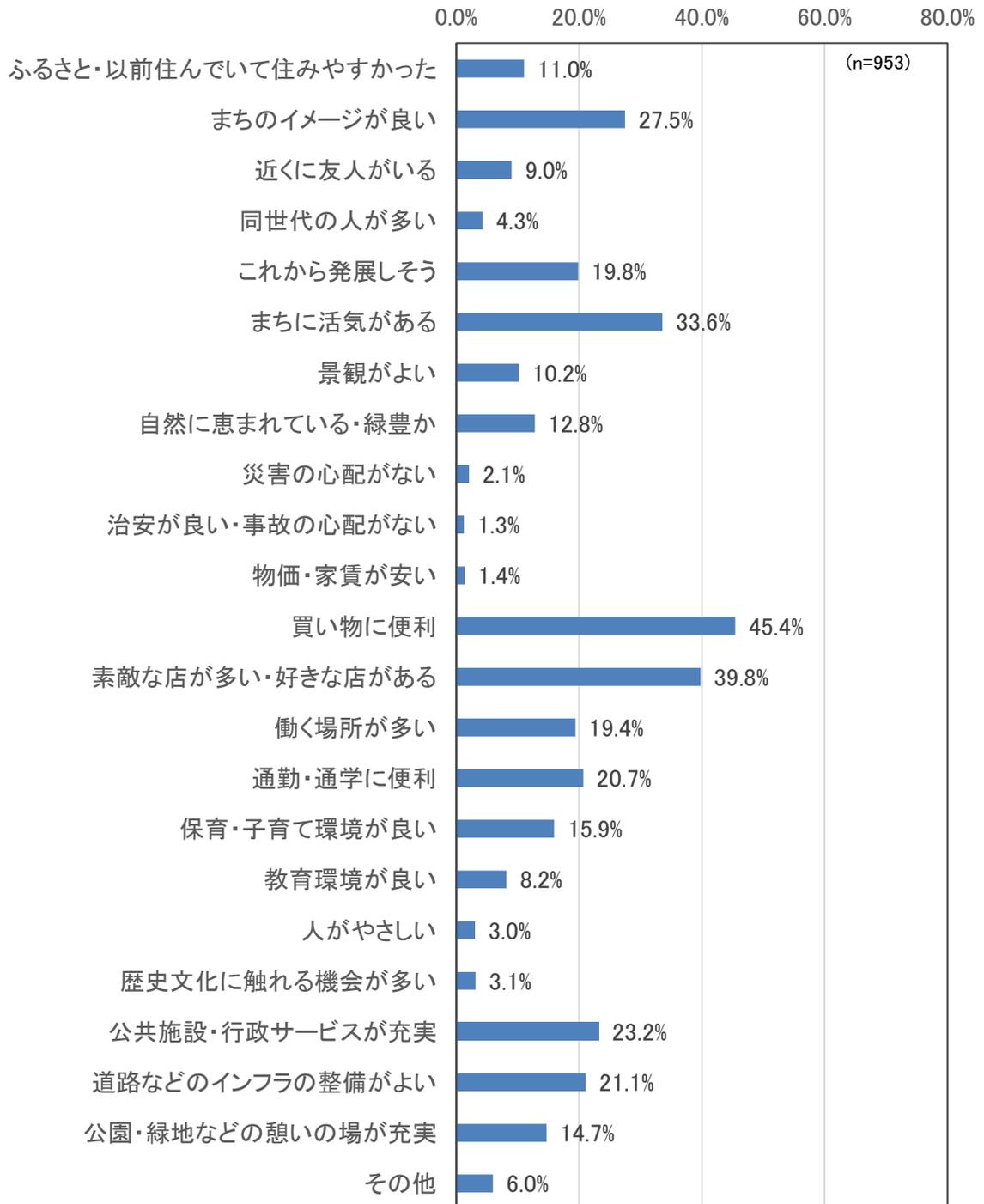
■年齢別クロス集計結果(問 2)

富士宮市以外の市町の中ではいずれの年代でも「静岡市」と回答する割合が最も高い。他市町を回答する割合は年代が下がるほど増え、「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」と回答する割合は年代が上がるほど増える傾向にある。「静岡市」と回答する割合と「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」と回答する割合を比較すると、40代以下は「静岡市」の回答割合が上回り、50代以上で「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」が上回る。また、20代では「富士市」と回答した割合が「あてはまるものがない(富士宮市が一番)」を6.8ポイント上回っている。



問19. 富士宮市よりも暮らしやすそうで住んでみたいと思った理由（MA）

「買い物に便利」の割合が最も高く 45.4%である。次いで、「素敵な店が多い・好きな店がある(39.8%)」、「まちに活気がある(33.6%)」である。

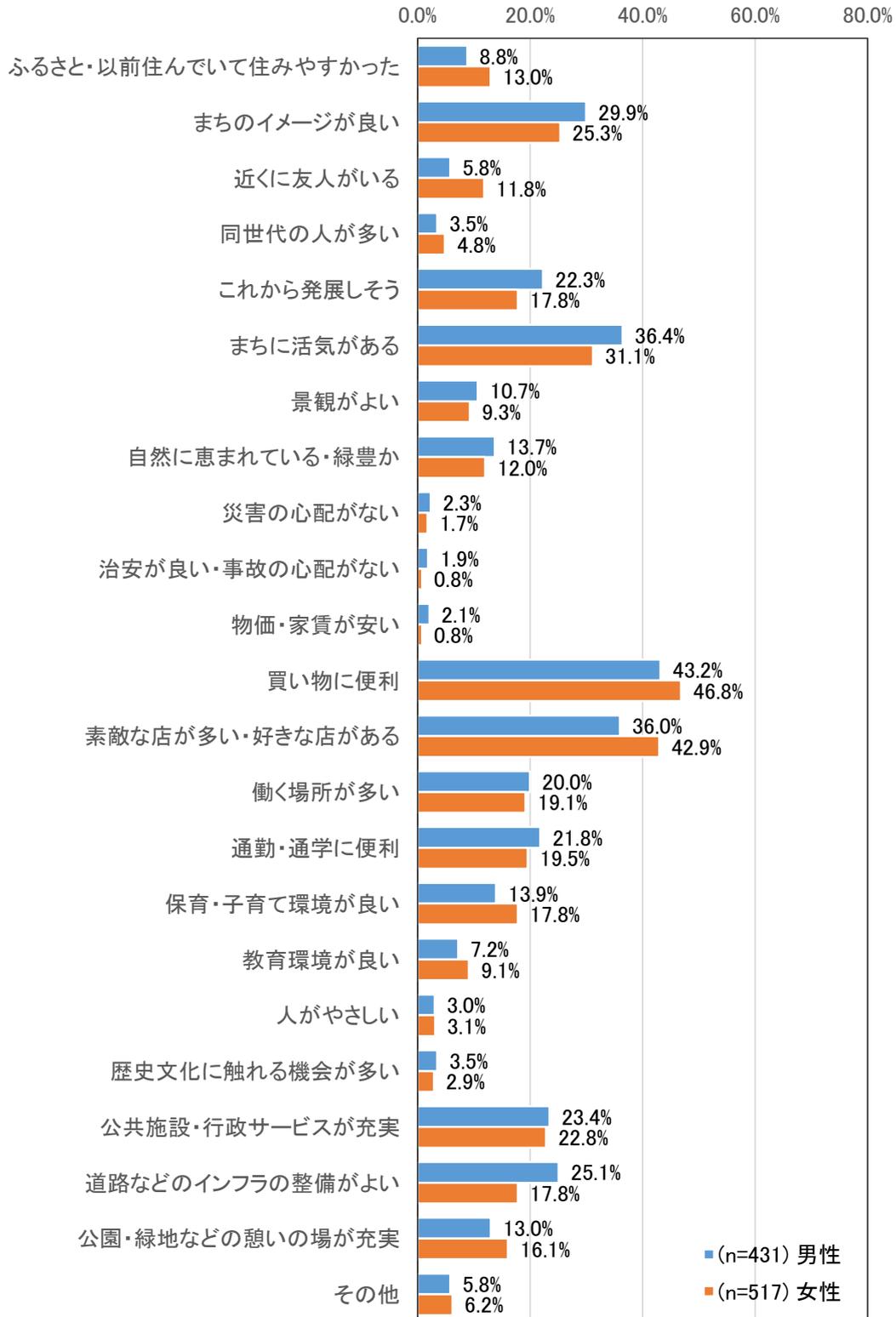


(その他の回答)

税金が富士宮より安い、在来線と新幹線の駅が同じで旅行時に移動がしやすい、車がなくても、電車やバスが充実している、駅周辺にお店が充実している

■性別クロス集計結果(問1)

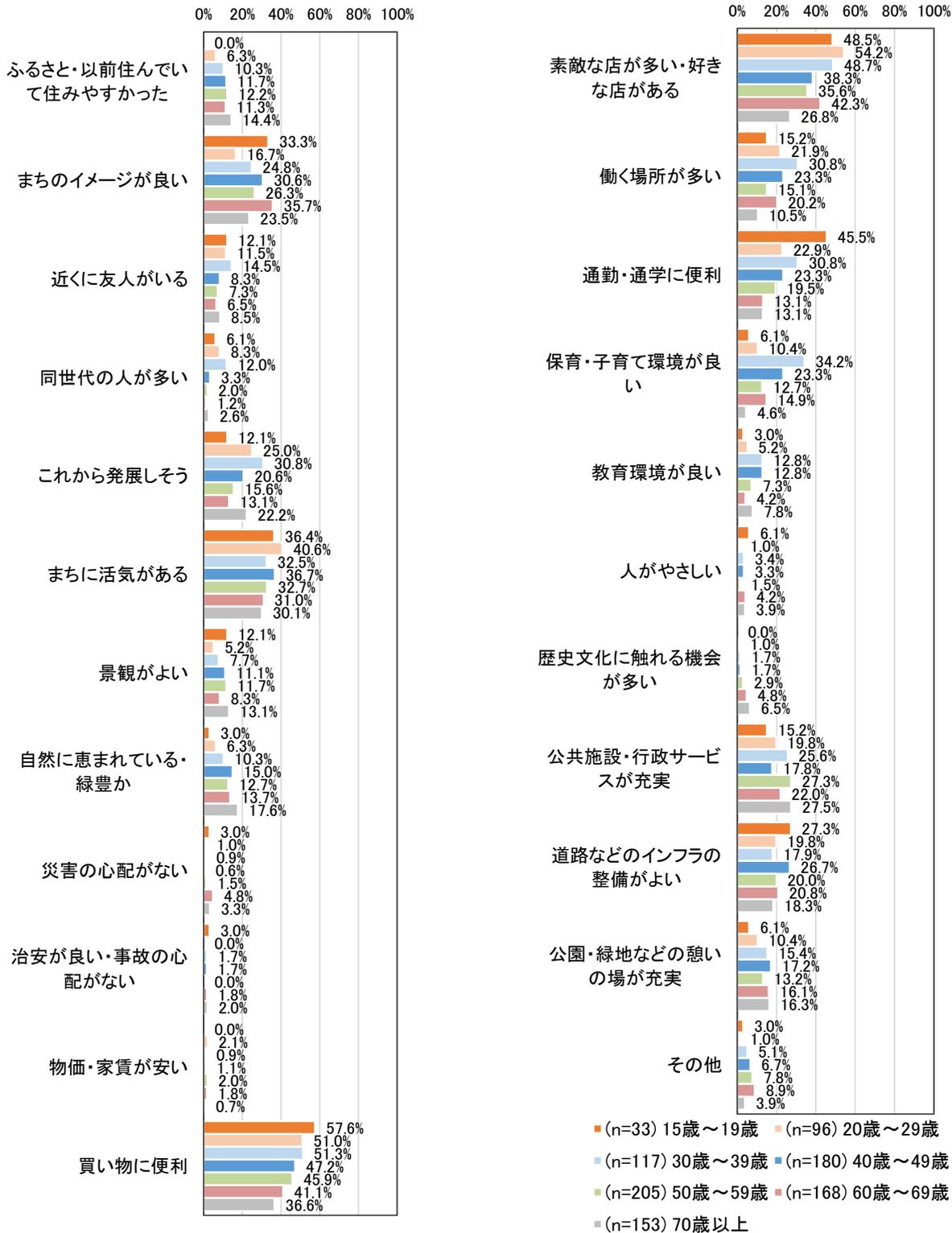
男女ともにおよそ 4 割が「買い物に便利」と回答している。「道路などのインフラの整備がよい」で男性が女性に比べて 7.3 ポイント上回る。また、「素敵な店が多い・好きな店がある」で女性が男性に比べて 6.9 ポイント、「近くに友人がいる」で女性が男性に比べて 6.0 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「まちに活気がある」・「買い物に便利」・「素敵な店が多い・好きな店がある」と答えた割合が25%を超えている。10代は「通勤・通学に便利」の割合が他の年代よりも高く45.4%となった。

10代では「通勤・通学に便利」、10代・60代では「まちのイメージが良い」、20代では「素敵な店が多い・好きな店がある」、30代では「これから発展しそう」・「働く場所が多い」・「保育・子育て環境が良い」、30代・40代では「教育環境が良い」と回答した割合が他の年代に比べて高い。



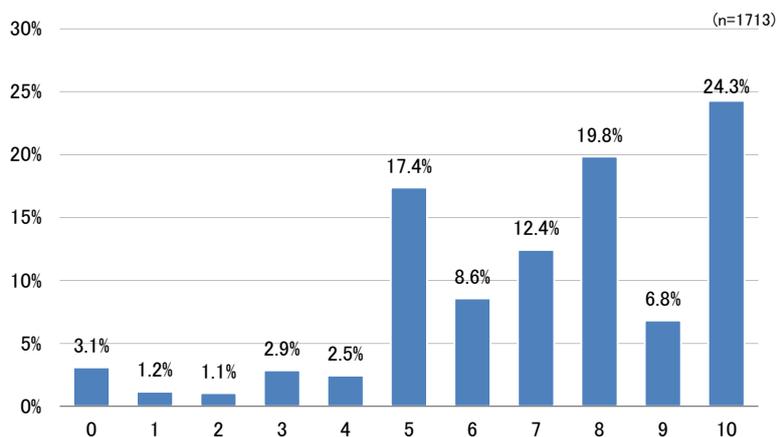
5 郷土への愛着について

問20. 富士宮市に愛着や誇りを感じるか (SA)

※「感じる」を10点、「感じない」を0点としたときの点数

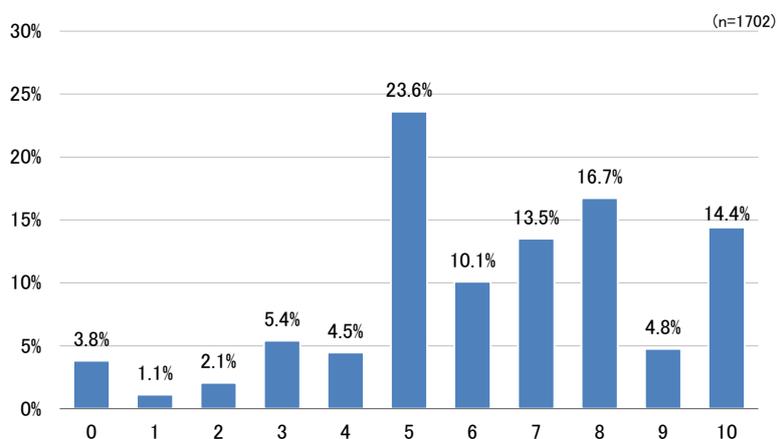
A 愛着

「10点」の割合が最も高く24.3%となっている。次いで、「8点(19.8%)」、「5点(17.4%)」となっている。



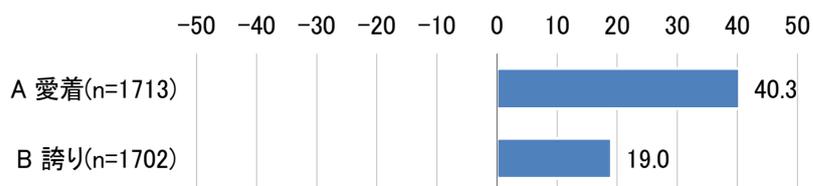
B 誇り

「5点」の割合が最も高く23.6%となっている。次いで、「8点(16.7%)」、「10点(14.4%)」となっている。



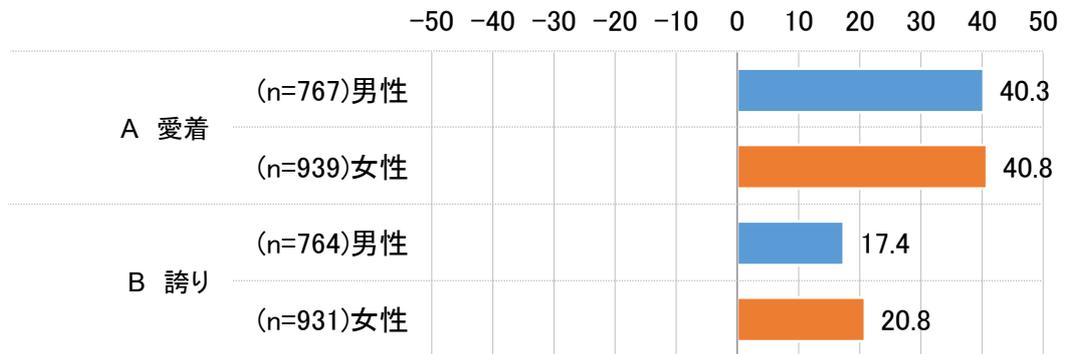
【NPS(ネットプロモータースコア)による得点化】

ABの項目について、NPS(ネットプロモータースコア)で得点化したところ、「A 愛着」は40.3点、「B 誇り」は19.0点となった。



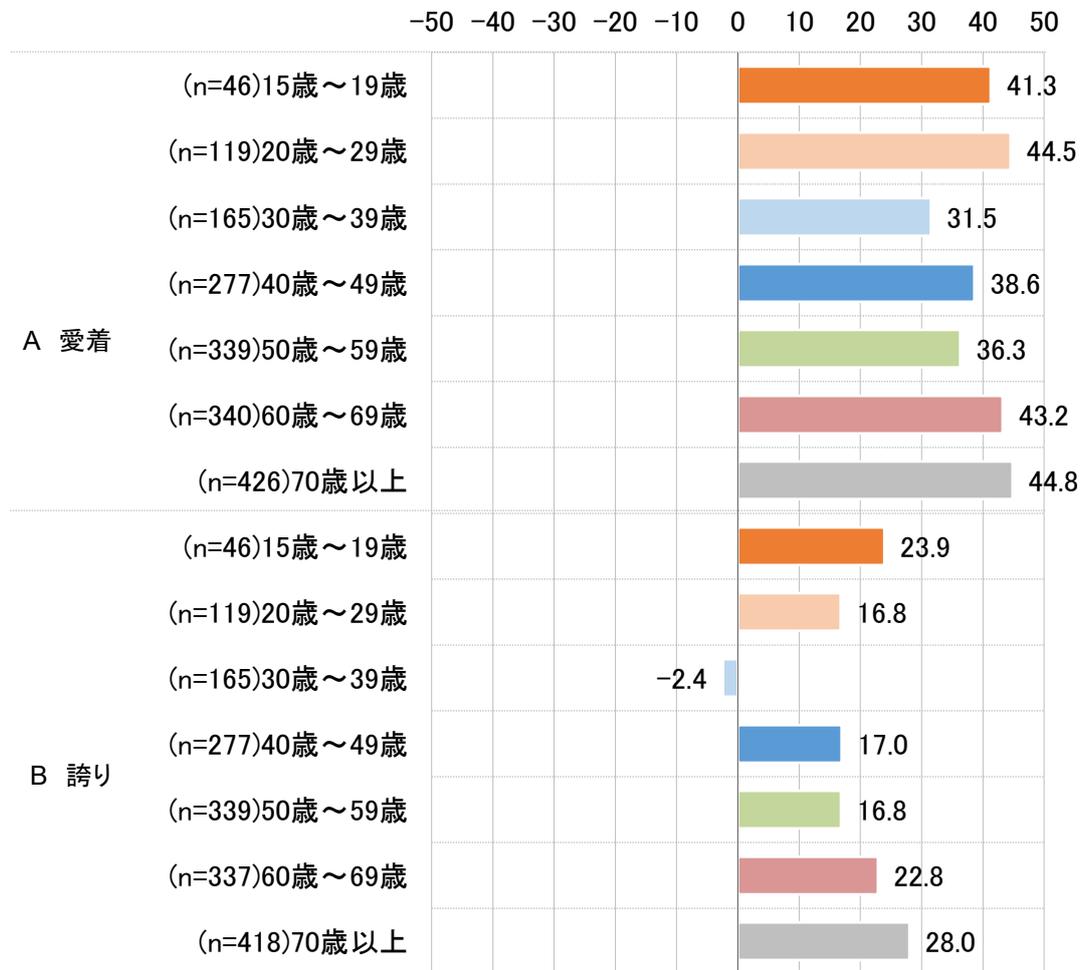
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問2)

「愛着」はすべての年代においてもプラスとなった。一方、「誇り」については30代のみマイナスの値となった。



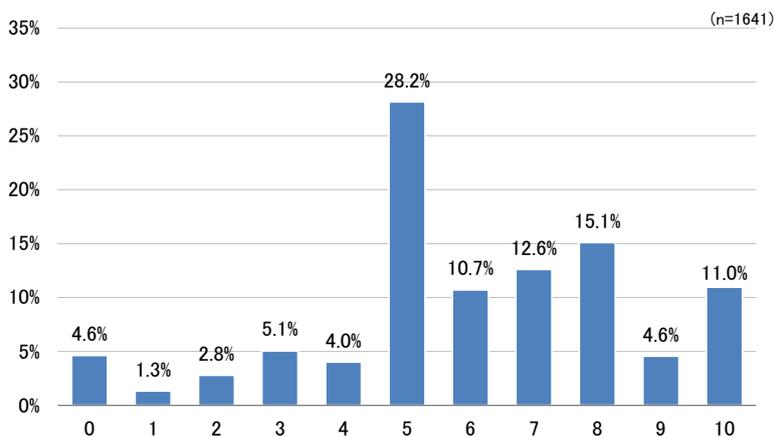
※NPS: 10～8点を同意、7～5点を中立、4～0点を非同意とし、同意の割合から非同意の割合の差を算出して指数化したもの。得点がプラスであれば肯定的に評価していることになる。なお、本来NPSでは10～9点を同意、8～7点を中立、6～0点を非同意とするが、ほとんどの都市において得点がマイナスになることから、本調査ではスコア算出基準を変えている。

問21. 市外に住んでいる友人・知人に富士宮市を勧められるか (SA)

※「勧められる」を10点、「勧められない」を0点としたときの点数

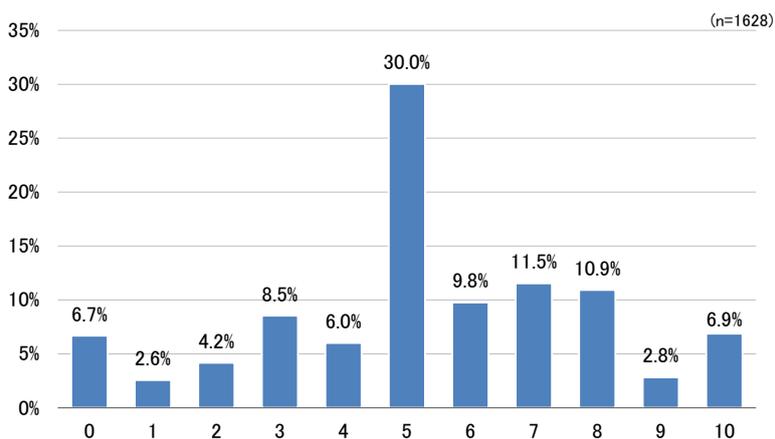
A こどもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと

「5点」の割合が最も高く28.2%となっている。次いで、「8点(15.1%)」、「7点(12.6%)」となっている。



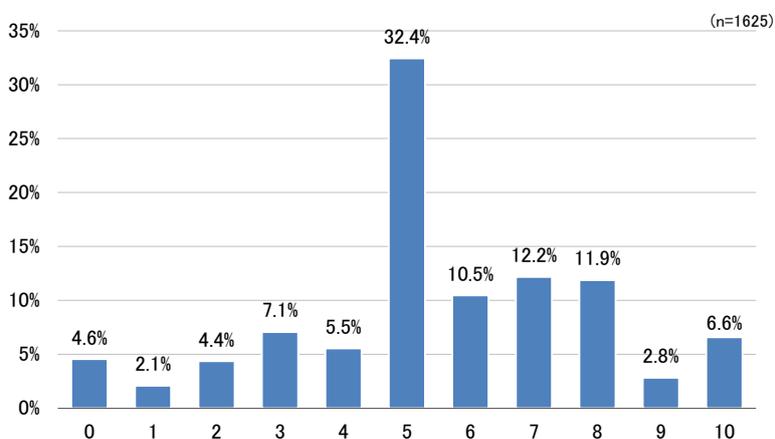
B 市内でこどもを出産・子育てすること

「5点」の割合が最も高く30.0%となっている。次いで、「7点(11.5%)」、「8点(10.8%)」となっている。



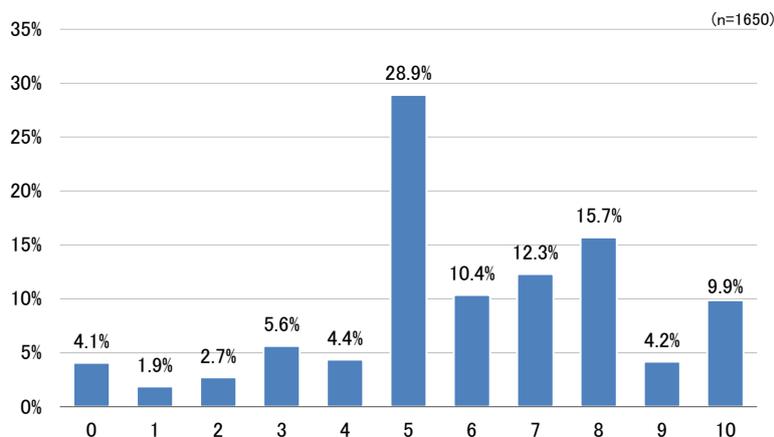
C 就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと

「5点」の割合が最も高く32.4%となっている。次いで、「7点(12.2%)」、「8点(11.9%)」となっている。



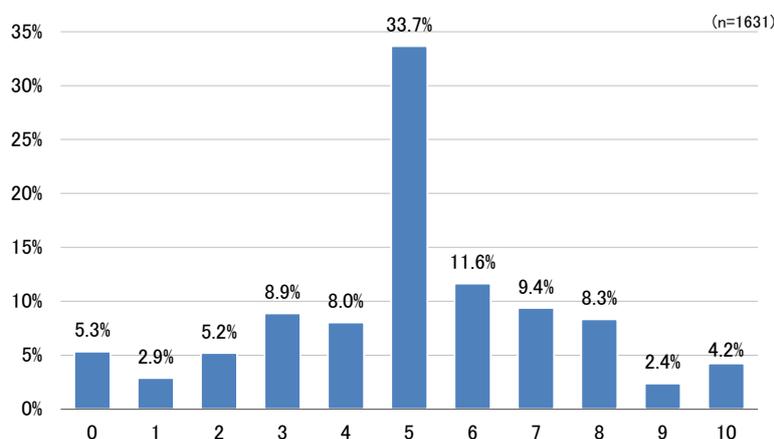
D 持ち家を購入して住むこと（永住すること）

「5点」の割合が最も高く28.9%となっている。次いで、「8点(15.7%)」、「7点(12.3%)」となっている。



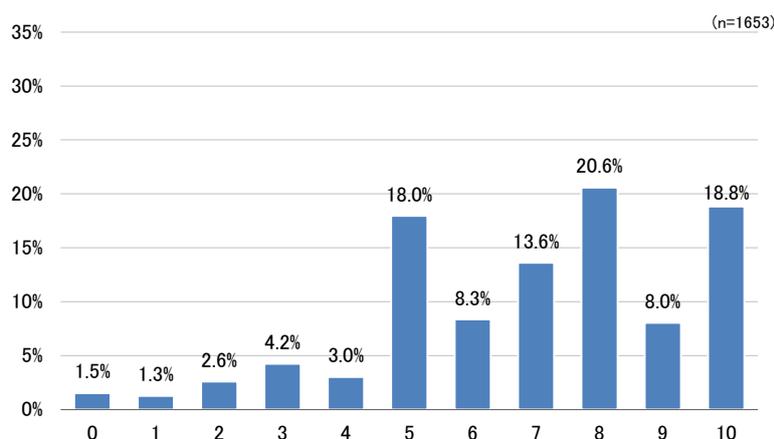
E 働くこと

「5点」の割合が最も高く33.7%となっている。次いで、「6点(11.6%)」、「7点(9.4%)」となっている。



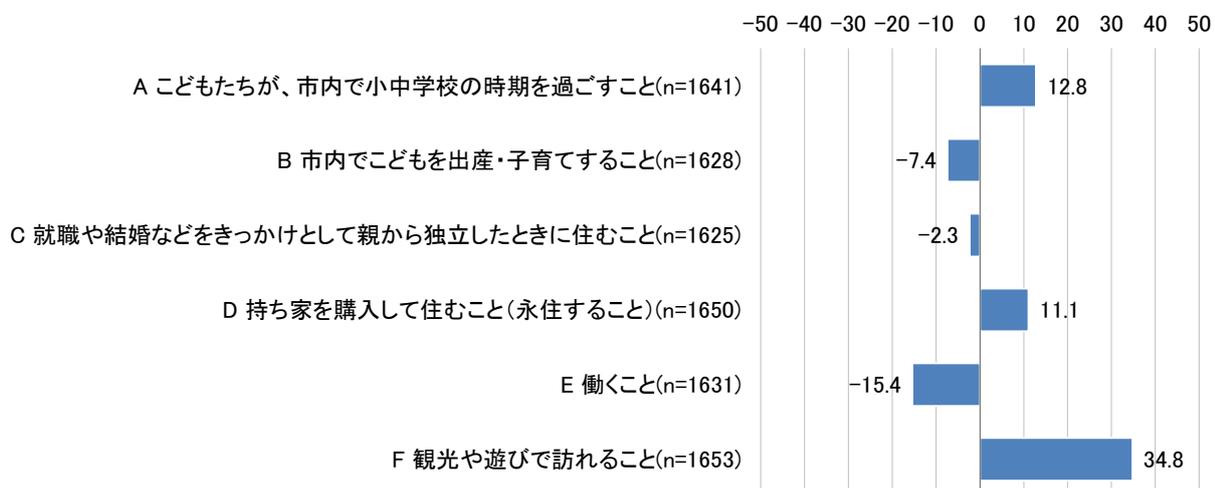
F 観光や遊びで訪れること

「8点」の割合が最も高く20.6%となっている。次いで、「10点(18.8%)」、「5点(18.0%)」となっている。



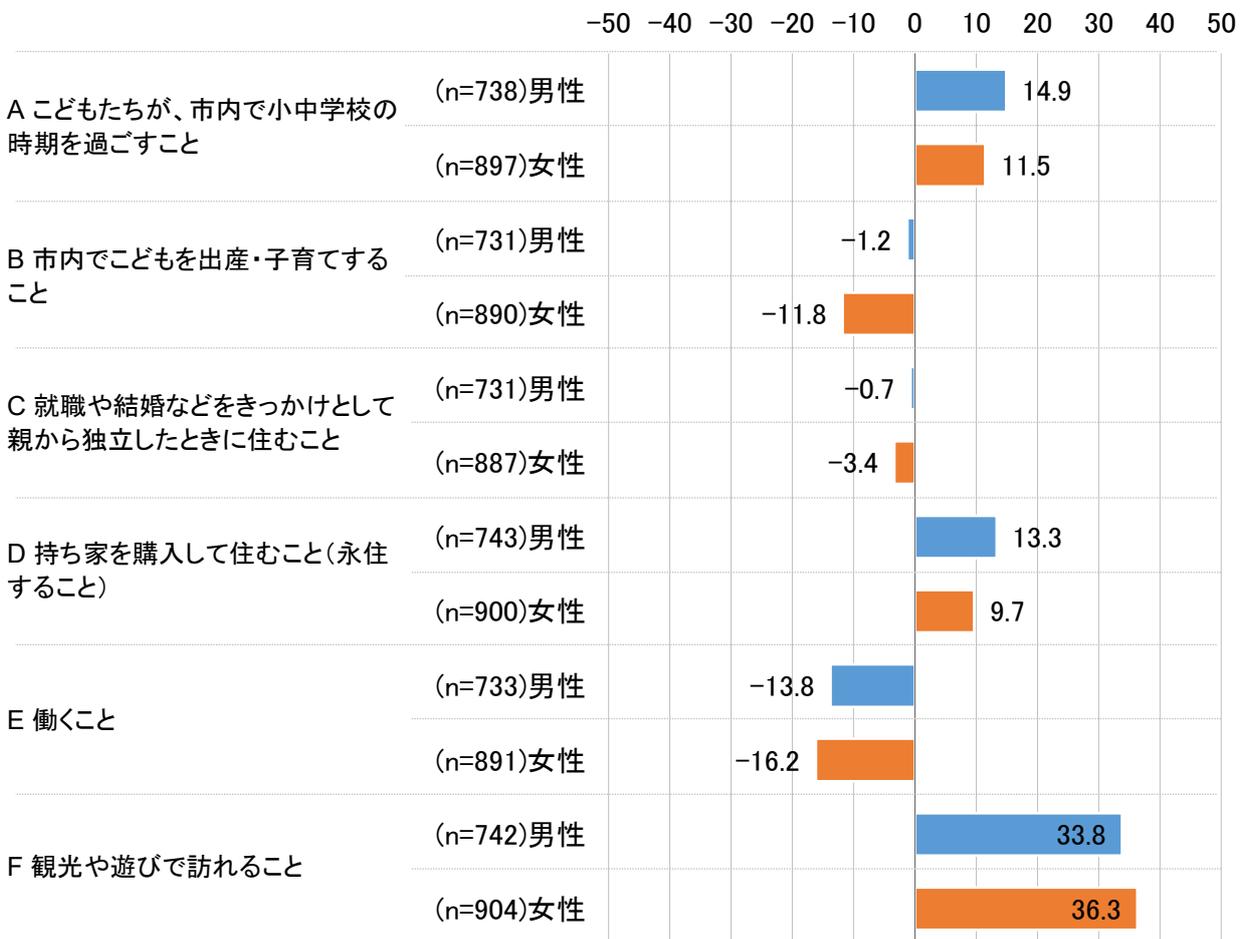
【NPS(ネットプロモータースコア)による得点化】

A～Fの項目について、NPS(ネットプロモータースコア)で得点化したところ、「A 子どもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと」は12.8点、「B 市内で子どもを出産・子育てすること」は-7.4点、「C 就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと」は-2.3点、「D 持ち家を購入して住むこと(永住すること)」は11.1点、「E 働くこと」は-15.4点、「F 観光や遊びで訪れること」は34.8点となった。



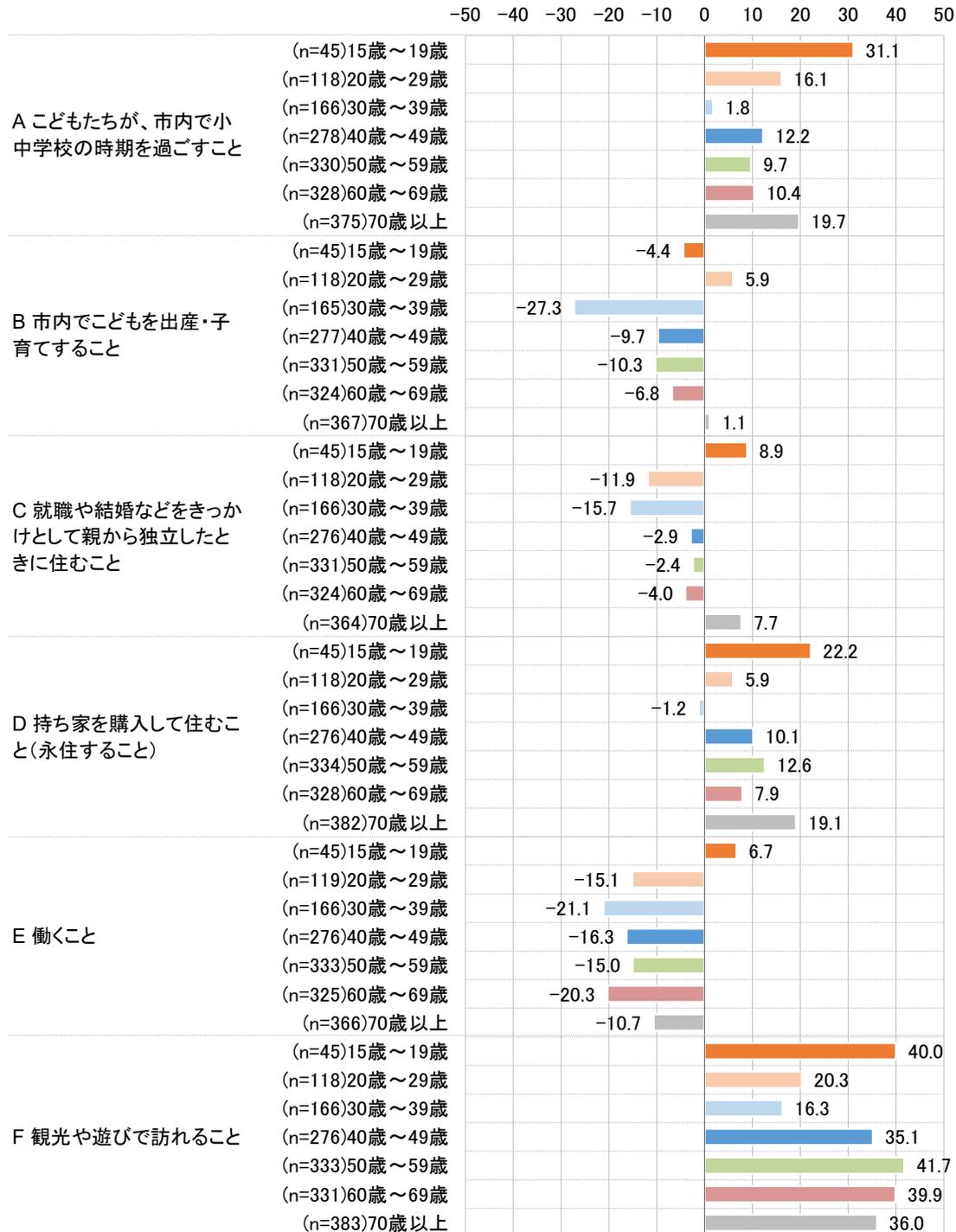
■性別クロス集計結果(問1)

「市内で子どもを出産・子育てすること」で女性が男性に比べて 10.6 ポイント下回る。



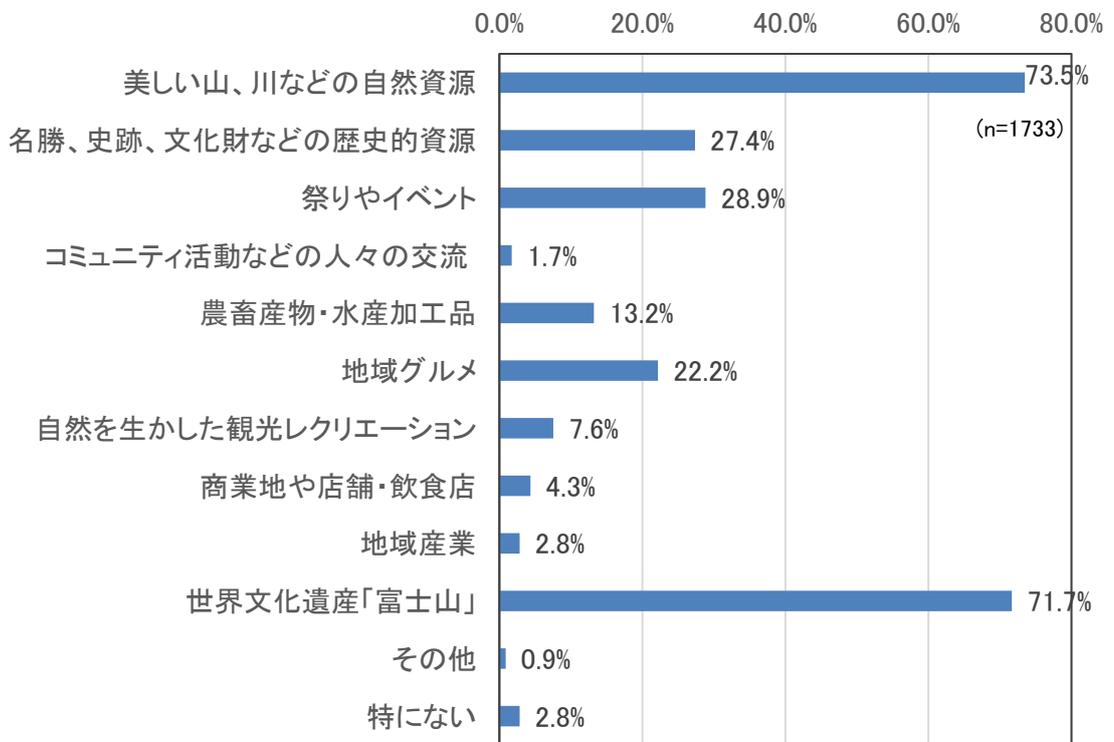
■年齢別クロス集計結果(問 2)

A「子どもたちが、市内で小中学校の時期を過ごすこと」は、10代で高い。B「市内で子どもを出産・子育てすること」は30代で特に低い。C「就職や結婚などをきっかけとして親から独立したときに住むこと」は、20代～60代でマイナス、D「持ち家を購入して住むこと(永住すること)」は30代のみマイナス、E「働くこと」は、20代以上でマイナス、F「観光や遊びで訪れること」は、全てプラスだが20代・30代で低い値となった。



問22. あなたが富士宮市で誇れるもの、または将来まで残したいもの（MA※3つ）

「美しい山、川などの自然資源」の割合が最も高く 73.5%である。次いで、「世界文化遺産「富士山」(71.7%)」、「祭りやイベント(28.9%)」、「名勝、史跡、文化財などの歴史的資源(27.4%)」である。

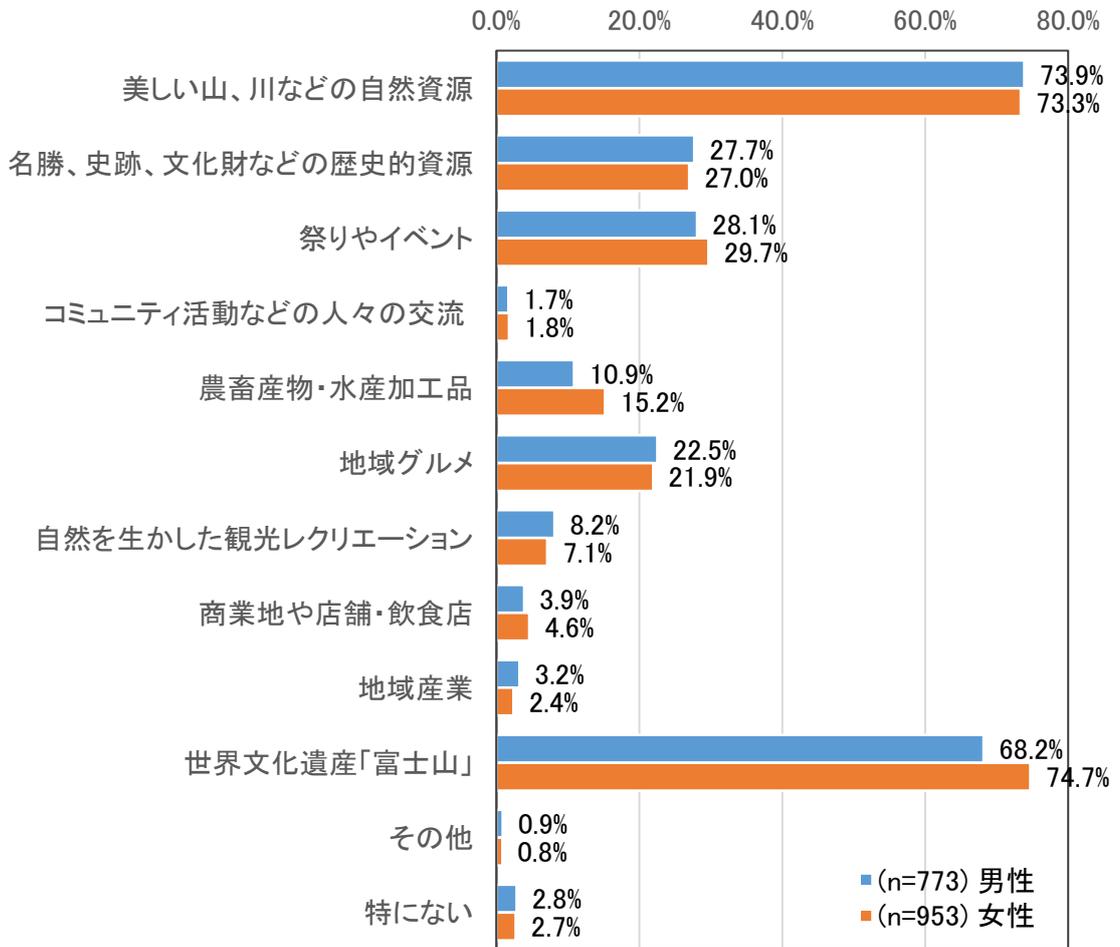


(その他の回答)

浅間大社、SDGs 的な発想

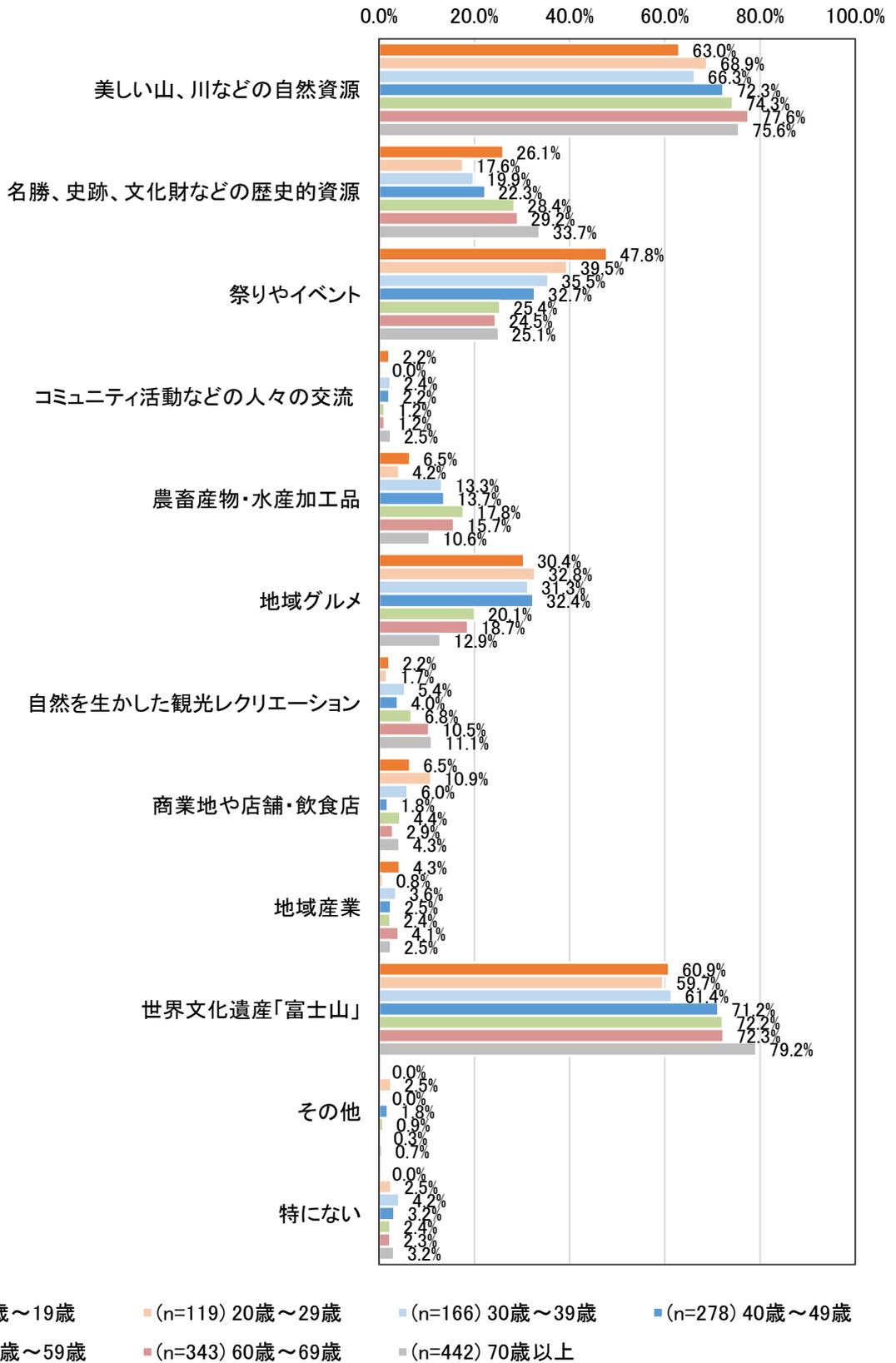
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られないが、「世界文化遺産「富士山」」で女性が男性に比べて 6.5 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「美しい山、川などの自然資源」・「世界文化遺産「富士山」と答えた割合が 60%程度以上となった。10 代では「祭りやイベント」と回答した割合が他の年代に比べて高い。



問23. 富士宮市で誇れるもの、または将来まで残したいもの（自由記述）

富士山(景観・文化的側面)

美しい四季の富士山/富士山麓の自然環境/観光ではない信仰としての富士山/富士山や星空が街中から一望できるのは富士宮市以外なく、これからも守りたい/富士山の開山祭り・閉山祭り 等

富士山の保全・整備

富士山をしっかり守るために、入山料を強制徴収し、富士山の保全と税金にすべき/世界文化遺産の保守/整備を十分に行ってもらいたい/富士山登山口 等

景観・景色

各所からの富士山の景観/西駅周辺の自然(よしま池等)/自然豊かな町なみ/綺麗な星が見える夜空/朝霧から望む星空/神田川からの富士山の眺め/田貫湖からの富士山のながめ・ダイヤモンド富士/富士山世界遺産センターから浅間大社までの景観 等

自然資源(富士山を除く)

朝霧高原の自然/朝霧エリアの景観とアウトドア環境/白糸の滝/陣馬の滝/田貫湖/湧玉池/湧玉池(神田川)/湧玉池をはじめとした富士山の伏流水/狩宿の下馬桜などの自然/富士川/芝川/神田川の水の透明さ/滝沢川/潤井川の美しい水質/潤井川の桜/豊かな水源の清らかさ/用水を美しく保つ/潤井川の清掃・土砂撤去・護岸の緑化/天然水を使った富士宮ならではの産業/稲子の梅林/稲瀬川の桜/音止めの滝/柚野の棚田/上井出の棚田/道路・住宅に近い山林の管理による自然資源の維持継続 等

文化的資源

浅間大社に関わる祭事/浅間大社の赤い鳥居/浅間大社の社殿や文化財の保護/富士宮祭り/流鏝馬祭り/浅間神社と桜/宮おどり/大石寺/山宮浅門神社/村山浅門神社/大鹿窪遺跡/若獅子神社/商店街の祭り/無形文化財の富士宮囃子 等

イベント

富士山女子駅伝/富士宮駅伝/朝霧 JAM 等

施設など

富士山世界産センター/お宮横丁/白尾山公園/ふもとつばら(キャンプ場)/直売所を長く今のまま残して欲しい/ゴルフ場 等

グルメ

食文化/B 級グルメ/富士山の恵みで作った食/ご当地グルメ(焼きそば、マス、豚肉、プリン、お好み焼きなど) /ゆで落花生/ピーナッツ入なます/しぐれ焼き/曾我漬/畜産物を扱ったレジャーやグルメ/ケーキ屋 等

農産物

野菜/いちご/落花生/お茶/茶畑/高原のお茶畑/タケノコ/内房の筍/白糸・柚野のお米/岡村牛/根原大根/あさぎり牛乳/乳製品や富士山の湧き水の豆腐/地酒/にじます 等

産業

農業/酪農/畜産業/紙製品(TP など) 等

暮らし方

お互いに相手を尊重する方が多いこと/周囲の人々との交流が気軽にできる場所をいつまでも残しておきたい/人口密度が低く、1人の時間を大切に、ゆったり暮らせる/にぎわいすぎていること/住みやすい環境/西町商店街/日本一長い商店街/イオンや飲食店/自然をのこした公園造り/海にも山にも近く、東名、中央道と、交通の便も良い/おいしい空気/文化活動/スポーツ活動 等

市政に関する要望など

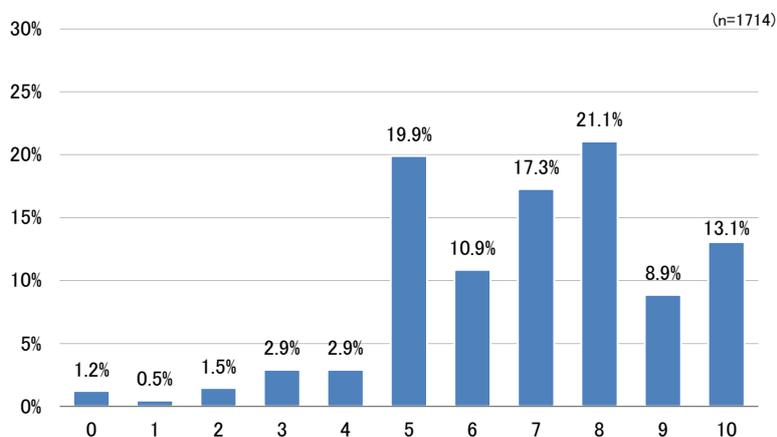
さくやちゃん/宮クーポン/市長の対応/市政のゆたかさ/富士山と浅間さんのつながりや魅力と発信力/富士宮市民であることの誇りを持つ教育/義務教育中の子ども達に対して、特に多方面の障害者に対して手厚く面倒をみてくれているように思います。(他県の人と話して感じた事)尚一層努力して続けて欲しいと願います。/困りごとや心配ごとを抱え込まずに相談できるスタイルはずっと継続してほしいです。/公園など子供達が遊び、学べる環境。/富士宮西高校、少子化でも公立進学校は残した方がいいと思います。/自然は一度壊してしまうと戻せないものですし、まだ土の土地があるのは貴重だと思います。コンクリートばかりになると温暖化も進んでくるかと思しますので、自然を大事にした街づくりを大事にしていけたらいいのかなと思います。/市長の取組の意気込み、市長の人柄に感動。市全体の安定、温かさにつながっている事。/富士山の景観を大事にして、他県・他市からスポーツイベントで訪れる人を増し、住んでみたい土地に変えていく。 等

6 富士宮市のイメージについて

問24. 富士宮市のイメージ (SA)

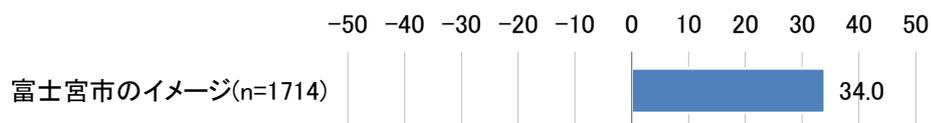
※「よい」を10点、「悪い」を0点としたときの点数

「8点」の割合が最も高く21.1%となっている。次いで、「5点(19.9%)」、「7点(17.3%)」となっている。



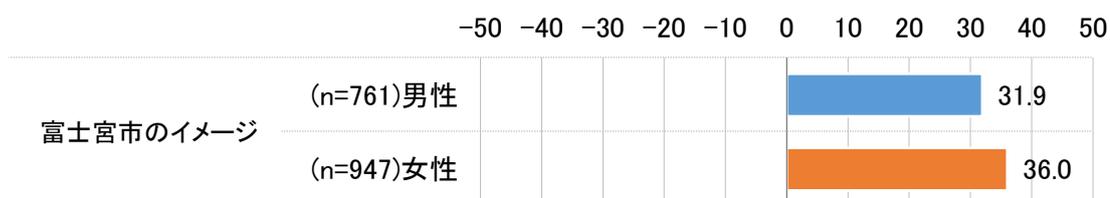
【NPS(ネットプロモータースコア)による得点化】

富士宮市のイメージについて、NPS(ネットプロモータースコア)で得点化したところ、34.0点となった。



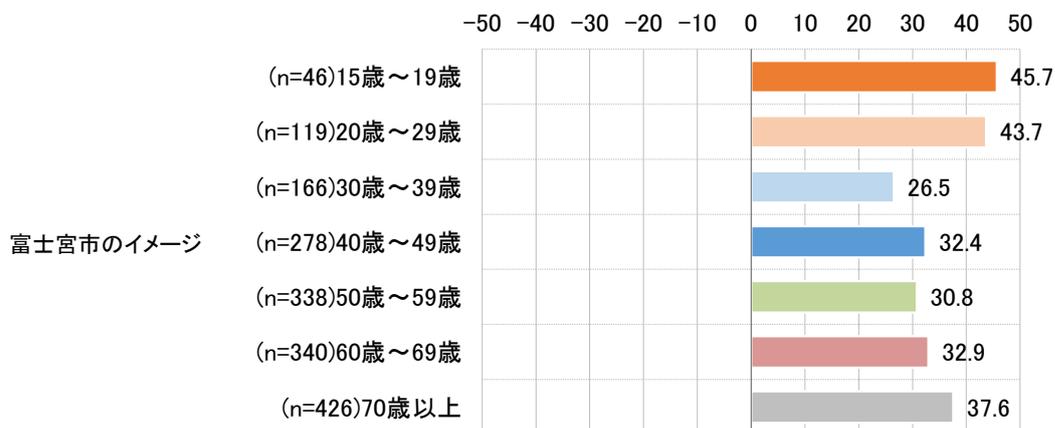
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない



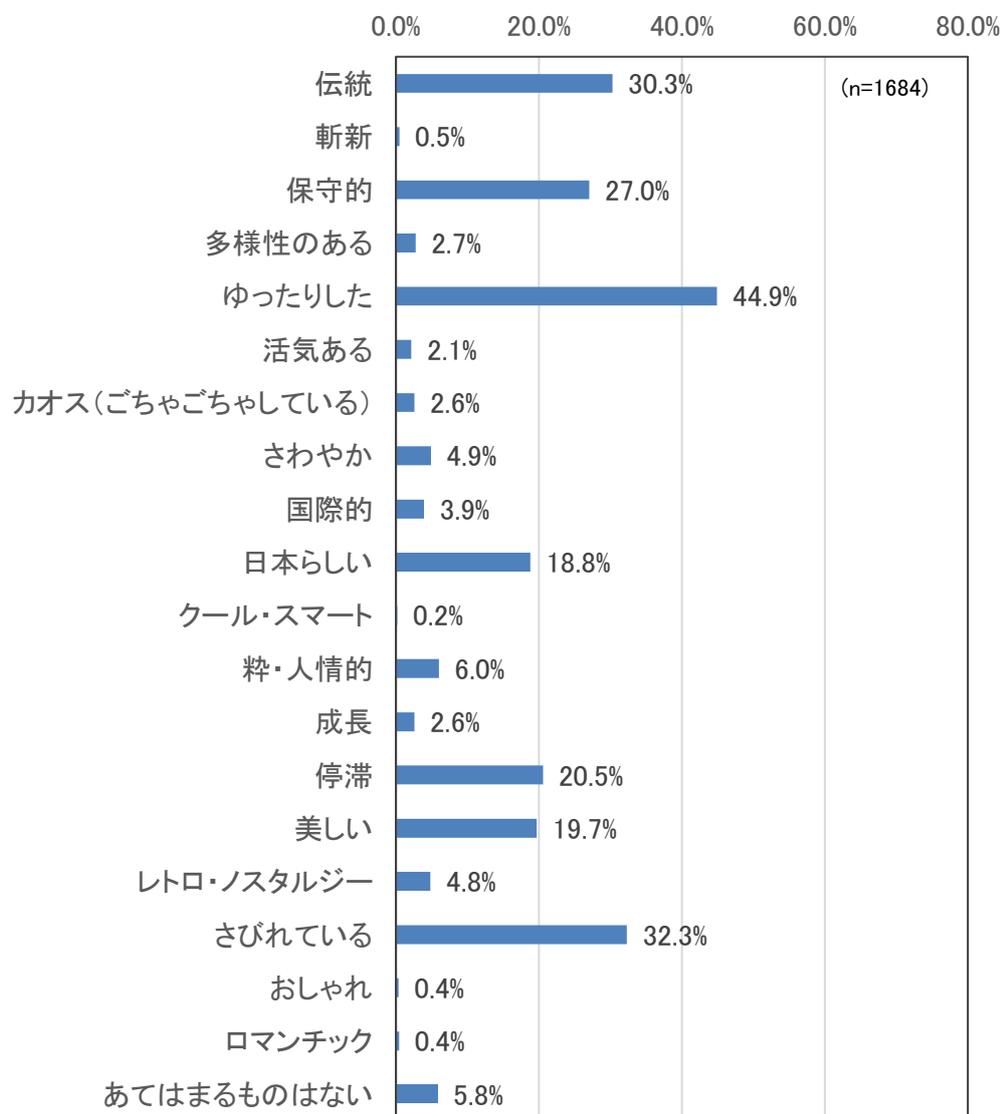
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代でもプラスの値となった。



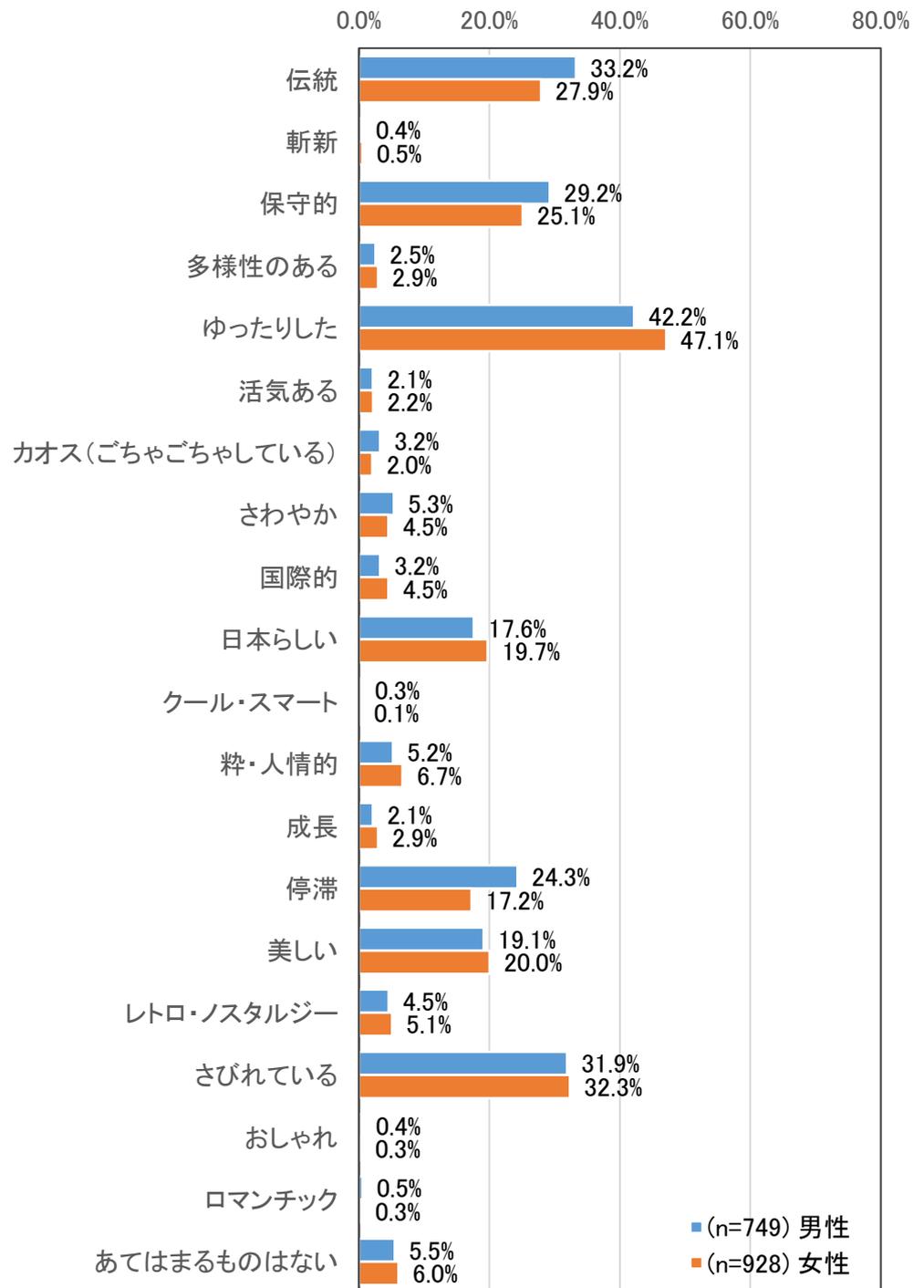
問25. あなたが富士宮市にあてはまると思うイメージ (MA)

「ゆったりした」の割合が最も高く44.9%である。次いで、「さびれている(32.3%)」、「伝統(30.3%)」である。



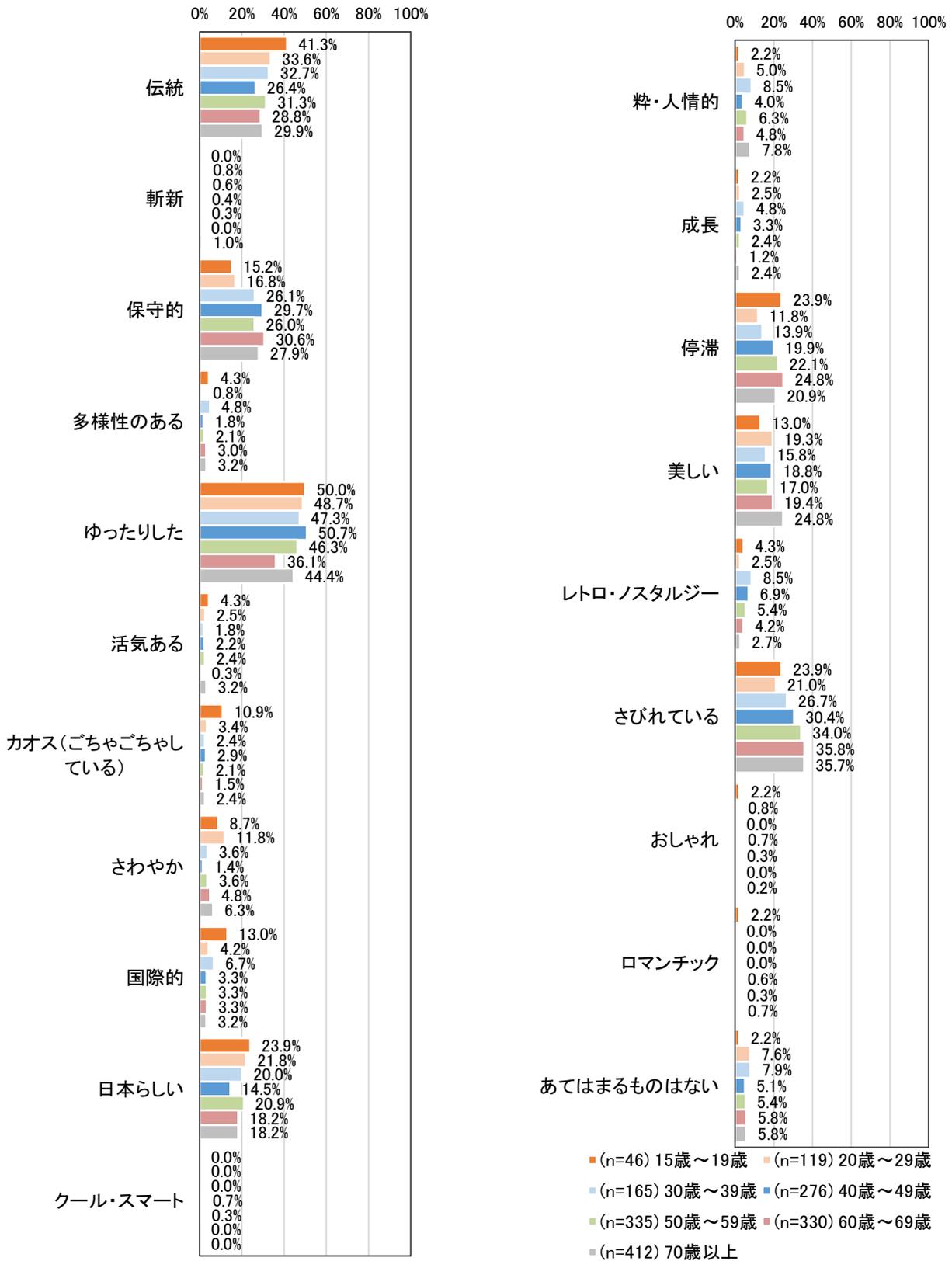
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られないが、「停滞」で男性が女性に比べて7.1ポイント、「伝統」で男性が女性に比べて5.3ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「伝統」・「ゆったりした」・「さびれている」と答えた割合が2割を超えている。10代では「伝統」・「カオス(ごちゃごちゃしている)」・「国際的」と回答した割合が他の年代に比べて高い。



問26. あなたにとって「富士山」とは何か（自由記述）

誇り

日本人の誇り/富士宮の誇り/富士宮市最大の誇り/ここに暮らす喜びと郷土の誇り/日本一高い富士山の麓に住んでいる事を誇りに思う/静岡県(東部)ならではの迫力のある富士山は富士宮ならではの山だと思う/世界に誇れる美しさや伝統を持った山/四季折々を感じさせてくれる/雄大な富士山を誇りに思います/日本を代表する山で美しい景観と多種多様な動植物や環境で出来ている山でいつも身近にあって自分達を近くで見守ってくれている誇らしい山です 等

象徴

日本の象徴/日本=富士山/日本人の心の象徴/日本の象徴であり富士山を見て育った人の心のふるさと/静岡県のシンボル/静岡と日本の象徴/静岡県・山梨県のシンボル/雄大で美しい日本のシンボル/美味しい水を生み出してくれるシンボル/美の象徴/皆を守ってくれるシンボル/故郷の象徴/安心の象徴 等

日常、当たり前にあるもの

日常の風景/日常生活の一部/空気と一緒に/いつも側に感じる雄大な存在/生まれてからずっと北にあるもの/いつもある裏山感覚/すぐにドライブへ行ける場所/いつでも見える大自然/遠出をした時に富士山が見えてくると帰ってきたなあと感じるもの/もし富士山が無かったらと考えるとここには住んでいないと思う/見すぎて思い入れはないが同じ県内でも別地域の人々がすごいと言っているのを見る度少し誇らしい気持ちになる/おはようで富士山をあおぎ夕やけで富士山と散歩し常に生活に密着している/笠雲で天気が分かる/次の日雨が降るか確認するもの/日常の天気を知る山/方角確認がしやすいオブジェクト 等

景観の美しさに関するもの

雪のある冬の富士山は美しい/富士山を見たくて富士宮に移住した(日本一富士山は美しい)/美しく厳しい山/仰ぎ見る美しいもの/美しい自然がすばらしい/大きく綺麗な山/写真映えする/普段は日常に溶け込んでいるが映えるスポットで望む富士山は特別 等

日本一、世界一

一番/世界 No1 の美山/日本一の山/日本一(世界文化遺産)/眺めても日本一/登っても日本一の誇れる山 等

季節を感じるもの

四季折々の景観の美しさ/美しい四季を感じる/自然と毎日みているもので四季を感じる事ができるもの/四季折々の景観の美しさ/春夏秋冬の季節で景観が変わり毎日見えています/「富士山」とは季節感です。富士山の周りに出来る雲を眺めるのが好きで雲の種類から季節を感じています。 等

元気をもらえるもの

元気をくれる/エネルギー源/元気の源/雄大な富士山を眺めていると元気が出る 等

心のよりどころ

心の拠り所/お守り/市民の癒し/日本一の山であり美しいながめていて幸福感をもてる/心のやすらぎ(神様)/日本の象徴であり精神的文化価値を有し古来よりさまざまな形で文化芸術に取り上げられ日本人の心のよりどころだと思う/岩と砂ばかりでできているのに光の当たり方により千変万化で思わず見とれてしまう心の拠り所のような存在/いつも見守られている感じ/安心感 等

神・崇拜

崇拜の対象であり願い事をしたり手を合わせて祈ったりする存在/神の創造物/祈り/伝説/神の山/神秘的/我々を災害から守ってくれているもの/高きそびえ立つ神聖な所/富士宮を守ってくれている/守り神のような山/守護山であり災害のかなめ/信仰の山/信仰の山としてのぼらせていただく登山の対象/パワースポット/霊峰/神の地/人間が下手に手を加えてはいけない絶対的な存在/精神の中核/建造物とは違って人の手で無理やり観光資源にしたものではなく美しさに加えて神聖さが感じられる 等

噴火など

噴火などの災害に対する恐怖もある/噴火する怖い山/噴火は怖いので対策してほしい/ひとたび地震などで噴火を起こせば/甚大な被害をもたらす恐ろしい山です/活火山/噴火の脅威/南海トラフ地震に連動して噴火するかもしれないという記事などを見ると心配になります/災害と隣り合わせであることを忘れてはいけない 等

保全

守っていききたい財産/保全をしっかり行い将来に引き継ぐもの/みんなよくしていくもの/富士宮市で今後も守ってほしい/そのうち山体崩壊するのではないかと心配/大沢崩れなどの修復をかんばって欲しい/夏の登山客が多く荒れていくのが心配/足元はごみの山/ごみが無くならない景観が悪い所/毎年ごみを捨てている方がいるが捨てている方が多い/よく静岡県のもの山梨県のものとも聞きますが、どちらのものでもないし、取り合うものではない。みんなですべて守っていくものではないのかなと思っています。/有名になって人が来るのは嬉しいが、問題が起こっているのに人にも自然にも大切にしていけたらいいと思う 等

水資源

富士宮市や三島などは、豊富な水が湧いていて、それを使った地場産業(鱒の養殖など)や富士山の天然水など水を使った産業や製品など、富士山の恵みも受け取れる素晴らしい山 等

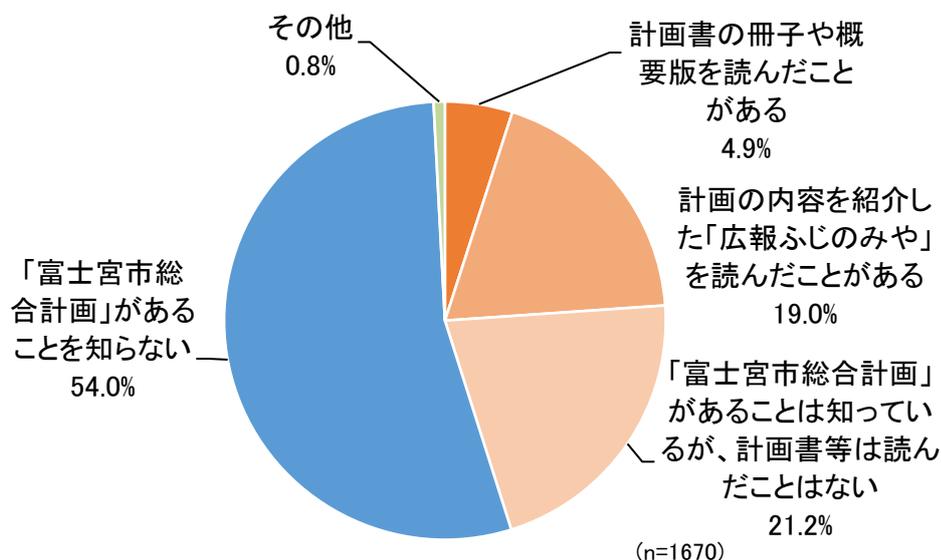
その他

思い出のつまった山/大事な被写体/カメラを趣味にしており被写体として写すことが多い/世界遺産センターができてから観光客の皆さんの気持ちになり今日はきれいに見えているかなと毎日見るようになりました/誰もが側に行かずに遠くからも楽しめて便利/観光などの収入源/山梨県との奪い合い 等

7 現在の総合計画について

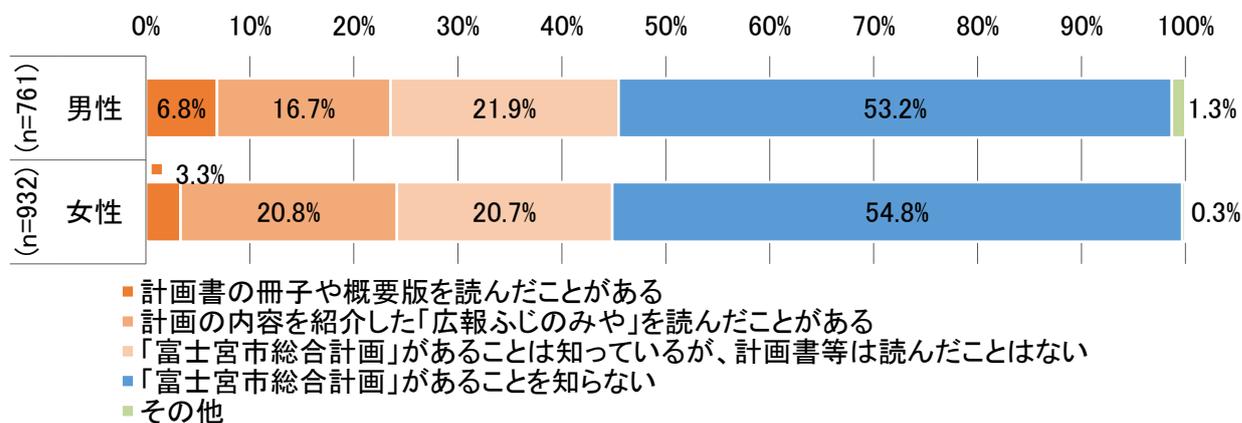
問27. 現在の「富士宮市総合計画」を知っているか (SA)

「「富士宮市総合計画」があることを知らない」の割合が最も高く 54.0%である。次いで、「「富士宮市総合計画」があることは知っているが、計画書等は読んだことはない(21.2%)」、「計画の内容を紹介した「広報ふじのみや」を読んだことがある(19.0%)」、「計画書の冊子や概要版を読んだことがある(4.9%)」である。



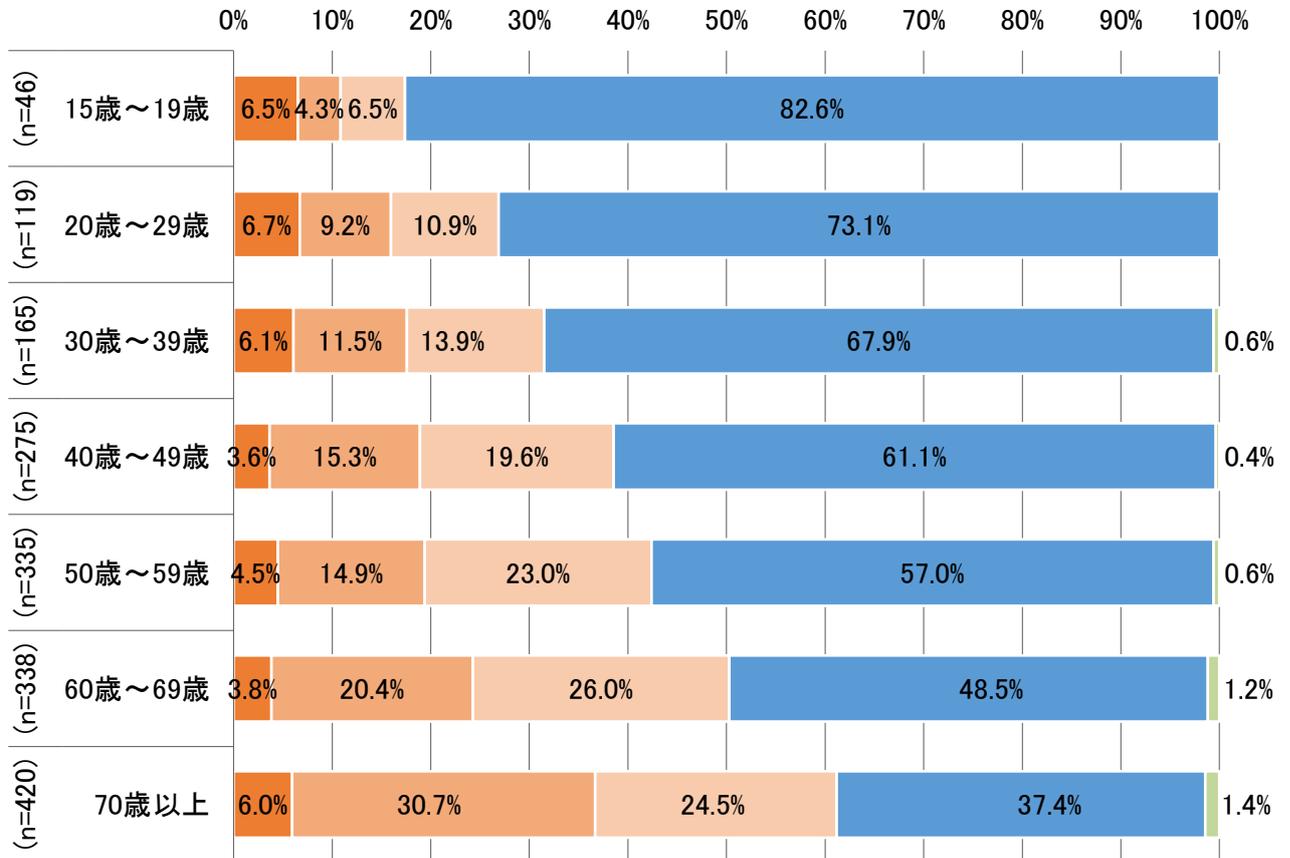
■ 性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問2)

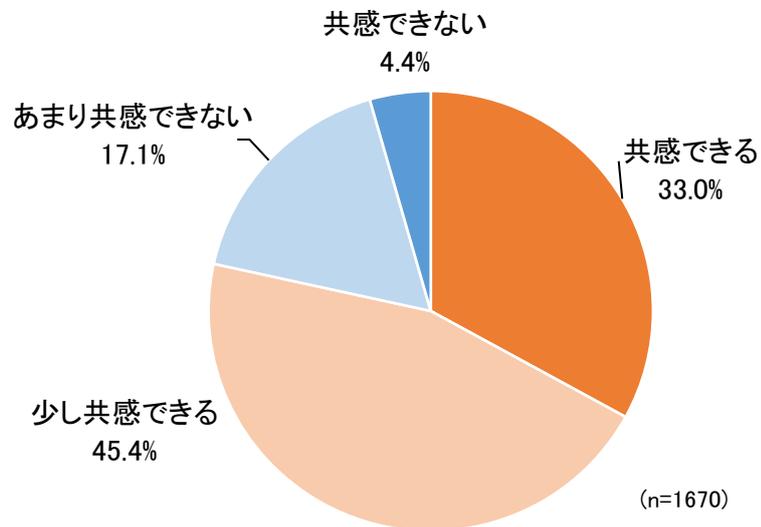
70歳以上は「計画の内容を紹介した「広報ふじのみや」を読んだことがある」の割合が他の年代よりも高く30.7%となった。年代が高いほど「富士宮市総合計画」を知らない」割合は減少し、「富士宮市総合計画」の認知度は上昇していることが読みとれる。



- 計画書の冊子や概要版を読んだことがある
- 計画の内容を紹介した「広報ふじのみや」を読んだことがある
- 「富士宮市総合計画」があることは知っているが、計画書等は読んだことはない
- 「富士宮市総合計画」があることを知らない
- その他

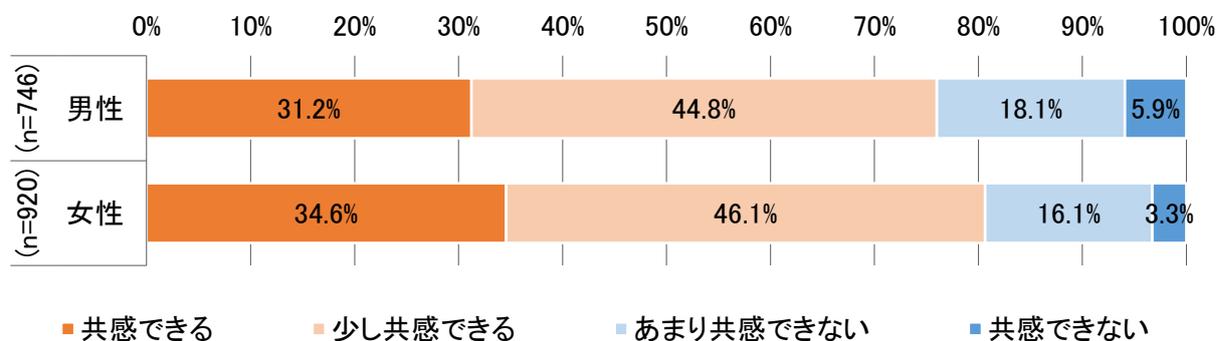
問28. 将来都市像に共感できるか (SA)

「少し共感できる」の割合が最も高く 45.4%である。次いで、「共感できる(33.0%)」、「あまり共感できない(17.1%)」である。



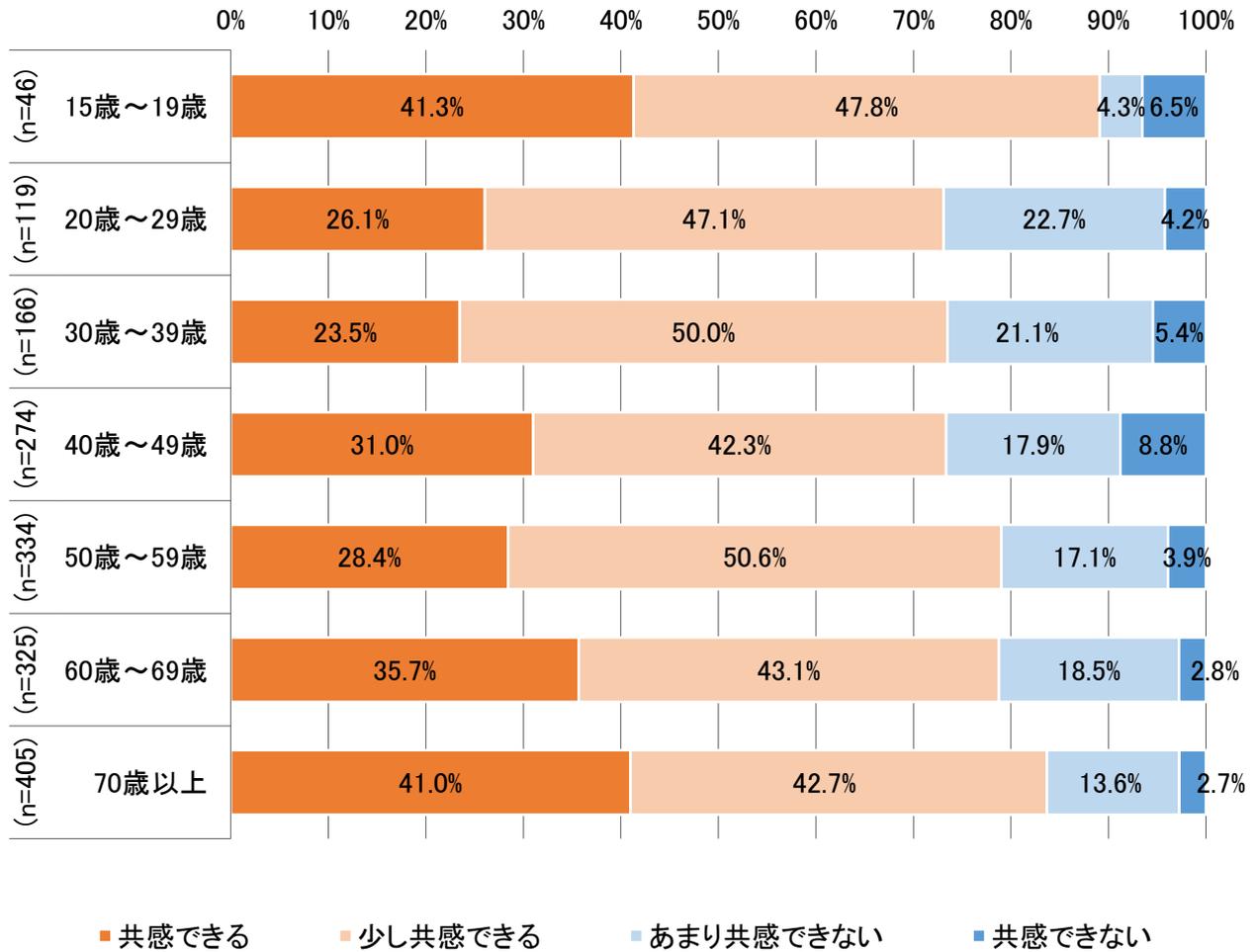
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問2)

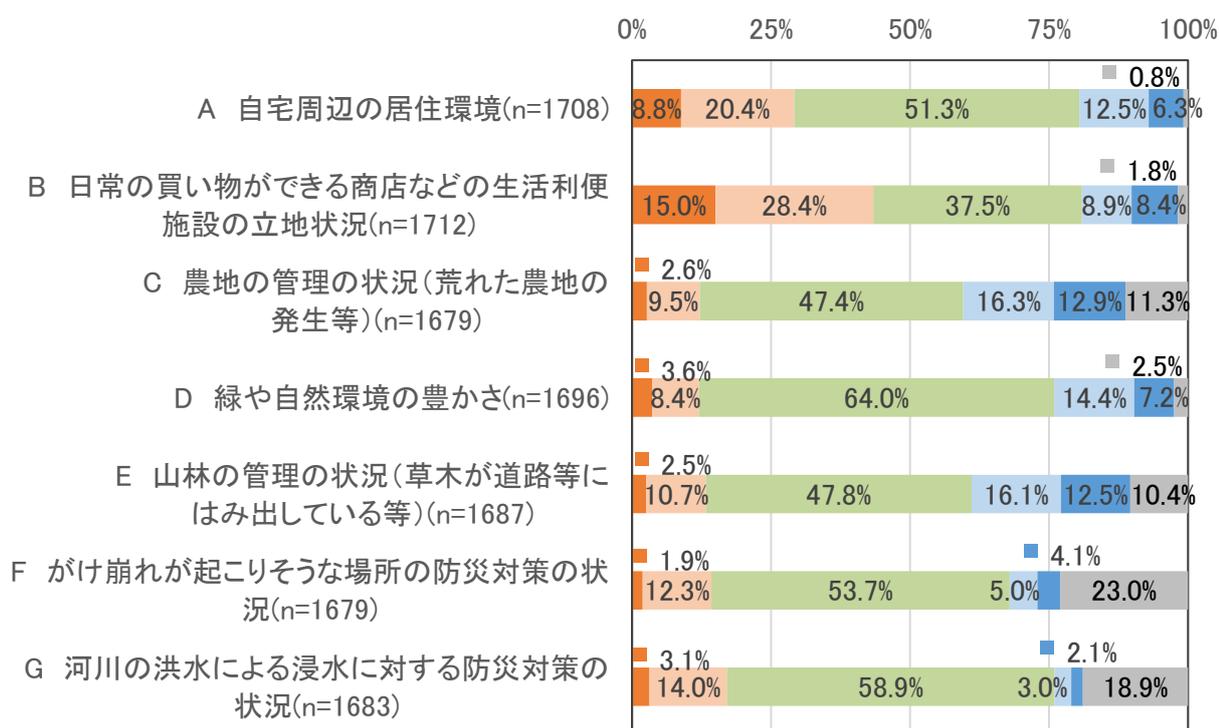
いずれの年代においても「共感できる」・「少し共感できる」の割合は7割を超えている。



8 土地の利用状況について

問29. 住まいの地区の様子について、10年前と比較して、考えに最も近いもの（SA）

「B 日常の買い物ができる商店などの生活利便施設の立地状況」について、「良くなった」が15.0%となっており、10年前と比較して良くなったと感じていることが伺える。また、「良くなった」「少し良くなった」の合計を見ると、「A 自宅周辺の居住環境」は24.2%、「B 日常の買い物ができる商店などの生活利便施設の立地状況」は43.4%と10年前と比較して改善傾向が伺える。一方、「少し悪化した」「悪化した」の合計を見ると、「C 農地の管理の状況(荒れた農地の発生等)」は29.2%、「E 山林の管理の状況(草木が道路等にはみ出している等)」は28.6%と10年前と比較して悪化傾向が伺える。

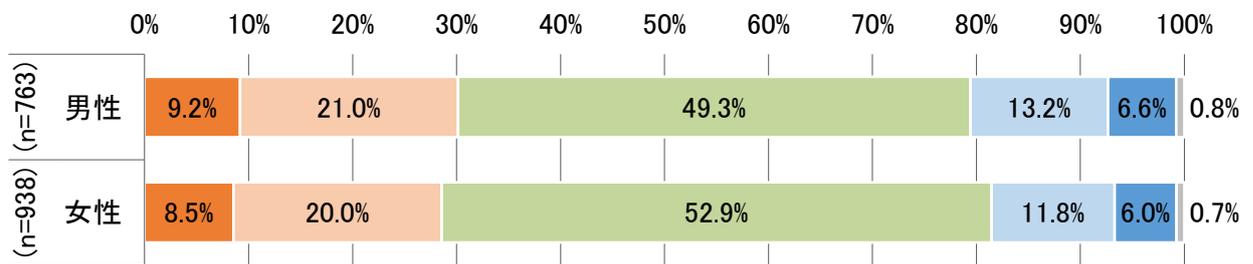


■良くなった ■少し良くなった ■変わらない ■少し悪化した ■悪化した ■該当する場所はない

■性別クロス集計結果(問1)

(A 自宅周辺の居住環境)

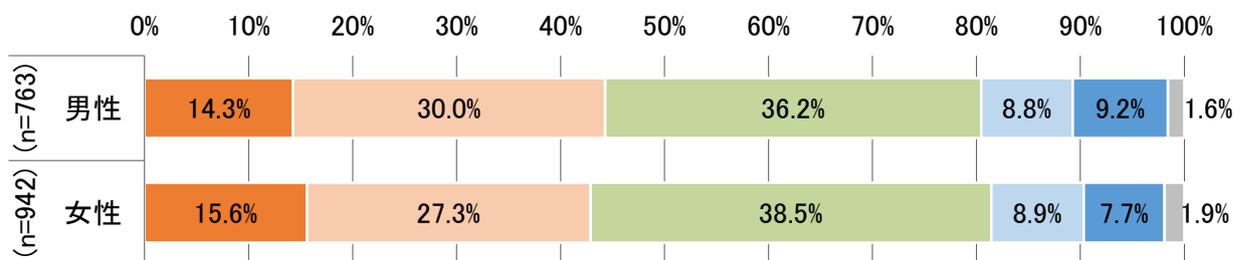
男女に大きな差は見られない。



■良くなった ■少し良くなった ■変わらない ■少し悪化した ■悪化した ■該当する場所はない

(B 日常の買い物ができる商店などの生活利便施設の立地状況)

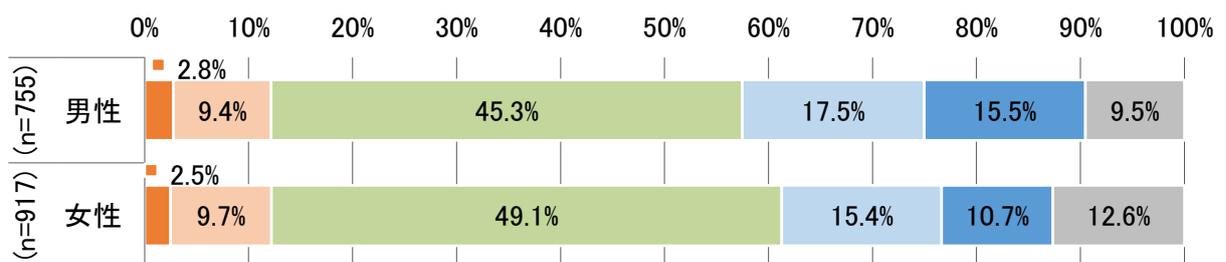
男女に大きな差は見られない。



■良くなった ■少し良くなった ■変わらない ■少し悪化した ■悪化した ■該当する場所はない

(C 農地の管理の状況(荒れた農地の発生等))

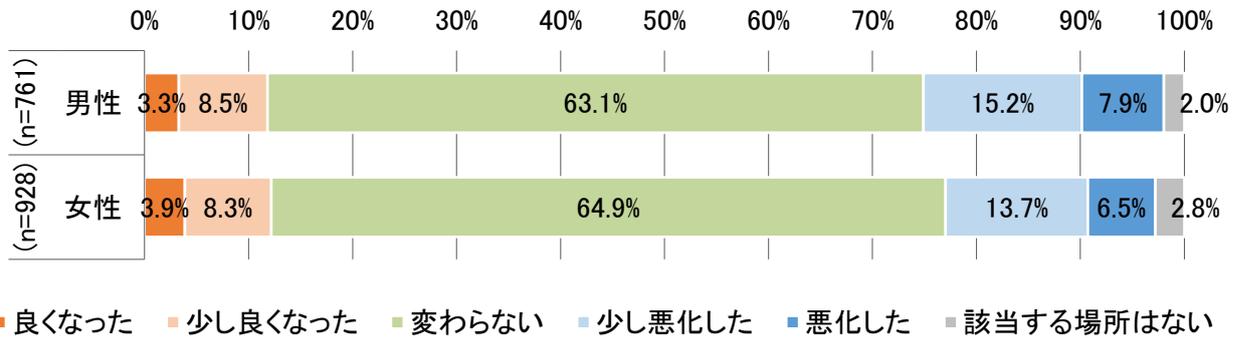
男女に大きな差は見られない。



■良くなった ■少し良くなった ■変わらない ■少し悪化した ■悪化した ■該当する場所はない

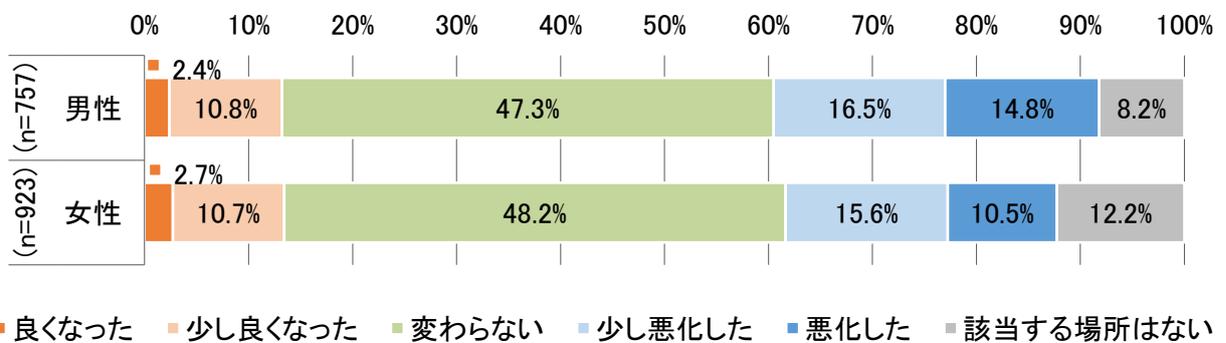
(D 緑や自然環境の豊かさ)

男女に大きな差は見られない。



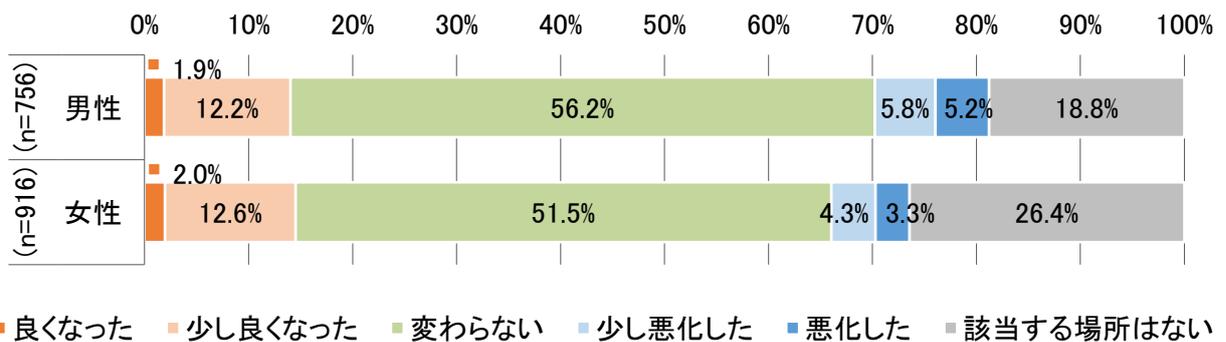
(E 山林の管理の状況(草木が道路等にはみ出している等))

男女に大きな差は見られない。



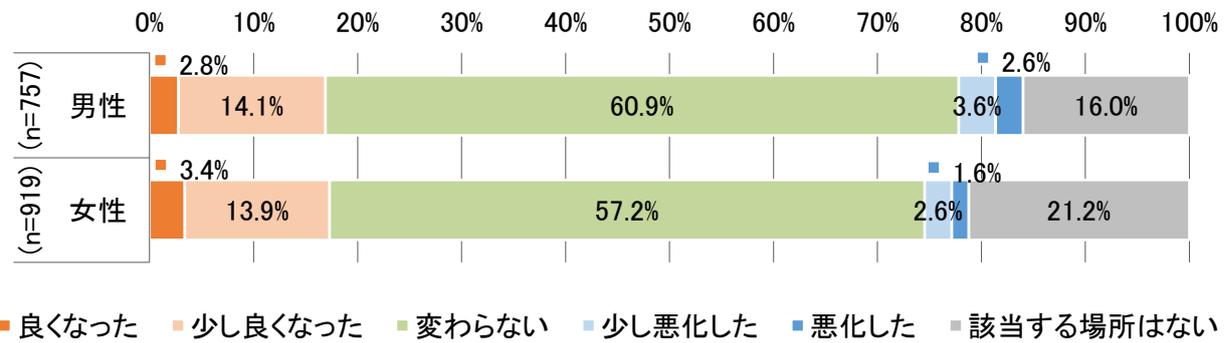
(F かけ崩れが起こりそうな場所の防災対策の状況)

男女に大きな差は見られない。



(G 河川の洪水による浸水に対する防災対策の状況)

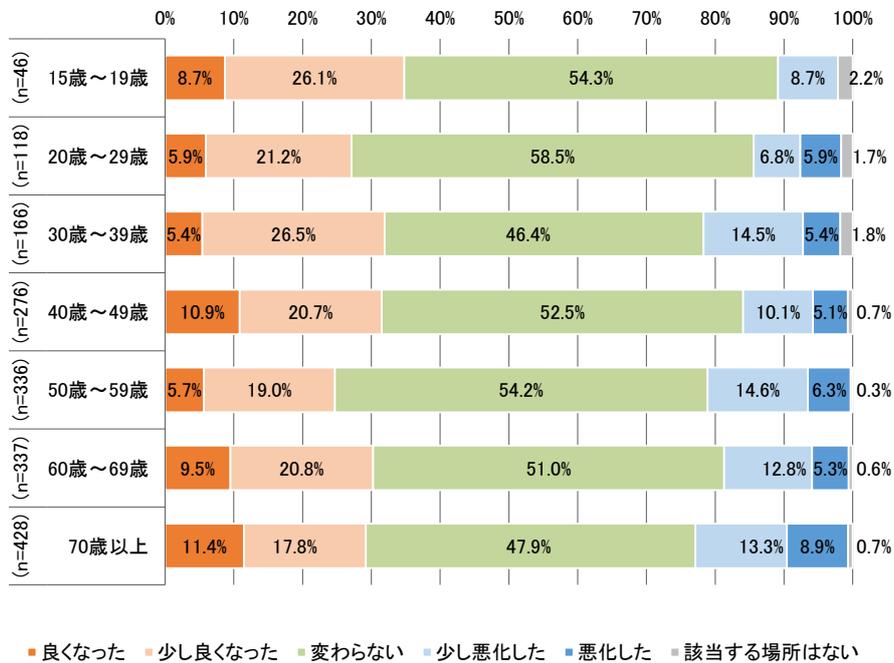
男女に大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問2)

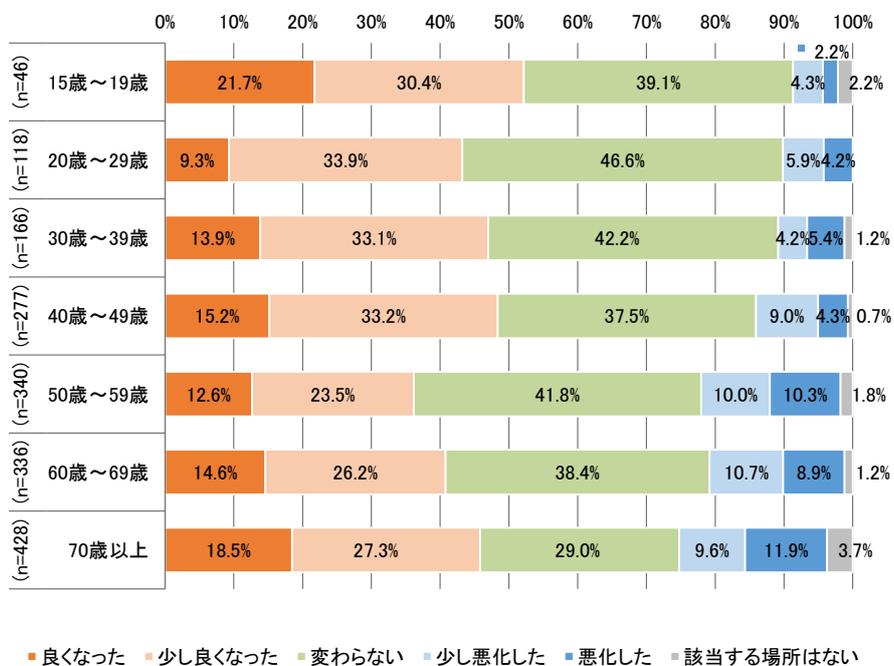
(A 自宅周辺の居住環境)

年代ごとの差は殆ど見られず、いずれの年代においても「変わらない」が最も多く、次いで「少し良くなった」という回答となった。



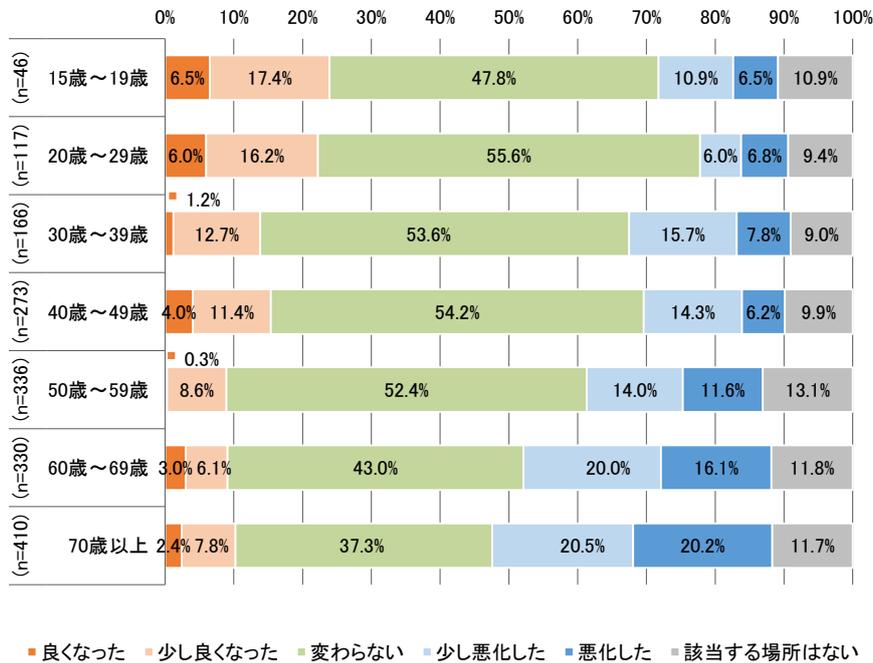
(B 日常の買い物ができる商店などの生活利便施設の立地状況)

50代・60代・70歳以上では「少し悪化した」・「悪化した」と回答した割合が40代以下に比べて高い。



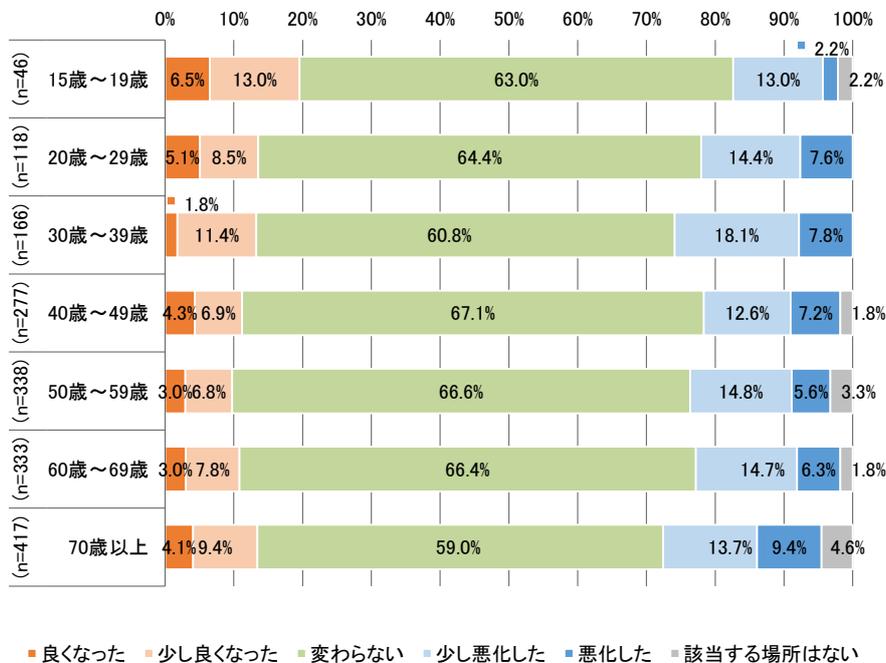
(C 農地の管理の状況(荒れた農地の発生等))

いずれの年代においても「変わらない」が最も多い。「良くなった」・「少し良くなった」と回答した方は年代が低いほど割合が高く、「少し悪化した」・「悪化した」と回答した方は年代が高いほど割合が高い。



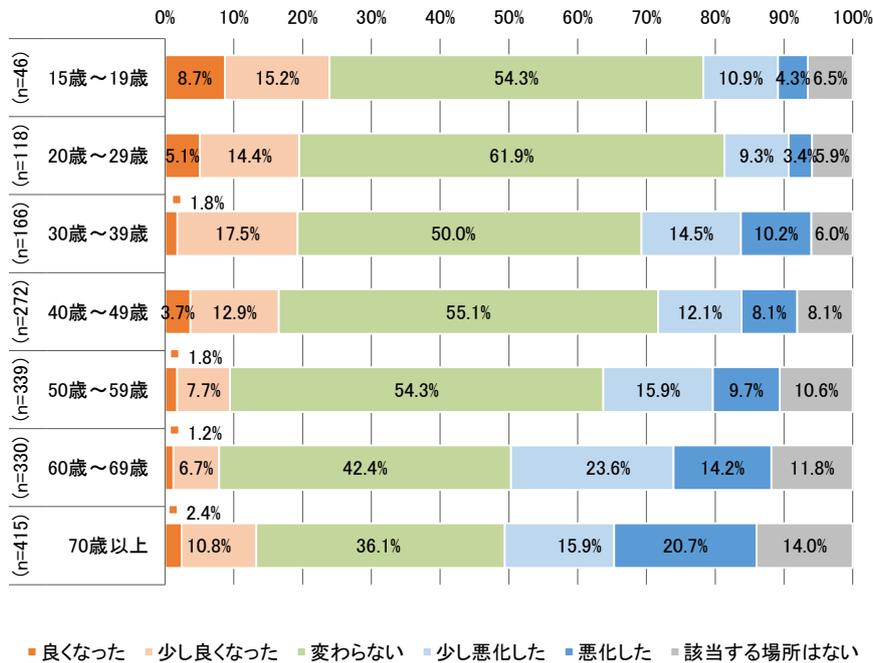
(D 緑や自然環境の豊かさ)

年代ごとの差は殆ど見られず、いずれの年代においても「変わらない」が最も多く、次いで「少し悪化した」(10代は同率で「少し良くなった」)という回答となった。



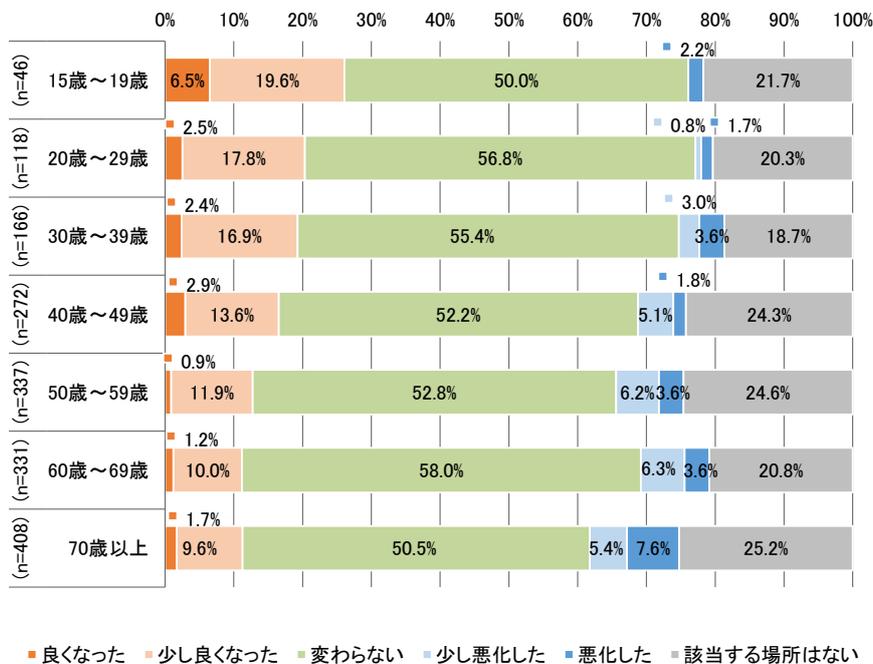
(E 山林の管理の状況(草木が道路等にはみ出している等))

いずれの年代においても「変わらない」が最も多い。60代・70歳以上では「少し悪化した」「悪化した」と回答した方が35%程度と他の年代と比較して高くなった。



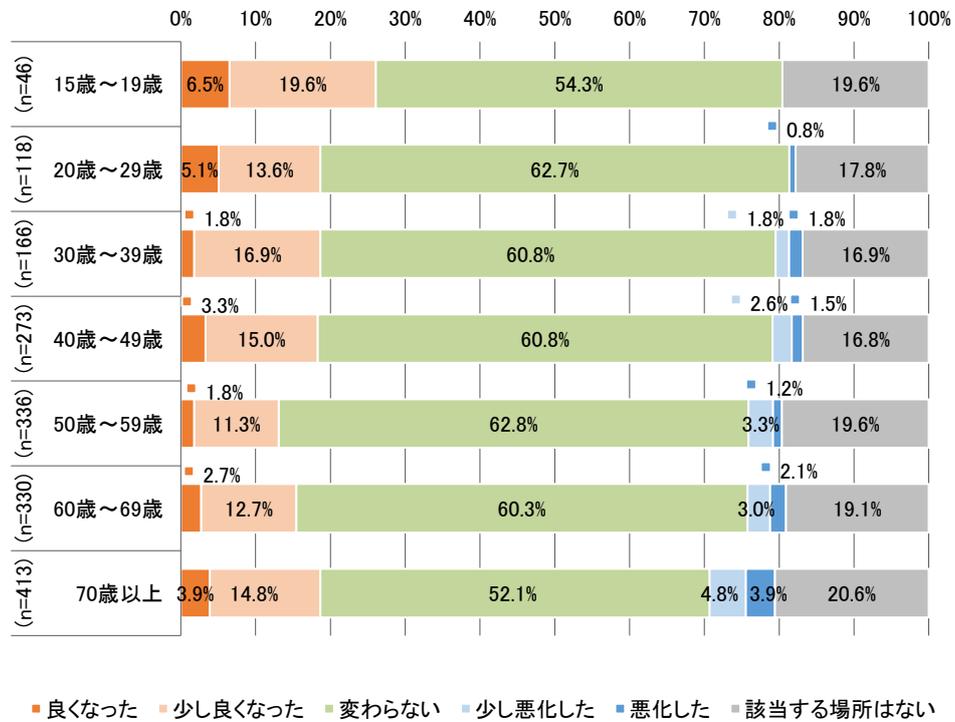
(F かけ崩れが起こりそうな場所の防災対策の状況)

年代ごとの差は殆ど見られず、いずれの年代においても「変わらない」が最も多く、次いで「該当する場所はない」という回答となった。「良くなった」「少し良くなった」と回答した方は年代が低いほど割合が高く、「少し悪化した」「悪化した」と回答した方は年代が高いほど割合が高い。



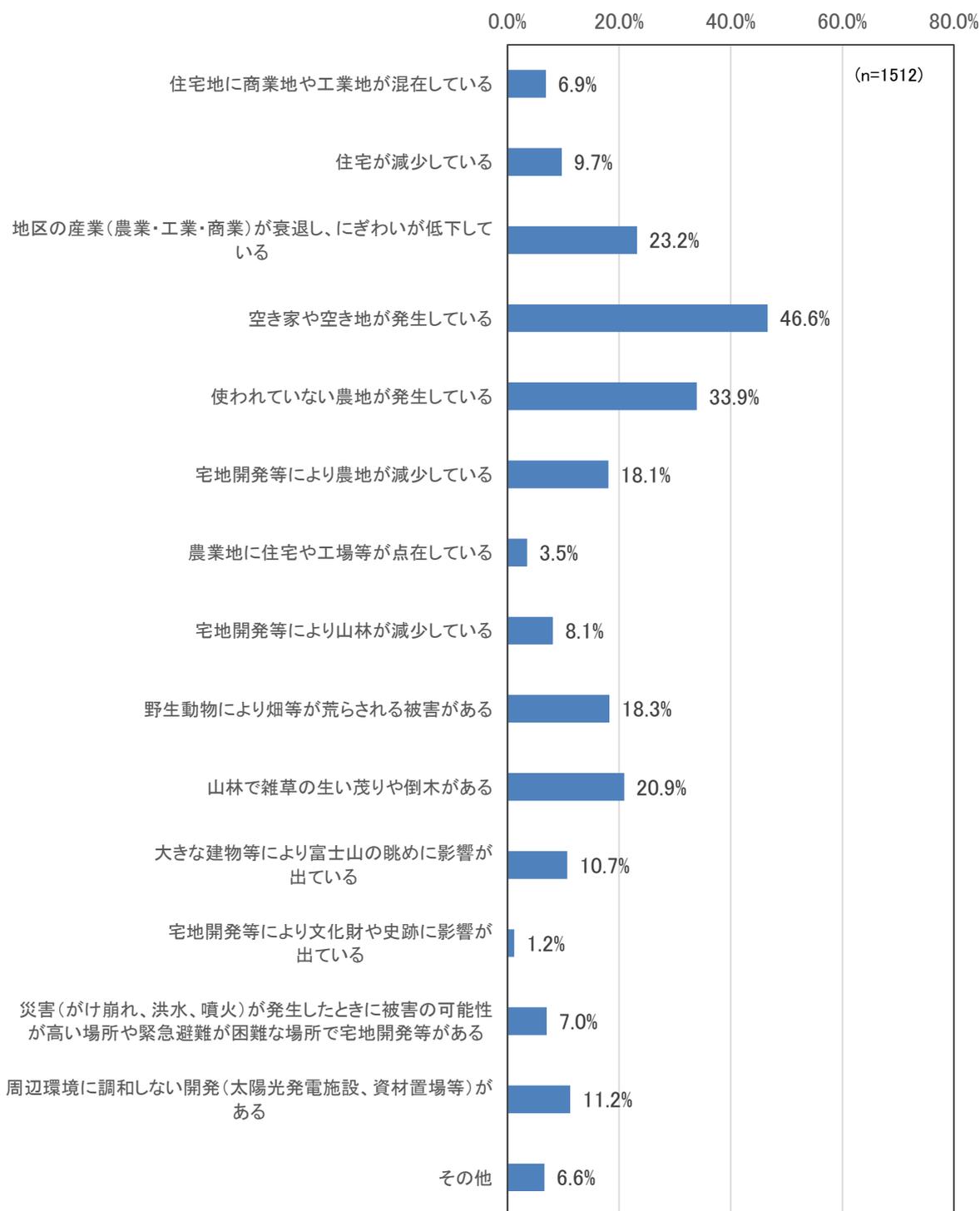
(G 河川の洪水による浸水に対する防災対策の状況)

いずれの年代においても「変わらない」が最も多く、次いで「該当する場所はない」(10代・30代は同率で「少し良くなった」)という回答となった。「少し悪化した」・「悪化した」と回答した割合は年代が高いほど割合が高くなる傾向である。



問30. 住まいの地区の土地の状況について、あなたが問題だと思うこと (MA)

「空き家や空き地が発生している」の割合が最も高く 46.6%である。次いで、「使われていない農地が発生している(33.9%)」、「地区の産業(農業・工業・商業)が衰退し、にぎわいが低下している(23.2%)」である。

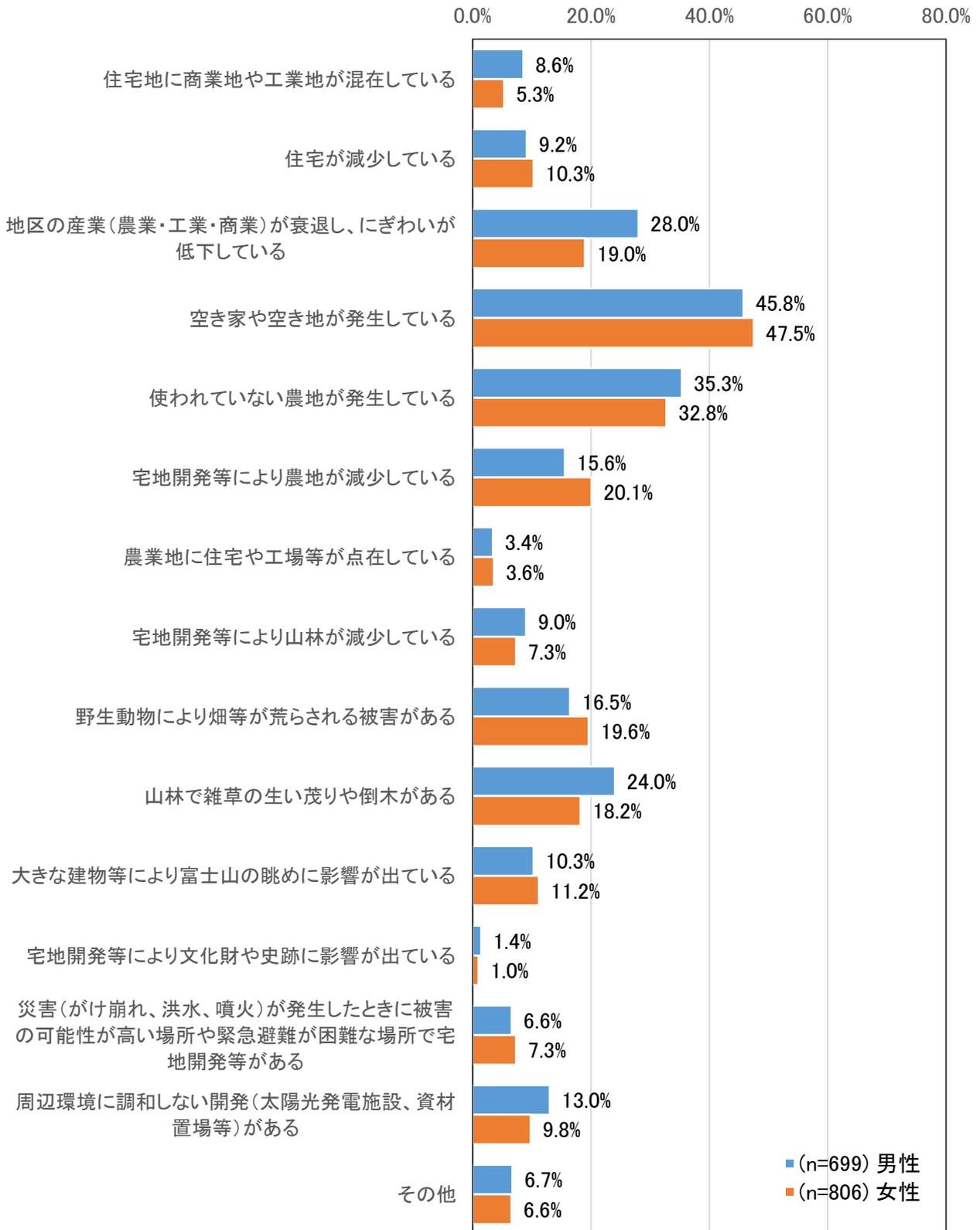


(その他の回答)

朝夕の車の大渋滞、住人の高齢化、バスなどの利用が不便、通勤中途中の地区のごみすて場にゴミを捨てていた、街の中心ばかりが発展している、賃貸住宅ばかり増えている、地球温暖化

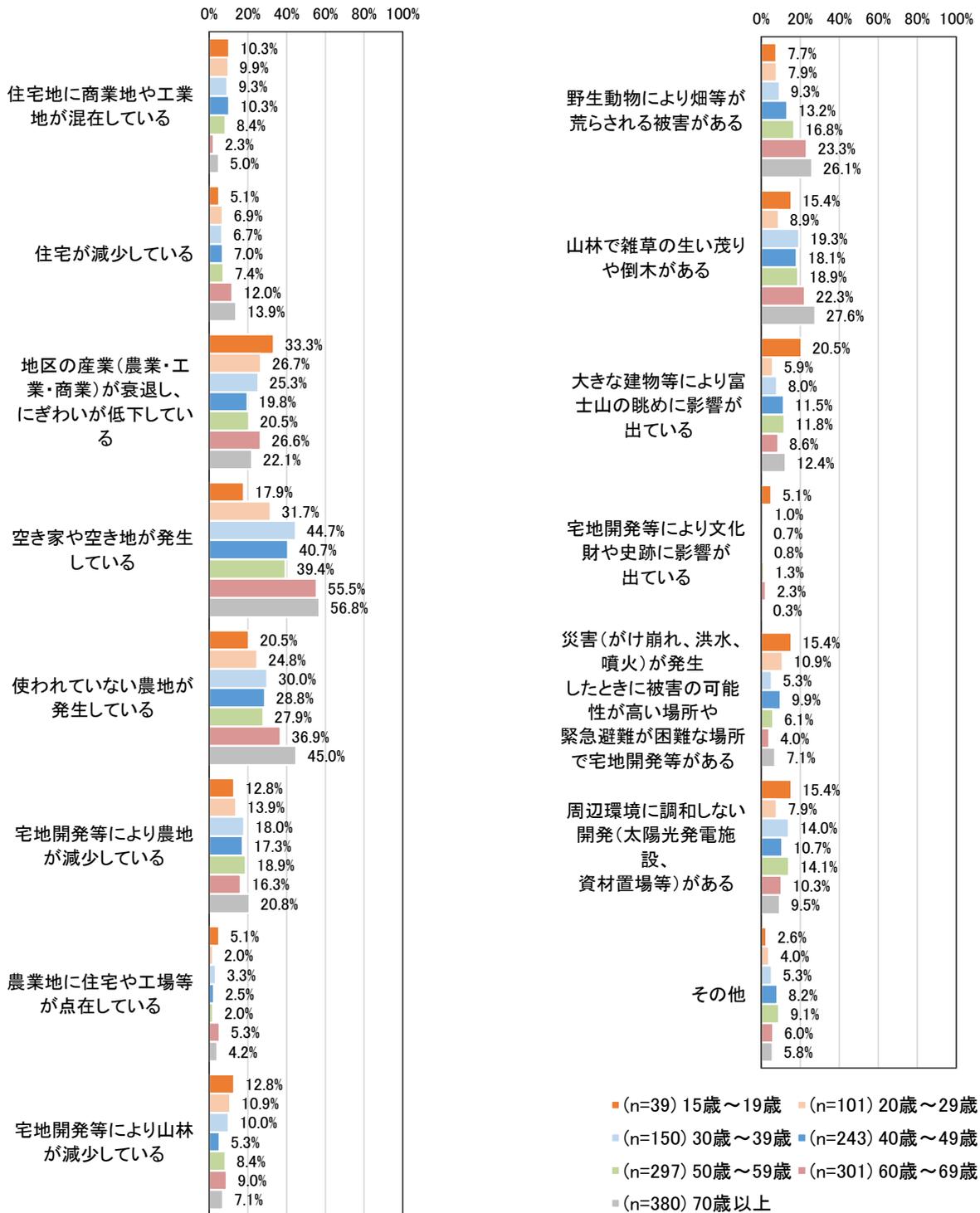
■性別クロス集計結果(問1)

「地区の産業(農業・工業・商業)が衰退し、にぎわいが低下している」で男性が女性に比べて 9.0 ポイント、「山林で雑草の生い茂りや倒木がある」で男性が女性に比べて 5.8 ポイント上回る。



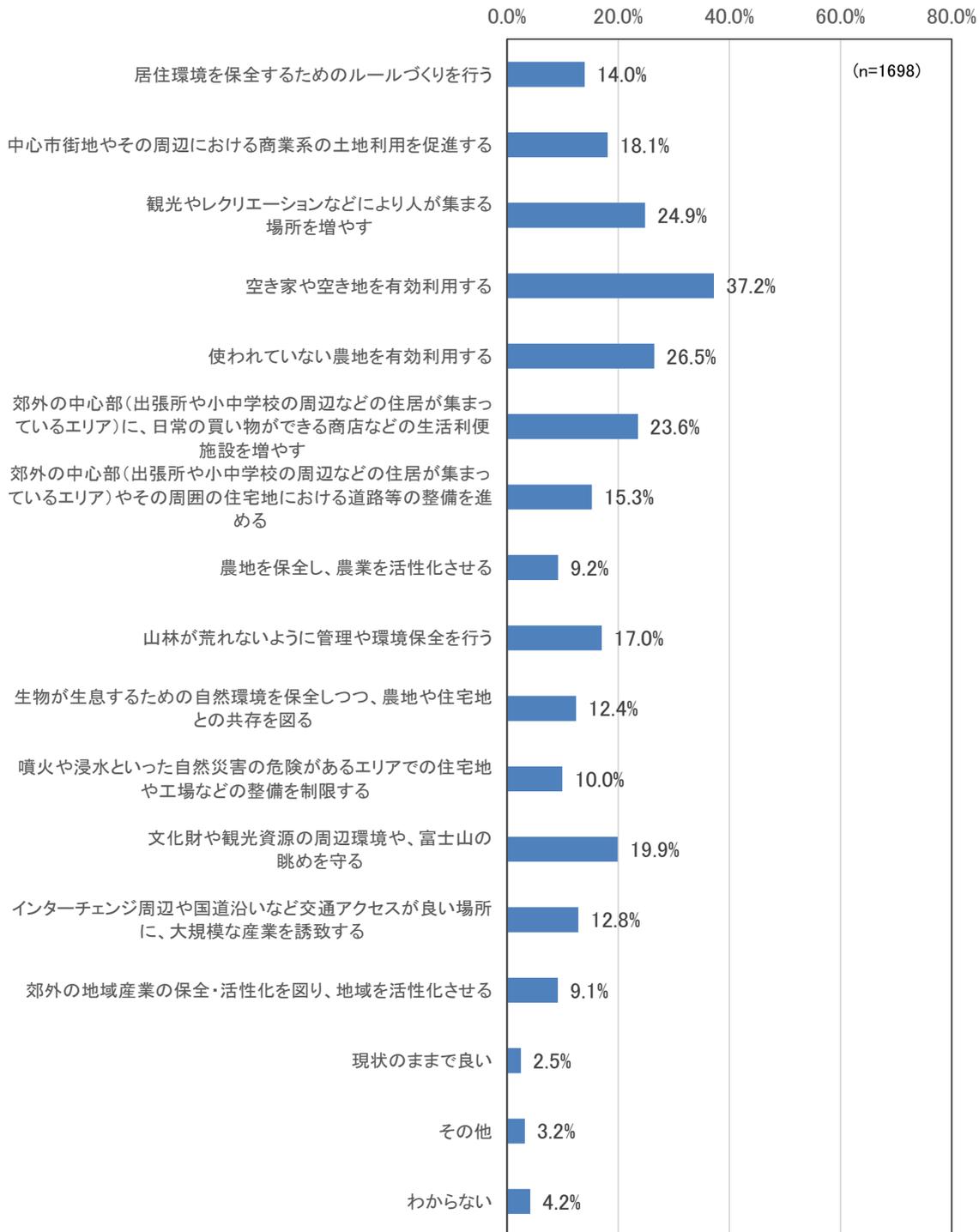
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「使われていない農地が発生している」と答えた割合が2割を超え、「地区の産業(農業・工業・商業)が衰退し、にぎわいが低下している」と答えた割合もおおむね2割を超えている。60代・70歳以上では「空き家や空き地が発生している」と答えた割合が他の年代よりも高く、それぞれ55.5%・56.8%となった。また、10代では「大きな建物等により富士山の眺めに影響が出ている」と答えた割合が他の年代よりもやや高く20.5%となった。「地区の産業(農業・工業・商業)が衰退し、にぎわいが低下している」と回答した割合は10代で最も高く、地域内での就職においてマイナスの印象を持っている可能性がある。



問31. 富士宮市全体において、まちの魅力や住みやすさの向上を図るためには、土地をどのように活用または保全していくことが大事だと思うか（MA）

「空き家や空き地を有効利用する」の割合が最も高く 37.2%である。次いで、「使われていない農地を有効利用する(26.5%)」、「観光やレクリエーションなどにより人が集まる場所を増やす(24.9%)」である。

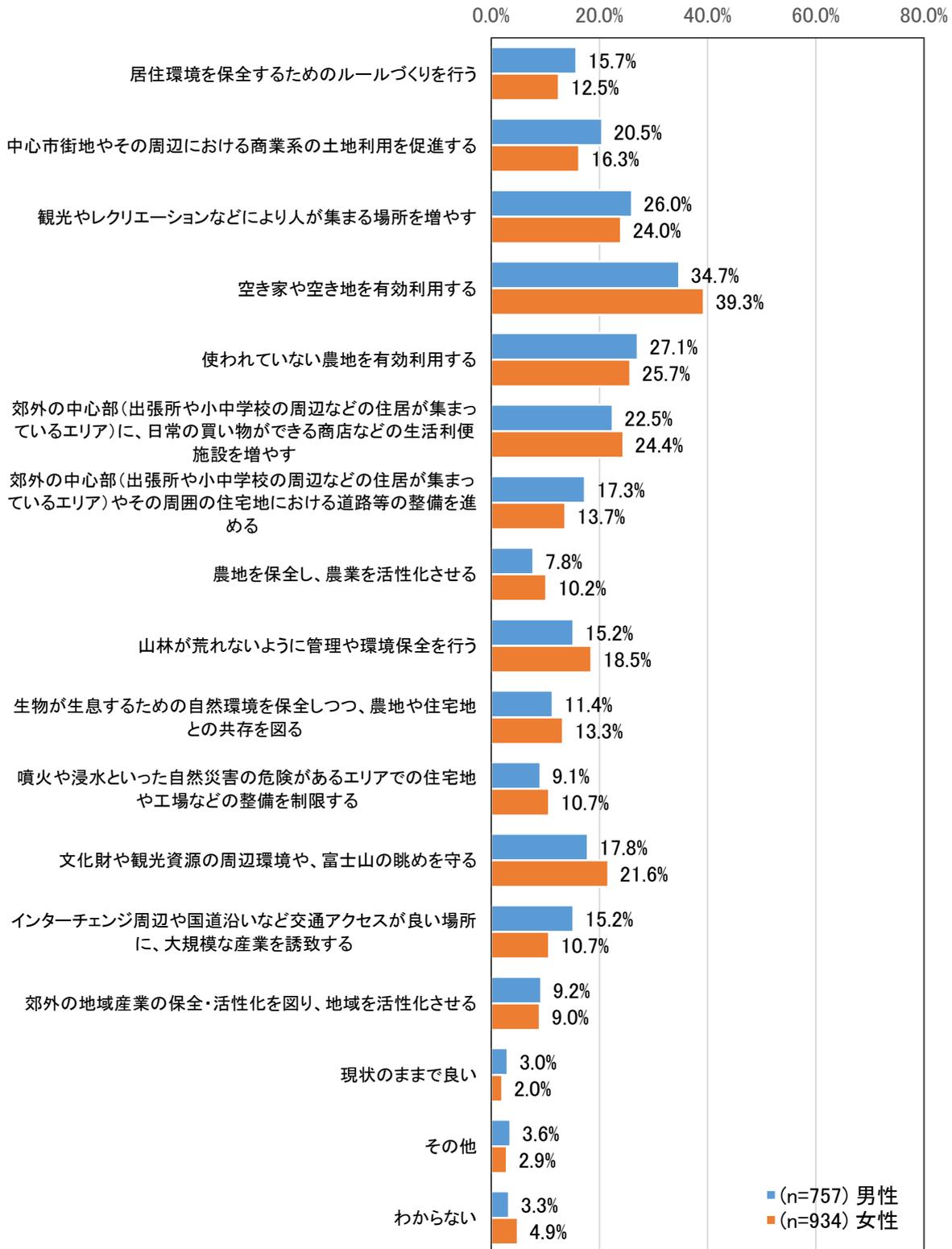


(その他の回答)

高齢になってきたので(年をとるにつれ)食料品等の店が近くに欲しい、マイクロ発電所の設置、真に小水力発電所日本一と言えるためにモデルケースを早期に実現し拡大(数)していく、無駄な施設建設は不要

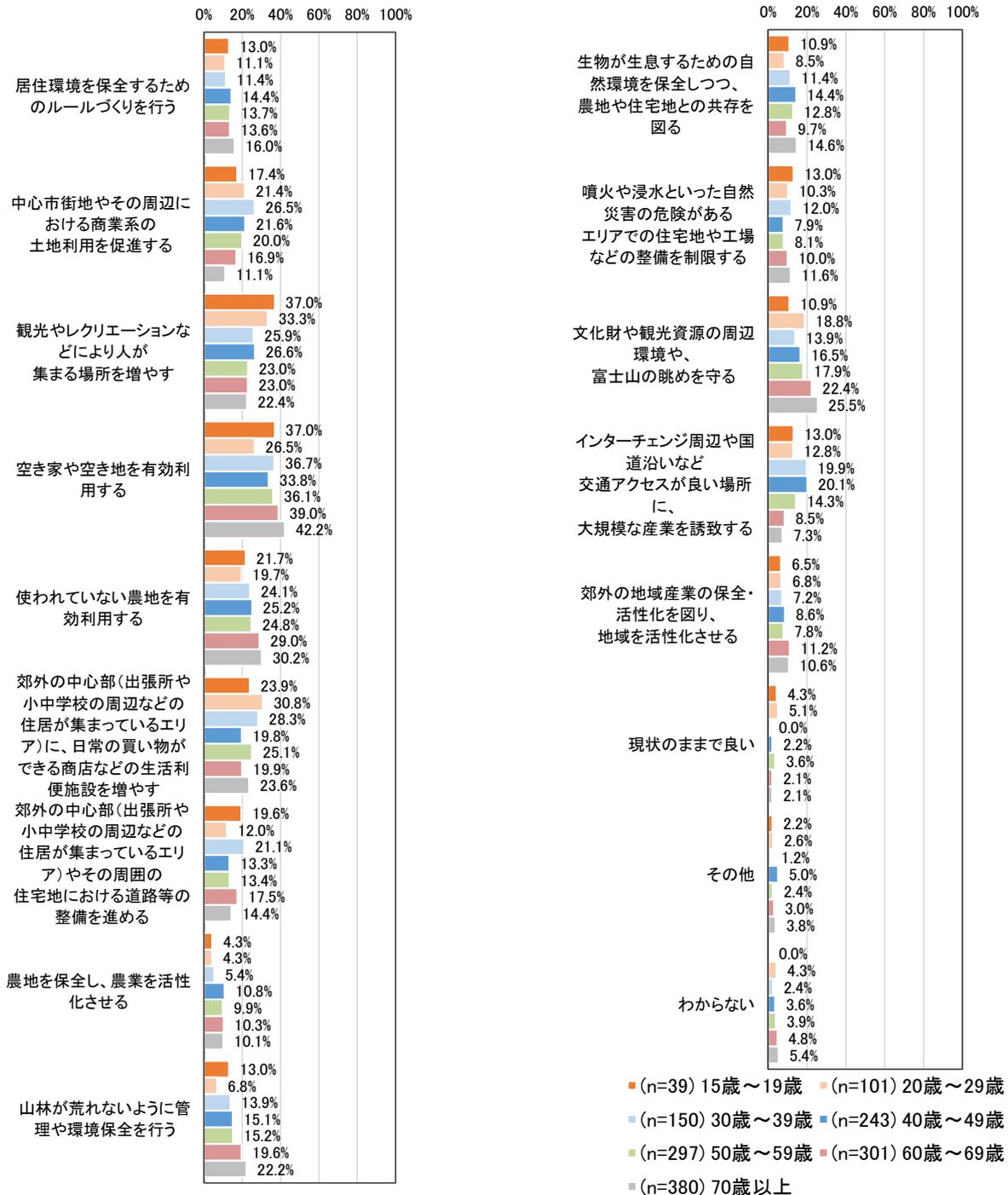
■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られない。



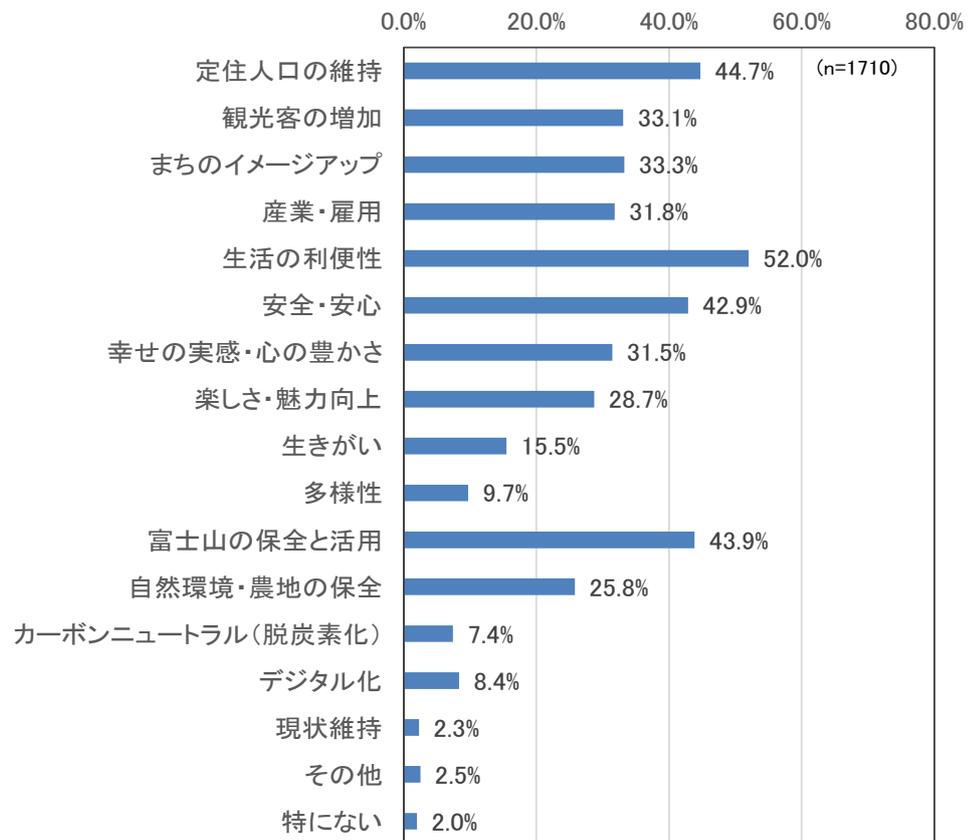
■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「空き家や空き地を有効利用する」と答えた割合が 26%、「観光やレクリエーションなどにより人が集まる場所を増やす」と答えた割合が 22%を超えている。30 代で「中心市街地やその周辺における商業系の土地利用を促進する」、30 代・40 代で「インターチェンジ周辺や国道沿いなど交通アクセスが良い場所に大規模な産業を誘致する」、40 代以上で「農地を保全し、農業を活性化させる」60 代・70 歳以上で「使われていない農地を有効利用する」と回答した割合が他の年代に比べて高い。



問32. 将来の富士宮市のまちづくりにおいて、重要に思うキーワード（MA）

「生活の利便性」の割合が最も高く 52.0%である。次いで、「定住人口の維持(44.7%)」、「富士山の保全と活用(43.9%)」、「安心・安全(42.9%)」である。

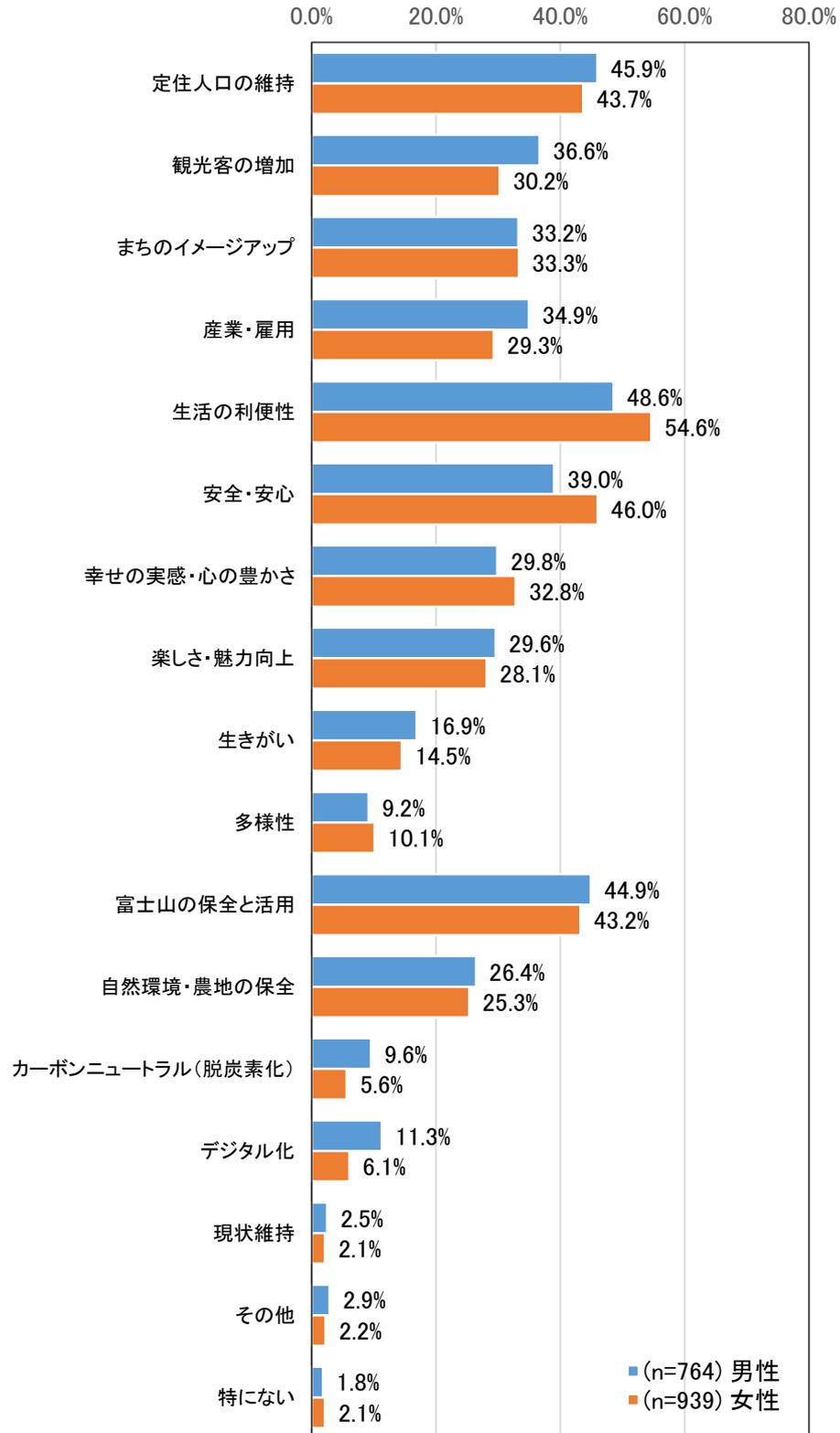


(その他の回答)

定住人口の増加

■性別クロス集計結果(問1)

男女に大きな差は見られないが、「安全・安心」で女性が男性に比べて 7.0 ポイント、「生活の利便性」で女性が男性に比べて 6.0 ポイント上回る。また、「観光客の増加」で男性が女性に比べて 6.4 ポイント、「産業・雇用」で男性が女性に比べて 5.6 ポイント、「デジタル化」で男性が女性に比べて 5.2 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問2)

20代・30代・40代・50代・60代では「生活の利便性」と回答した割合が他の選択肢に比べて最も高く、5割以上が回答をした。10代では「観光客の増加」、60代では「定住人口の維持」と回答した割合が他の選択肢に比べて最も高くなった。

10代で「観光客の増加」(再掲)・「まちのイメージアップ」、10代・20代・30代で「楽しさ・魅力向上」・「デジタル化」、10代・30代で「多様性」、30代で「幸せの豊かさ」、30代・40代で「産業・雇用」、60代で「生活の利便性」、70歳以上で「定住人口の維持」(再掲)と回答した割合が他の年代に比べて高い。

